

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-142)、
廃棄物管理施設(117)、MOX 燃料加工施設(2-96))」

2. 日時：令和6年1月26日(金) 10時00分～12時00分
13時30分～17時20分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV 会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他9名
東電設計株式会社 土木本部 耐震技術部 部長

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年1月24日及び1月25日提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・設工認申請の対応状況(次回審査会合での説明事項)
- ・今後の進め方
- ・入力地震動の算定に用いる地盤モデルの設定

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・設工認申請の対応状況については、各グループの結果を示す際、不必要に同じ説明を繰り返さないような資料構成とするとともに、グループ間の関係性について整理し、内容も拡充して改めて提示する。
- ・今後の進め方については、再処理施設・廃棄物管理施設と MOX 燃料加工施設とで同様となる説明項目の説明時期等の整理を含め、事業部間の連携を踏まえて計画を立てるとともに、これまでの審査会合での指摘事項に対する対応状況が明確になるよう整理する。
- ・入力地震動の算定に用いる地盤モデルの設定については、検討の目的や判断基準を明確にして、これに基づく説明となるように整理する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和6年1月24日

「日本原燃(株)再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和6年1月25日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、録音しました。
0:00:03	はい。規制庁の上出です。それでは日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:08	本日は、
0:00:11	令和4年12月26日に申請のあった再処理施設及び管理施設、また、令和5年2月28日に申請のあったMOX施設の設工認申請について、
0:00:25	本年、
0:00:27	1月24日及び10月25日の提出書に基づき、事実確認をするものです。出席者ですけれども、本規制庁の本庁側、出席者の説明をお願いします。はい。本庁会議室からは、古作調査官は田崎岸野さんです。
0:00:47	はい、ありがとうございます。またウェブからは長谷川管理官、オノカミデが参加しています。
0:00:54	それはまず日本原燃の方から出席者の紹介をお願いします。
0:01:00	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:01:03	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:07	Steeringチームより、ケットク、
0:01:10	ハセガワ、ノモト、
0:01:12	サポートメンバーといたしまして、学生、
0:01:15	並びに東電設計様よりウノ様、参加させていただいてございます。あとウェブから、六ヶ所より、
0:01:23	再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:28	参加者、以上です。
0:01:30	はい、規制庁河津 ありがとうございます。資料ですけど、設工認申請の対応状況ということで会合のに向けた資料ですがどう、どうしますかねまず一旦説明ありますか。あんまり。
0:01:45	中身を聞いてもってという感じもするんですけど元いかがですか。
0:01:49	はい。日本原燃の宇津でございます。それでは今回ちょっとご提示したところを簡単にちょっとご説明差し上げたいと思います。本日、すいません。
0:01:59	昨日でよろしいですかね。すいません。
0:02:03	はいどうぞ。簡単。はい、わかりました。はい。簡単に今回の何対
0:02:10	昨日ご提出させていただいた資料ですけども、大きな話としては先般のヒアリングでご出席いただきましたその構成なんかも、構成やいろいろなデータの示し方といったところを修正してきたところではございますけれども、

0:02:27	それに加えて、前回はですね、周辺のDたで構成をご提示してきたところですけども今回ですね 12 グループ、すべてのですねデータの流れについてすべて当会合で、
0:02:42	お示ししようと考えております。データセットを覚えてきたところでございます。
0:02:47	それが 4 章のところ、4.1 から 4. 12 まで、お示してございましてそのあとに、5 ポツデータの再整理という形で、このですね、12 グループのそれぞれのデータについて、類似性のあるDたが、
0:03:02	もしもあれば、これを集約することで、データを知らせ上げることができるという観点のもとに、このような検討で、この集約の結果検討の内容を表にすると。
0:03:16	いう今回、ちょっと 5%のところは、イメージでちょっとオオバてきておりますけれども、こういう考え方というところをご提示しているところでございます。で、ここのところも、
0:03:27	もし、これでですね、今日もちょっとご確認いただきまして、イメージが、青井であれば、これ旧オオニシヒガシ、それぞれですね、
0:03:38	そのデータをですね分析というの、今後付け加えていきたいというような思いでやっているところでございます。5 ポツのところはですね、データをですね、一応こういう集約できるかどうかを考えた後に、
0:03:53	その結果として、12 グループのデータがどうなるのか、非常にグループのモデルといいますか、物性がどうなるのかといったことをまとめるという構成で、今考えてきたところでございます
0:04:06	ご説明は以上でございます。
0:04:08	すいませんもう 1 件、ちょっと申し遅れましたけれども、これちょっと昨日ですねお出ししましてから私もちょっと見直しておりましたがちょっとまだ正直申し上げ、申しましてちょっと誤記が散見されるような状況ではございます。
0:04:21	ちょっとここは我々ちょっと整えて参りたいと思います。申し訳ございませんでした。以上でございます。
0:04:29	どう規制庁神です。まずその後切って、どの辺なのかっていう。
0:04:34	パツと説明できます。全部じゃなくてもいいですか、こういうところみたいな形で。はい、承知いたしました。えーとですね、サトウちょっとご説明申し上げます。まず 12 ページのですね表層地盤のピース検層データ、ここのところですね、WNWを加えた整理結果を示すという趣旨であるんですけどもそういう
0:04:55	ノダtheツジといいますか雑文でございます。
0:04:58	で、それからですね、今、

0:05:02	22 ページのところですね、ここのですね一番最初に山野所サンポ津アノデータの取得エビナセイノカミイチこれちょっと、
0:05:10	ウタイトウでございまして、あとは、
0:05:13	見直すのが抜けておったというところでございます。
0:05:17	で、ですね、それから 27 ページのところでございますけれどもここアノオオヤネのところでは岩石公園について、言及する必要があるんですけどもそれが、
0:05:30	抜けておると言ったようなところでそれからですね、三行 5 ページのF施設周辺頃
0:05:40	PS検層に関し
0:05:42	Dたのですね記載と分析の記載がございます。ここのエグチ セトは、
0:05:49	文章がですね、少し読んでわかる形に防滴できてないということで、この中のですね例えば、矢羽根二つ目のポツ、一つ目なんかは、MSコウは岩種R5 アノ 9。
0:06:03	9、を除くと書いてありますけどこれMSコウとR599 を除く 6 についてはと言ったようなところでちょっと文章がですね読んでちょっとわかる形でご提示できてなかったかなと。
0:06:13	ということでございますのでちょっと資料 8 での固定値と合わせてきちんと読める形に修正すべきところございました。はい。以上でございます。
0:06:23	はい。規制庁亀井です。わかりました。
0:06:26	あとですね、
0:06:31	ポポツを、
0:06:33	次回会合でどこまで拡充させるかっていう話なんですけど、
0:06:40	12 グループ分の
0:06:43	このまとめた結果っていうんですかねまとめられそうなものをさらにプロットしたものが 12 グループで出てくるっていうことだと思ったんですけどその、
0:06:55	イメージはよくわからない、どういうものが出てくるんですかね。
0:07:01	はい。日本原燃野本でございます。ですね、アウトプットとしては 162 ページ。
0:07:09	が、まず、まとめた結果として、お出しするものだと、いうふうに思っております、次回会合でご提示できるのはですね、この日アノC5 の 3 点そのところ
0:07:24	まとめた結果として、どのようになるかといったところが具体的なボーリング孔の名称としてご提示できるものだという認識でございます。

0:07:35	で、aポツの方はですね、ポツ岩盤部分の物性値層の方は、こちらはですね、160 ページにもちょっとアノ大井ミキ書いてございませんですけども、地盤応答の比較の
0:07:48	ところの分析というのはこれが、当議会といいますか 2 月 5 日のその次に、ご提示できる内容でございますので、162 ページの表でいきますと、ポツのところに、
0:08:00	具体的なボーリング孔名を今回はお出しするには至らないといったようなイメージになると、いうふうに、引地でございます。これを基にですね、この
0:08:12	各グループにおいて、整理されたデータ再整理ということで 163 ページで、ここでは減衰のC1 からC5 を横並びに見たときに、月についてはこれデータがここでそろってる状態がございますので、
0:08:27	このですね、SI検層がある意味ですね、我々データとして、最もas-is として見ていくデータであるというような検討を加えて、164 ページで、
0:08:40	各 12 グループ、最終的に週末はすいません。
0:08:45	すいません、規制庁カミデアノ。
0:08:48	どこから話をしようかなと思ったんですけど、ですけど、今話があったんでこの 163164 で、減衰でいうと例えばその、どういう手法によって、
0:08:59	出てきた減衰がふさわしいかどうかみたいな話っていうのは、ポポツじゃなくてその次のフェーズだっていうふうに先週のヒアリングで話をしたんじゃないかなと。
0:09:10	思ってるんですけど元には意識が違ったってことですかね。
0:09:14	日本原燃の郷でございます。6 ポツのところではい。おっしゃっていただいたんだというふうに、私たちも認識していて、ちょっと我々持って帰ってですね話を
0:09:26	並べた時にこれ、実はその 5 ポツと 6 ポツ間といいますか話が一連の流れの中で、ちょっとアノを書いている時に 5 ポツの中に入れるのがちょっといいかなどうかなと思いつつながら、
0:09:39	やっとなんというところなんですけれどもそういう意味では、一連の、はい。
0:09:45	一連の流れで、
0:09:47	相神ヤノタカギけども、ここ、すみませんちょっと管理官がお話するような感じかお願いします。
0:09:55	規制庁の長谷川ですけれども。
0:10:00	1 回、
0:10:02	要するに、ヒアリングとかで、お互いにコミットしてこれ、こんな感じだよねって言ったことを勝手に変えない。

0:10:12	てっていうのを、何十回もこれまで言ってる。1 回合意形成がとれたんだ ったらそれでやりましょうよと。うん。
0:10:20	だからまた同じ話になっちゃうんだよね。だから、まず減免は、
0:10:24	自分たちがよかれと思って、合意したことを、
0:10:29	やめて、新しくやっちゃうんですかっていう。
0:10:34	毎回この話してませんかとき。
0:10:38	そうですねおっしゃる通りですね、すみませんそれがいけないんです よ。ちょっと勝手なこと言ったら、いや、我々だってものすごく考えてる ん。
0:10:50	そしてお互いに合意形成がとれてこんなイメージだよって言ってるの に、今回もイメージ通りではないんだよね。
0:10:59	だからそれはやっぱり何か自分たちの意見を後から勝手に入れちゃっ てるんじゃないかだったら最初の合意形成を図るときに言ってください よ。
0:11:09	それぞれもともと考えてこないと。
0:11:13	考えてないんだったら合意形成とれたものでもうやってくださいよって いうのをこれまで 100 万回ぐらい言ってきたんじゃないの。はい。
0:11:29	はい。日本原燃決得です。申し訳ございません作っていく中でですねち よっと 5 と 6 の境目よりどちらに入れるか、また議論して、ちょっと勝手 なことやってしまって、我々の考える人は 5 と 6、
0:11:42	議論してくれてこの 6 だけどもさ、規制庁のほうですけれども、
0:11:48	自分たちで決めたいんだったら勝手にやっても今日これで良い上で、は い。申し訳ございませんちょっと我々のすみません、まだ、いや、もうだ から、そこで話をするんだったら、
0:12:01	こんなふうにとめた方がわかりやすいよねみたいな、そんな議論はも う要らないんだから、もうもう、もういいよ漏れてない、知らない。
0:12:14	申し訳ございません。
0:12:21	規制庁浜崎です。元に結局、5 ポツ、今回のもう発信して、どのように変 える予定ですか。はい。はい。
0:12:31	ここにそんなに強い強いこだわりというかそこ、次の技術的信念がある わけではございませんので、一旦合意形成された 6 ポツに直した形で もう一度、
0:12:42	次回の時には出したいと思っております。申し訳ございませんでした。
0:12:45	はい規制庁浜崎ですけども 56 と前回のヒアリングでも話をした中で、要 は 12 グループ、各グループごとのデータそういう。愚直になりません。
0:12:57	で、5 では、その近隣するグループが、7 行はまとめられるかどうか。は い。

0:13:05	これ 12 グループはまだ十分存在するんですけど、中で、後で重要なところは、例えば、周辺ですと、
0:13:14	Fであったり、自営だったりACだったり時だったんで、その中でまとめられるものとまとめられないものがあると思うんですね。
0:13:22	その判断というのはポチでは非常に重要になってきます。
0:13:26	ので、
0:13:27	今の
0:13:29	昨日提出の資料はもうこれも結果ありきになっちゃったので、そこをしっかりと見極めるということですね例えばS検層の減衰ですと、
0:13:39	周辺だけですよ、
0:13:41	二つかな。
0:13:42	2 項の結果しかないものが、例えば周辺が他の四つのグループで一つに評価できるならそれだけエザワ検層の減衰の結果が、
0:13:53	絶対増えるわけですね。それが 5、5 ポツで、そのエザワ検層アノ減衰の傾向がやっぱり一致するかどうか。
0:14:02	地盤構造が一致するかどうか、そういったところ、極めて同じグループにできるかどうかですね。はい。ついでに言うと 6 ポツでは、それを踏まえて、例えば、いざ元素の元素減衰なのか、それらの束ねたものを回帰して、
0:14:18	直線が多分リニアが一番、セットするであろうとすればですね。はい。その束ねた減衰の結果に基づく回帰の、
0:14:28	うん。地盤モデルを作っていくと。それを、シミュレーションなり、伝達関数の比較なりで、整合性を見ていくというのが 6 ポツと。はい。いうのがこれ前回のヒアリングの合意だったというふうに考えてますので、
0:14:43	そのステップをですね、途中でやっぱり外すのはまずいと思いますし。はい。ゆくゆくですね、これ後から言うつもりだったんですけど、ゆくゆくそういうプロセスをこれから踏んで、はい。地盤モデルとしては考えて、
0:14:56	作っていきますと、いう流れも、の説明も、本当安保管頭にあってもいいかなと思いますけども、今回そこまで求めないかもしれませんがね。
0:15:08	そういうちょっと流れをリマインドしてもらえればと思ってます。はい。
0:15:15	ハバサキですけど、管理課そんな進め方だというふうに理解してますがよろしいでしょうか。
0:15:21	カミデですけども、幹事歓迎されました。そうですか。
0:15:27	はい。
0:15:28	問題ない。
0:15:30	日本原燃野呂でございます。すいません濱崎さんおっしゃっていただいた通りかと思えます。

0:15:38	はい。衛藤。ちょっと我々早急にそのところ修正いたしたく存じます。
0:15:45	規制庁カミデですけど、その中で話をしたっていう人たちも、今この場にいるし、前回もそのWebで聞いてた人たちなのか、
0:15:57	聞いてない人なんだとちょっと出てもらいたいんですけどその辺ってどうなってるんですか。
0:16:02	前のことでございます。全員ウェブでも聞いておりましたし、聞いていたメンバーで、これ議論しておったところ、ございます。でですね。
0:16:13	その時に、ちょっと私たち、何をスリップしてしまったかといいますと、その分析
0:16:19	えっとですね、
0:16:21	2、このですねデータの集約で、5ポツはやり切るんであるということをゆ西来がですねちょっと5ポツのところ、
0:16:32	分析をするっていうような、そういうちょっと頭の作り方をしてしまって、5ポツで分析6ポツで、設定の結論を述べると。
0:16:43	いったような、頭をちょっと作ってしまったというところでございます。そうそう。
0:16:50	何に相当、
0:16:52	入っていると、何かわかりにくいよねみたいな議論を我々の中で始めてしましまして、ちょっと最初ですねご指示の内容がちょっとスリップしてしまったといったようなところが正直なところの、何て言いますか、事情でございます。
0:17:16	うん。規制庁カミデよくわかんないんですけど、
0:17:22	よくわかんないけど、すいませんコサクです。私前回出てないので、何。
0:17:29	もめてるのかも全くもってよくわかんないんですけど。
0:17:32	先ほどのハバサキが言ったことに尽きるんだと思う。
0:17:38	ですね、それをなぜ悩むのか、今の、
0:17:42	野本さんの話を聞いてもよくわからない。
0:17:48	一番よくわかんないのは、僕II何回てるか全然わかんない。
0:17:53	河崎さんが言われたことをやってるように全く見えなくて、うん。ただ結論を書いているかのように見えるんです。
0:18:01	で、結論書くのは肋骨でしょっていう話。
0:18:04	になってて、分析ってのは何か勘違いしてません。
0:18:09	皆さん、結論結論として思っていないから、結論を出すのが分析だと思われるっていうことがあらわれてる。
0:18:16	うん。思っていてですね、一番話題にしてるのは、減衰。
0:18:24	数で、それもえさ件数を踏まえてと言われてるところなので、それを見てもですね、4歩IIでは、

0:18:36	グループの範囲内での検層のデータを示されて、ここはわかりません。
0:18:43	5 ポツ行くと、平均しますいきなり来ちゃうんですよ。
0:18:48	はい。
0:18:49	それぞれのグループなんで、こういう特徴があります。
0:18:55	なんでこうなってるかという、こうこうだからです。うん。うん。なので、
0:19:00	全般的には同じような特徴を示しているの、はい。それをまとめて分析した方が、
0:19:09	より確からしい。
0:19:12	メーターとなり、確実さもしっかりと判断できると。はい。
0:19:16	いうことだからこういうような処理をしていきたいっていう、
0:19:19	最後の一言は6ポツなんですか。
0:19:23	こういうことができるみたいな、できると考えられるまではですね。はい。はい。
0:19:29	ていうところで、線引きなんてないバスに、はい。
0:19:33	できるんじゃないのちゃんとその上段から順々に考えていけばと。
0:19:38	冗談を考えずに、結論からやろうとするってことじゃないかなと。
0:19:44	この規制庁のハセガワですけど、
0:19:48	今ちょっとはいどうぞ。
0:19:51	いや、今ちょっと、ちょっと席を外していたので、議論がどっから家入ってるのかわかんないと同じような159ページの、
0:20:02	最初のところのあたりの話をしているのかなと、多分同じようなふうに思っていて、
0:20:09	グループ間で類似した傾向が見られる場合、
0:20:13	データを再整理し、統合するとかっていう結論ありきみたいなそういう話ですか。
0:20:20	僕もこの言葉自体がもうおかしいなと思ってるんですけど。
0:20:24	玄野元でございます。ここはですね、
0:20:30	規制庁さんと私たちは、まずデータを眺めて、はい。その上で、
0:20:36	近いのがある。はい、えっと、今議論の途中だから、どこの議論をしてるんですかっていうか、確認なんだ。
0:20:45	何か同じような、古作です。大丈夫です。
0:20:49	この実験、その文章で話を進めたわけではないんですけど、言いたいことは同じです。同じ了解了解。はい、ありがとうございます。すいません。ちょっと腰を折ってしまう。
0:21:02	はい。日本原燃の決得ですおっしゃる通りですねまず、データ4本で、何のために一生懸命並べたのかといったところが、ぶっ飛んでアノと、もうすぐ統合という話になってるので、このデータを並べてみた。

0:21:15	上でっていうのがちゃんと抜けてないので、アノ5が大分
0:21:19	拙速に走っていると、しかも後に途中変な、1から5の、C-1から5のところを入れて、ここなんかは6でやるようなところを持ってきているというところで、
0:21:30	少し一側になってるというか、ご指摘の通りだと思います。はい。
0:21:38	規制庁の長谷川ですけど一応確認のために僕の意見も言っとくと、結局、
0:21:45	こないだからずっと話をしてるのは、12行データそれぞれ並べたら、結果が似ているねと。
0:21:54	いうところから、結果が似てるのが、
0:21:59	どういう、
0:22:02	ことで似ているのかと。うん。だから似てる特徴なり構造が一緒だったら、
0:22:08	データが似てるだけなのか同じに統合していいのかの吟味が要るわけですよそれが
0:22:16	160ページとかそういうところでやるのかもしれないけど、そこに根拠があるんですよ。その根拠があれば、あとは一緒にした方がいいよねとデータ数大井して、
0:22:28	そういう何かロジックが、これそもそも全体がおかしいっていうそういうことですよ。
0:22:37	はい。日本原燃決得です。159回一足飛びに、もうデータ等を見て、
0:22:45	傾向が見られる場合は何か、
0:22:47	客観的になっていないということわかりますロジックがないというのが理解しましたので、後のところで、結果が見て、見ている、見ている理由は何根拠は何か言ったところを明確にした上で、そしたら、
0:23:00	一緒にした方が、データ数が増えて死ぬ上がると。
0:23:03	いう。
0:23:04	ロジックがちゃんと構築されてないってのは理解し、いたしました。はい。
0:23:19	患者さん、何か話がどこ、話を進めたいことはなくなったのでちょっと、
0:23:25	交通整理して、どう順番でやるか、話します。
0:23:35	らカミデです。
0:23:39	でも、一応サンゴポツは、まず並べるフェーズだと、並べ方の考え方を書き並べだけを示しますと、
0:23:49	いうことで、
0:23:51	163、164 はまあまあ、6ポツなんですねってところまで認識だったと思うんですけど。

0:23:58	さっき話を聞いた限りだと、ここじゃあじゃそんなところ僕の結論って、162の表だと、
0:24:07	説明されてたようなんですけど、そうではなくてこれもあって、プラス、157ページみたいなですね、ところで、その並べたDた、近隣のグループで似たものを、
0:24:22	長くさらに並べてプロットしたものが157みたいな形で出てくると、これにさらに
0:24:29	162ページの表とセットで出てくるみたいなイメージだったんですけど、原燃いかがですか。
0:24:37	はい。前の方でございます。はい。意味は我々今共有できると思っております。
0:24:46	はい。規制庁神です。一応そうなる、一応5ポツの書き書きたいことは、前回話したことだと思うんですけど
0:24:56	一応物サンプルも見ながら、共有できたのかなあとは思いますがフォーマットとしては、中身について、こういう視点でとか何か懸念がある方がいればお願いします。
0:25:11	規制庁の長谷川ですけど一応今の表と、例えば157のまとめみたいなやつで、2、結果はいいんですけど、
0:25:22	多分、この間の根拠があるんですよ、データが。
0:25:27	その根拠をしっかりと説明すると、細かいところは補足資料でいいと思うんですけど、
0:25:35	今回それが大事。
0:25:37	ということで、野元さんの方ご理解いただいています。はい。全然ノモトでございます。はい。おっしゃる通りです。先ほどおっしゃっていただいた似てるだけなのかそれは根拠あって一緒にしていいものなのかどうかと。
0:25:50	いうところを言わないといけないというふうに思っています。我々それに関して、こういうことだろうというふうにまとめていきたいというふうに思っていますのが、この減衰のところでは、
0:26:01	このエサ検査のですねこのデータそのものについてはこれは似てるという形の話をするところフェーズのものであって、何でこれが似てるっていう。
0:26:13	私は全然違ってると思ってんだけど、
0:26:16	はい、上に凸した一つ。
0:26:19	いろんな傾向を示されていて、その傾向は何だ。
0:26:23	理解して、
0:26:24	ですね、元の方でございます。ですねこれを2、そうですね。

0:26:31	ちゃんと語って、その上でどういうことだからっていうのを言わないと、ちゃんと分析することで、はい。日本原燃の加瀬でございますそちらにつきましては今 08 の方では書いているのとあと、
0:26:44	前回の前回のヒアリングでお示した会合資料でちょっとさわりは実は書いていただく。
0:26:49	ですが、これデータは確かにコサクさん言う通りちょっとなんか、うん、ウィンとだったり車に統一されたり上に行ったり下に行ったりってのがあったりするんですが、じゃあこれっていうのが本当にその地質構造の違いに応じて出てきた違いなり本質的な違いなのかという分析をしています。
0:27:03	やっぱりそれってのはさっきハバサキさんもちらっと仰ってた同じような地下構造にいるのかどうかっていうところが大事だと思っていて、やっぱり減衰っていう基本の知見で、速度が下タケヤ減衰がちっちゃくて柔らかかけれ減衰が大きいみたいな傾向っていうのやはり今日知見からPLっていうようなところがありますので、
0:27:17	敷地地盤でとれたPS検層横目で見てみて、それがアトランダムに高速度とこうなんすかね減衰の大きさと相関があるのか、それとも、実はやっぱりなくて窓ランダムにばらついてるだけなのかっていうところの分析をして、
0:27:31	あれこれどうやら相関内臓ばらついてるだけだぞっていうようなところの分析をして、同じ地盤における減衰定数とデータがとれてるところの、行ったりしていったりっていうところは、いわゆるその地盤の違いに由来するような本質的な違いなのか、いやそうじゃないっていうような結論を、
0:27:46	考えて書いているところがありますのでそういうのを入れるべきなんだろうなっていうのは思ってるところなのでちょっと前回さわりだけ書いたのもちゃんと書くのが大事なのかなと思っておりますがそういうイメージで、ヤマザキ
0:27:57	はい。規制庁安倍です。今の小松さん、寺地の中で、そういう子、
0:28:04	文書っていうかですね、内容もあるというのは理解してます。それに対しては、また、本当にそうなのかということで議論しないといけないんですけども。
0:28:14	少なくともそういう考え方を示した上で、減免としては、若干上と下とⅡの違いはあるけれども、
0:28:25	岩種だとかいろんな総合的に見れば必要だという判断をしましたっていうのを提示してもらえれば、
0:28:30	これに対しては本当にそうですかってことです。

0:28:34	いろいろな角度で確認します。はい。日本原燃オガセで了解いたしました。で、先ほど申し上げたそういう本当に勝手にいわゆるそういう判断をして、合体していわゆる近似線を引いた和気一タリ平均でいいやっていうふうにするわけですが、
0:28:48	本当にそういうくっつけてよかったのかっていうところをまさにシミュレーションみたいなのところの確認で、ある意味数値的なところで確認するということまでセットだと思っていますので、そういうセットで何て言うんすかね、どこまでやって確認したかっていうのは、書くようにする。
0:29:01	のかなと思っています。はい。
0:29:06	1点、
0:29:09	交通の構成なんですけど
0:29:12	2、中オオニシヒガシの丹家と、
0:29:18	ということで分けて分析されるような、
0:29:21	書かれてるんですけど。うん。それで合ってます。
0:29:26	原燃のオガセですこちらの前回のヒアリングでも1回議論になったところでもあるかと思っておりますけれども、1回まず中オオニシヒガシっていうある意味大局的に地下構造が似てるところで、
0:29:38	まとめてみるんだけど、まとめてみたらあれは巫女ちゃんのはみコガいるねっていうようなところで、したら本当にまず外していくそれがさっきの戻っちゃうので、1回1回まとめてみてではなくて、
0:29:50	基本的に、ごめんなさい、私ね、前回、それ違うというところちょっと語弊があるんですけど、先ほどの議論は、1回まとめてみてじゃなかったよねっていうことは
0:30:01	大井、それを基本にして、もともと許可だったり、許可、あれですね機器認可も含めて、そもそも地盤構造、
0:30:13	ちょっと違うので。うん。それぞれでやりますよというのがあるのだから、それはす、思想変えるわけじゃないんで、まずそれを、
0:30:23	その中で見ていきましょうと。うん。
0:30:26	主要地盤の中での、各場所での特徴で、違いが出てるのか、違いがないのかなと。
0:30:34	というようなことを話を整理していきなり中央とヒガシと一緒にできるみたいな。
0:30:43	考えるようだって何か変ですよっていうことなんじゃないかなと思うんですね、もともと違うって言ってたんです。うん。いう
0:30:50	ことだと思うんで、なので中央についてまず、分析をしますとかっていうのは、それはそれで理解ができるんです。
0:31:00	この後、どうぞ。

0:31:04	規制庁の長谷川ですけど大体今古作が言った通りの話があって、結局、
0:31:12	ここの後でデータをまとめていく作業っていうのに、どういうメリットがあるかっていうのとあと説明をちゃんとしないといけないという、
0:31:23	ことがそこにはいつもつきまとっているんで、さらには最終的な地盤構造をまとめた時に、私である種のデータだけを、
0:31:35	西と中央と何だかって分けること2 どれほどの意味があるのか、結果的に同じになるんだったら、
0:31:43	どれ使っても、見てるだけで、他の、
0:31:47	部分のパラメータが違ったらどっちに違うんだから、わざわざ一緒にする、して、
0:31:54	何て言うのかな難しい説明をする必要がなくなってくるんだよね。だから、今皆さんね、なぜか、類似してるのを一生懸命まとめようって言うけど、
0:32:04	そこにどれだけ意味があるかっていうのもよく考えた方がいいと思うんですよね。もともと例えばCさんみたいなものは地震記録の場所が違うんだからまとまることはありえないし、地震は干渉法は中央1個しかないからこいつらもまとめられないんだよね。
0:32:23	そうするとこれ使って出したところと、何だかとか他が1個違えば最終的には減衰だって違っちゃってもいいかもしれないし、速度構造だってもはや違うんだったら、
0:32:37	一緒にはなりえないとすると、
0:32:39	あんまり西ヒガシ中央1の
0:32:44	一部のデータだけを一緒にすることのメリットってあんまりないと思うんだけど、
0:32:52	なんかそういうこともちゃんと考えてるんですか。
0:32:56	米本でございます。はい。おっしゃる通りだと思ってまして。江藤C衛藤氏例えばし今おっしゃっていただいたように、Cさんなんかは、そういう議論の土台に乗ってこないと。
0:33:08	いうことではあるので、今119ページでの扱い、多分同じあれだと思うんですけどこのパラメータ並べた上で、どのデータがこの議論の俎上に乗るかというのはここでは述べるようにして、
0:33:23	AとC5が結局議論するようになってくるんだけど、これがある意味で恣意的にまとめる一かどうかというような、そういう何ですかね、衛藤まとめたいというイトウでやるというよりは、

0:33:38	まずこれを並べてみて、自然にまとまるものであるかどうかというのを、ここでは議論していくものだ、だというふうに理解してございます。ですので、このアウトプットは、このAかABとC1 からC5 それからDの
0:33:53	自然とまとまるものが、こういう形になりましたというのがこの 5 ポツのアウトプットという理解をしてございます。以上でございます。
0:34:03	規制庁の長谷川ですけど自然にまとまる=100 人が当たり前だよねっというそういう論理構成にするってことですか。それだったら僕はいいんだけど。
0:34:13	議論しないとイケないのをわざわざ、
0:34:17	作る必要は何のメリットもないと。
0:34:21	はい。安藤中根氏にっていうことは、ほぼ大半の人が、そうだよねと思う。そういうまとめなんですか。
0:34:29	はい、アベノモトでございます。はい。まさにおっしゃる通りだ。答えイエスでございます。その番人がというのが、危険を持った方々が、皆さん、合意されるという内容であるというふうに思いますのでここ、
0:34:45	専門家の皆様のご意見をいただいて、こうだよねというふうに、こういった団体内容でこれをまとめていくもんだというふうに思っております。以上でございます。
0:34:54	わかりました。そのぐらい当たり前のまとめ方だったら、議論がないんだったらそれはそれで結構かと思えますけれども、
0:35:04	他との一応そういうスタンスでっていうことですね。
0:35:08	頑張ってまとめるわけじゃなくて、当たり前のように、一緒になるっていう世界でウエイト 5 ポツの整理が進むっていうそういう理解ですかね。
0:35:18	安全の方でございます。はい。その通りでございます。
0:35:22	へえ。
0:35:23	並べてみてと言ったところの並べるものって何なのっていう時に、
0:35:29	161 ページ妥当アノ、右上の図の中に中央地盤のってちよろっと書いてあって、うん。
0:35:36	162 ページに行くと、表題のところ中央地盤単位でのイメージがあって、現状だと何か言うんですね。
0:35:47	あって中央地盤の中でやるのかなっていう雰囲気はあるんですけど、
0:35:53	160 ページの最初のところにはそれが書いてます。
0:35:58	なんか書き方だけなのかもしれないですけど、そこはそれぞれの一番のところやるんだということであればしっかりと書いていただいて、その中で並べて確認します。
0:36:10	いうことにしていただければと思いますので、

0:36:13	今回中央地盤だけで書くような感じになってますけど被爆ヒガシニシノ入れるんですか。
0:36:18	はい。原燃料ございます入れます。まだ作業中ではいけない。はいその通りです。はい。
0:36:25	高根さん以上です。
0:36:27	規制庁和気です。ちょっと今の点で、さっき言った 150960 で、
0:36:32	さっきの話だと 159 の①の文章ですね、当然中オオハシ、これも一切削除で、160 ページも削除、D、
0:36:41	まずは 12 グループという、
0:36:43	その分類、それで、
0:36:45	その近隣とまとめられるのかどうかという。
0:36:49	評価をこのポチではするのんじゃないのかなと思ったんでたんですけども、何かそうじゃないのかなというのが一つ。もう一つさっき管理官が言われた、
0:37:00	こまとめることのグループをまとめることのメリット。うん。
0:37:05	それがさっきの自然にまとまるものはまとまりますっていう表現と、メリットというのがつながないんですけども、
0:37:13	そのあたりは、例えば、メリットってどう考えてますか。銀ノモトがございます。そこが今 159 のアノやババの一つ目についておるんですけども、
0:37:24	自然とまとまるものであれば、これはまとめて出た我々扱った方がですね、当該のグループで参照できるデータが増加すると。
0:37:37	ということで信頼性の向上が期待できるとちょっとここにメリットを見いだすと、ということなんだというふうに理解してございます。
0:37:44	はい。規制庁浜崎です。信頼性の向上が、
0:37:48	目的入れた母数をふやすということでありますか。はい。
0:37:53	その観点で、衛藤。
0:37:56	最初の話に戻りますけど、東西中央。
0:38:00	という、その
0:38:02	エリアを、なんすかね。エリア単位でっていう話については、これは
0:38:11	ゼロクリアするんですか、それともやっぱり東西中央っていう観点もあります。近年のことでございます。
0:38:17	もちろん、西垣様がありきではありませんけれども、似てるか似てないかの検討をするときに、どの、くくりの中で、2.2 テライを議論するかと。
0:38:29	いう問題だというふうには思ってましてその時に、もう、大局的に違うよねって元から言っている違うところが似てるかどうかを見るというのも、ちょっともう今やる話じゃないかなと思ってますね。

0:38:41	その対極的に、こう分かれるよねっていう単位の中で、似てるんじゃないかを見ていきましょうというのが今のお話だなというふうに思っています。はい。
0:38:50	はい。規制庁、伊井です。理解しましたのでそういう構成で心地ができてくる。はい。はい。いたしました。
0:38:58	コサクです。それで言うとはですね、いつもの図ですけど、20 ページに、どの時間に、
0:39:08	わかりであって、
0:39:10	中央でババ北川から、
0:39:15	G、B、C、うん、はい。
0:39:18	ありますねというふうに分けてます。
0:39:21	いう話があって、
0:39:24	先ほど
0:39:34	ポツの最初に出している図面はその関係性を示そうと思って、図を書かれた。
0:39:45	ます。
0:39:46	ページ一般的、すいません、169 です。
0:39:51	60 年。
0:39:52	衛藤。
0:39:55	なんですけど、
0:39:57	ちょっと字が小さ過ぎるんですね、この色つけてるのは何の意味なのか。
0:40:02	わかかわかりにくいので、それはわかるように書いていただけると嬉しいなと思うんですけど、
0:40:12	はい。
0:40:14	したところ
0:40:17	その意識をちゃんとその、その次のページ以降ですね、ちゃんと見えるようにして行って、単純にその観測の番号とかですね、それだけだと、結局、
0:40:28	グループ分けてグループの関係性を示すといったことが全然伝わってこない。
0:40:32	ですよね。
0:40:34	はい。
0:40:36	そこはちょっと意識をして、いただきたい。どのデータがどのようなグループの
0:40:42	ことを代表して話をしていくかみたいな。

0:40:48	もうまとめてくる。結局また元に戻って、中央地盤全体での分析してまずみたいになっちゃってるので、4 ポツを踏まえた物なんだということは守っていただき、
0:41:01	変なことです。ちょっと確認させてください。今おっしゃっていたというのは5 ポツでの検討していくときに、その似てるにまとめるまとめないっていう議論していくんだけど、そのオリビンのデータがもともとどのグループのデータだったかという。
0:41:16	紐づけを失わないように、その中で、まとめないと、よくわかんないんだというふうにおっしゃっていただいたというそういう理解でよろしいんですかね。はい。ありがとうございます。
0:41:29	そうそう。だから、そうそう。
0:41:33	それで、
0:41:35	また、20 ページも、
0:41:39	中央地盤は、
0:41:42	1 点冷却塔が水色で、
0:41:45	書かれてますけど、
0:41:47	これは、
0:41:48	結局どうするんでしたっけっていう。
0:41:52	ところが少し抜けて、まだ冷却とはですね直接のデータがないところを、周辺のを準用して運用したので、
0:42:04	再確認するぐらいの話になるかなと思うんですけど。
0:42:09	東坂の方は、PA査定の方がなってますね、これ直下のものが5 点のデータが取れている。
0:42:20	これによってショッカーのデータで分析し直しますっていうことになってるということなので、
0:42:27	これについてグループに入っていないもんですから、
0:42:32	ヒガシ地盤の分析として、ちょっと不十分になる。
0:42:36	できやしないかと思ってるんですけどそのあたりと考えてます。
0:42:41	第1回、
0:42:43	ですよ。
0:42:56	そうです。
0:42:58	もともと取ってヒガシで、それなりに取っていたデータ。
0:43:02	何であるからして、
0:43:05	これが類似。
0:43:08	として扱えるのであればデータをふやすっていう感じだったらこれだって参加するよねっていうことなんだと。
0:43:15	思い、

0:43:17	だと思えますんですね。で、今まで正直言って第1回のデータなんで、
0:43:23	横に乗っけてたっていうのが実態ではあるんです。しかも最初じゃなくても、複数で別事業ですって思われてるかもしれないんですけど、地盤関係の分析では同じなんで、うん。
0:43:40	あの周辺っていう中に、これだって周辺じゃねえかっていう場所にあるから、うん。
0:43:44	もう、比較した上で使わないっていう判断はあり得るんだと思いますけど。うん。
0:43:50	並べて分析しないっていうのはないんじゃないかな。ちゃんとな並べた上で話をしないと。うん。
0:43:58	いけないんじゃないかなとは思う。
0:44:00	もともとこの議論がここから発生してる。
0:44:03	うん。
0:44:05	考察してくる中で、かなり処理が必要ですねその他、タスクタスクはどうか別として、ウィザードするし、何らかの議論が必要。理解しました。はい。
0:44:32	藤規制庁上津よければ、ちょっと1回戻っちゃうんですけど、一応確認なんですけど、
0:44:41	162 ページ。
0:44:43	画の表が、
0:44:45	次に、
0:44:48	さっき言った157ページ辺りのデータを張りつけたやつが出てくるんですけど表が今、中央地盤単位のイメージって書いてあるから、
0:44:59	西ヒガシ中央だけの三つの表になるのかな。でも、
0:45:04	さっきの話だと、12グループ単位で表層率表があつてということだ。
0:45:11	私、イメージしてたんですけど、
0:45:14	それ、
0:45:16	一番中央地盤で話をするっていうのは表はまとめておいて、データは12グループっていう、示し方もあるのかなと思うんですけど、原燃今んところ何かイメージあります。
0:45:29	神野でございます。
0:45:32	すいません、ちょっと私262ページのこの表自体が一番左のこのですね衛藤軸が12グループですから、
0:45:44	12グループにそれぞれ適用するデータがこれだというのでですねここ増えていくものが出たらば何度も何度も同じものが出ることにはなるんですけども、

0:45:56	それはそれでこれは書いてしまっ、それがこの一つの表になると、それぞれのデータに基づく、160、157 ページの図が 12 枚ついてくると、私そういうイメージを持っております。以上でございます。
0:46:17	規制庁神です。表はだから中央地盤としては中央地盤でまとめて、その表の中にFAみたいな感じで、
0:46:27	入ってくるのがまず表がつき、その後ろに、157 ページ永松の
0:46:32	中にかどうか、
0:46:35	管理官、手を挙げられているのでお願いします。
0:46:39	基本的に、野元さんの話でいいんだけど、ただしその中央地盤単位でとかかっていうのも、
0:46:49	言葉自体は基本的にいらなくなるんです。
0:46:53	薄井周辺とかF周辺とこれ、12 がいつも基本形になってるんですよ。
0:47:00	だから、すごい愚直にあれば、12 の欄つくればいい。ただ、
0:47:05	結果的に、最終的に 12 個欄作ったときに、
0:47:09	例えばAとF周辺だとすると、紙の無駄遣いを省くために、周辺とF施設し、
0:47:18	変なんだかって、
0:47:20	取得データのところに枠が一緒になっちゃったほうがいいかなとは思ってるんですが、これで基本的なデータのまとめになると、だから中央地盤イデとかどうでもよくいよねそんなの。
0:47:31	辨野でございます。はい。理解いたしましたアノコウタシロ部長。はい。
0:47:38	実はこの全体であるのが、中央とか西とか非ヒガシっていう範囲はもうないんでしょ。
0:47:45	はい、おっしゃる通りです。
0:47:47	だからこそ、一緒に何かルールとかね、さっき言った専門家の、ほぼ全員がね、これ一緒だよって言うふうなのが、構造的に一緒ってことはさ
0:48:00	を中央とかにしとかなくてまずはローカルな単位で 12 個あったやつっていうのが常に動いてるんじゃないのか。
0:48:08	はい。前のことでおっしゃる通りです。
0:48:16	はい、規制庁カミデサノ大体クリアになったと思いますあと、もう 1 個今までの話の中で意識を合わせておいた方が、
0:48:26	よさそうだと思うのが、
0:48:29	さっき、当たり前と一緒にだよって思える。
0:48:33	もののイメージを少し合わせておかないと、原燃はこれ当たり前だと思ってます。我々はそんな違うでしょってなりそうな気がしていますで。
0:48:43	ちょっと例示で話をすると 90 ページなんですけど、

0:48:48	ちょっと4ポツの中身なんですけど、今話をしちゃうと、
0:48:53	90ページの右下のS波速度のところですね、これ。
0:48:58	それなりにばらついているとは思いますが、原燃としてはこれ一緒だから、平均で扱っちゃって、
0:49:08	いいと思っているということで99ページなんかだと、一本の線にしてるんですけど、
0:49:14	この辺で、
0:49:16	原燃の意識だと。
0:49:18	もうこれは当たり前と同じデータとして扱えるという、
0:49:24	ことで考えているってことですか。
0:49:30	はい。日本原燃のオガセでございますはい。結論を言うとイエスでございますんで、見た目当然やはりこの地質の色分け水色とピンクの深さとかが違うっていうのは色ではわか見えるんですけども、実態の速度構造、
0:49:44	とか速度構造がその応答に与える影響とかってところを考えると、これはもう一緒としていいでしょうというようなところに、はい。至るとい、ある意味分析込みでの分析をすれば誰でもそうなるでしょうというようなそういうような意味でのイエスになります。
0:50:00	規制庁亀井です。
0:50:03	だから
0:50:05	分析をすれば、分析をすると一緒に、日本原燃の尾形です。同じデータ化という観点ではなくて先ほど減衰の時にもこちらといったところではあるんですけど、同じ地盤とみなした上でのデータの何ですかね、ばらつきっていう
0:50:20	かそういうような位置付けであるので、これらを統計的に処理することは最もらしいだろうというようなそういうような意味です。
0:50:28	ぴったり一緒という意味ではない。
0:50:35	うん規制庁カミデその辺の考え方を、
0:50:38	4ポツでもそうだしこ全部同じ4角で書きゃえばポポツで一緒だと思うんですけど、こういう観点で同じ等、
0:50:47	同じものを伸べるんですけどっていうのを、
0:50:50	しっかりまずは示してもらいたんですけど。
0:50:54	その介護資料90ページ、91ページぐらいだと応答のなんかさつき大場さんが説明されたようなことって表現できるんですか。
0:51:09	でございます。この90ページのところで、今オガセがいたところを書こうとはしてるんですけども、ただですね読んで、それがちゃんと我々御

	説明し切れてるかっていうのは、もう1回イソダせさせていただいて、ちゃんと説明していけるようにここを作りたいというふうに思います。
0:51:29	書くところとしてはここだというふうに思ってます。
0:51:33	もしくはもっと日本原燃のオガセですけど、どういう観点で、同じとみなすことにするかっていうところ今上出さんもおっしゃったみたいに4ポツって基本的に一緒だと思っています。データっていうのは、
0:51:44	ばらつくものではありませんので、やはりちゃんと同種の岩盤と岩盤中かそのもの同一の材料としてみなせるかどうかっていうところの観点でやって、それがもしあの材料として一緒だったら、これはあくまでそのデータの、
0:51:57	いわゆるその乱れの範疇でしょうというようなところの判断になると思うんでそれは4ぽつと言つ一緒なので何かもっと前の方に書くのかなっていうのは私が今ちょっと、
0:52:06	そうでした。
0:52:07	何か各場所各90ページは90ページ、次のグループでも同じことを書いても何かまた違うのかなという気がします。
0:52:14	ごめんなさい議論ですけど、方針は前の方に多分言ってるんでしょ。そうです。この施設についてどうだというのはここで(ア)そうですねそこはすみません我々もないですよ多分その方針を前に書いてそれと、何か方針で確認するよっていった項目に対応するようにちょっと並べかえしかりなんでしょう。
0:52:33	どうやって紐づけ方針とひもづけるように書くと、
0:52:37	わかりやすくなるのかなと思いました。はい。やっています。
0:52:42	規制庁神です。あと、加えて、水頭の整理をしたいところが148ページのフジイ14、
0:52:52	のS波も、
0:52:54	蔵本。
0:52:56	バラバラと言っていて、
0:52:59	これも結論としては一緒。結論としてはこれとこれはどうなんでしたっけ。ちょっと説明してもらいます。日本原燃のオガセです。結論はバラバラですね。
0:53:14	だからヒガシにまとめて、
0:53:15	ヒガシでまとめない74の中でも、これを一体として平均化するようはちょっといきなりやるのは乱暴だよねというような結論です。
0:53:25	デッキ設置を加味してそんなに、
0:53:28	その考え方は、これを見てみた結果、これはまとめられない。

0:53:35	一方でさっきみたいに、これはまとめられるっていうものが、さっき小橋さん言ったように同じマテリアルとみなせるかどうかとか何か、その
0:53:47	同じ指標で判断されてます。はい。日本原燃オガセサノまさしくおっしゃる通りで、その指標で判断した結果、148 ページのところでいけば、
0:53:57	左下の図で赤点線になっているものと青点線で囲んでいるもので、全然マテリアルが違いますのでこれは一緒にするのはちょっと厳しいでしょう。
0:54:06	はい。
0:54:08	磯委員。
0:54:09	はい。
0:54:12	そうです。ちょっとわかりにくいと言われればそうかもしれないけど最後の以上のことからこのところで、44 の直下コウと。
0:54:21	あと、何でしょうかねその上盤側のデータだけによるもの下盤側のデータによるものをそれぞれ個別にちゃんと建屋に当てはめていきますよっていう意味で、最後の矢羽根を書いています、ちょっとわかりにくいです。
0:54:33	ね。はい。
0:54:34	ちょっと、はい、わかりやすくする。
0:54:37	必要な知識、
0:54:38	規制庁神栖もちょっと確認する 149 ページに、
0:54:43	さらに分析をしたようなところが載っていて、
0:54:47	これのどこを見て、やっぱり 14、
0:54:51	一つに、44 の中でも一つにできないなんて、どこを見て判断しました。
0:54:57	日本原燃オガセG14 のグループ、グループの中で一つとして見ていいかっていうところの判断は 148 ページで、
0:55:08	進んでいるところ。
0:55:09	だから、148 ページの最後の結論でちゃんとそれがわかるように書いてあげる必要があるということ。
0:55:15	で、149 ページでは、一方でその個別建屋に目を向けると、G、その直下で大きい断層で地質学、
0:55:24	鍵になってしまってるっていうんですかね段差があるような建屋があるわけなので、そこっていうのも、じゃあその著なんていうんですかね。その 1 個の地質構造だけで評価可能なのもしくはどれかの、自重用の直下いろんな一とヒガシ橋なりに斜字光
0:55:40	いろんな場所をとって見たときに、応答による差みたいなのを考えたら、どれか 1 個の場所を見ておくことで代表が可能かというような観点

	が 149 ページですので、148 はグループ全体 149 はそういう断層みたいなのが下にあって、
0:55:54	何か次元ぼくないっていうようなところに対しての、もっとミクロな着目点での分析ということになります。はい。以上。
0:56:04	はい。規制庁神です。何となくわかったからまずは 148 で判断、整理、148 みたいなところでこれやっぱりグループ内で、
0:56:15	ばらつきがありそうだな。
0:56:17	あとは、
0:56:19	単純に、
0:56:21	ばらつきはあれだけど、断層があってちょっと地質境界があるからちょっと気になるな、みたいなものは 149 のスペクトルを書いてみたりっていうところに、
0:56:32	フェイス像として、ちょっと深掘りすると、そんなイメージですか。日本原燃オガセアノまさしくおっしゃる通りです。
0:56:39	はい、規制庁カミデそのあたりがやっぱり 4、4 発の頭なんでしょうねこういうふうに見ていきますよっていうところがシーケンシャルにこういうふうになっていきますっていうのがわかるようになってはいいかなと思いました。はい。
0:56:51	はい。日本原燃オガセで了解いたしました 4 ぽつの頭で、何ていうかねその全体構成それぞれのグループでやることの流れみたいなもの、何て言うか目次というか、フローじゃないですけどそういうのをちょっとわかるように、最初にまとめて書くようなこと。
0:57:04	追記します。
0:57:06	はい。上川。どうぞ。
0:57:10	規制庁の長谷川ですけれども、今の会話で、全体の話をちょっとしておくと、
0:57:18	今回の審査会合でよっ発、
0:57:22	きちっとお互いに論点がない状態。
0:57:26	ていうのを作らないと、次のステップにはいけないわけで、
0:57:31	ここを難しい説明とか、何か論点が残るようなこと、それはだから、データの整理の仕方なんで、
0:57:41	お互いにこうコミットができないようなものを残すと、当然次に行けないでもう、
0:57:48	原燃が言うように、結果が解析でやればみんな一緒ですよって言ったんだったら、別に変えなくても、要するに違う例えばさっきの速度構造みたいなものを、
0:58:00	違うっていうふうに、

0:58:03	認識した中で、わざわざ一緒に平均化しなければこれ三つ違うんですよ。
0:58:10	いうふうにしてもどうせ解析で一緒になるんだったら、だったら議論なんかしないというそういう、要するに作戦的なものもあるわけですよ。
0:58:21	結果一緒なんだからわざわざ一緒にする議論なんか省いたほうがいいよねって、そういうことも含めてよく考えないと、議論がスタックしていくので、
0:58:31	よく考えてくださいねっていうのを一応言っておきます。
0:58:36	遠藤でございます承知いたしました。
0:58:41	コサクです。
0:58:42	先ほどのカミデの話。
0:58:47	考えていることは、前からここに断層があってっていう話をしてたので、理解してるつもりなんですけど、157ページの物性時の赤線で平均化した値って書いてるのがよくわかんないんですけど、何ですか。
0:59:05	何をできました。
0:59:07	はい。日本原燃の佐治
0:59:11	157、58。
0:59:15	はい。
0:59:20	うん。
0:59:21	日本現状バスです。そういう意味ではG14は、
0:59:26	そうですね、平均化というか最終的にじゃあ違うから、場所ごとに違うのをやろうって言ったらちゃんとその分出てくることになるので、何かあまりよくない平均かとかいう話じゃない。
0:59:36	はいです判例が間違っているのと、もしかしたら須磨先生も足りないかもしれないんですけど、それはすいません。はい、わかりました。ちゃんと。
0:59:44	本市でこれが並行して、
0:59:46	さらに言うと、
0:59:50	周辺からの影響を与えて、
0:59:53	受けるので、モデル化の時に考えなきゃいけないとかっていう課題をこれまでの会合でも、
0:59:59	言われていたと思うので、その扱いもここで、
1:00:03	説明するのか。
1:00:05	まだモデルかっていうところまでいってないから次回、
1:00:08	説明しますので、そこら辺はどうなの。
1:00:38	できるか。
1:00:45	考えとかは入ってません。

1:00:48	言うで、6、
1:00:50	時間ちょうだい。はい。
1:00:53	日本原燃のオガセちょっと今回のこの会合資料には入っていないものになってるっていうのをまず認めた上で、今回の 08 の補足説明資料の方で、
1:01:03	いわゆる周辺からの影響ということで、今まで 149 ページあるみたいに建物の社寺とヒガシ橋だけでやってみて、1 次元的なものの前提を崩さないままで
1:01:13	やってるわけなんですけど、要は古作さんおっしゃってるように、ちょっと離れたらもちろん
1:01:18	違う地盤が出てきたりとか斜めになったりっていうようなところのいろんな傾向とかがあるよねというところを、08 の資料で、いわゆる 2 次元モデルを作ってあげて、それと、この 1 次元でやった検討を比べたら、1 次元でやってる検討点。
1:01:31	問題なかったんで、1 次元の検討で十分だよ。
1:01:33	ところを作っております、08 ではその辺は一応クリアして、
1:01:38	すいません。英語でこういっぱい書いてしまうと結構何ていうんすかね。いわゆるこの 1 次元でやってるのが、問題ないことを確認した上で、この 1 次元でもう 149 ページに書いているような検討した結果をすいません会合ではちょっと見ていただくのが、
1:01:52	いいかなと思ってその手法の妥当性っちゃうか、
1:01:56	何ですかね、そこまではダイゴ資料でやると、いろいろと細かすぎるかなと思ってちょっと細かく説明する必要はないんです。細かくするじゃないんですけど、会合で論点にしてるんで、そこはちゃんとそういう検討をしました。そうですね。
1:02:12	そういうことはちゃんと書いて。はい。はい。場合によっては 08 のところの場所とかを示すということですね。うん。いうことを言っていたいて、
1:02:25	ちゃんと潰し込みをすると、いうことは、県、
1:02:28	整理をしております。かしこまりました。今のところで具体的に言うとおそらく最初に更新的なところを書くわけなんですけど 4 ポツのそこにアノ断層はこういうふうに見ますよというときに、1 次元でコウイシヒガシで、いわゆる極端に小西橋の地盤がこう広がってるような極端な検討をするんだけど、その方法ってのは二次元とかの検討でちょっとちゃんと、
1:02:48	いいことを確認した上でやってますっていう、そういうのを方針的なところに付記しとくようなイメージを持ちました。
1:02:54	すいません。ちょっともうイメージをちゃんと共有しないととは思ったんですけど方針としてそうだと、

1:03:01	その結果の回収ってのはもう参考、08の参考のこの中身になってくる結果返し結構
1:03:10	結果、そういうことをやります、やりましたは、核として、結果形を、この4ポツのシリーズに、
1:03:20	入れるかどうかっていうと、日本原燃さんですけど、今のコサクさんとの話ではあくまで今回149ページでやったこういう、ある意味、雑なのね。
1:03:32	仮定した上で、その検討方法がおかしくないことはちゃんと確認した上でやっていますっていうところをやることで、結果論的なところを説明するものではないんだと思っています。
1:03:43	はい。そういうことをやりましたこの中ではかえってそうです。具体的には08でお示しています。そういう構成員は、失礼いたしました。
1:03:58	はい、規制庁カミデちょっと4発に大分飛んじやいましたけど、5ポツの流れだったんでアノこっばつまでで、5発の中で、まだ話し足りない方とかいればお願いします。
1:04:13	はい、規制庁から特になければ、じゃあ、一応1ポツ2ポツ3ポツでまとめてあればっていうことですけど、どなたかいらっしゃいますか。
1:04:29	特に、規制庁浜崎です
1:04:32	じゃもうあれですかね。ちょっと細かい話、資料の話になるんで、後でいいかなと思ってまして。
1:04:40	まずですね、10ページ。
1:04:43	これ岩石Coreの結果が出ていますんで、これ4ポチでもあとこっちの方でも減衰の、
1:04:52	カセコウは、岩種をとって出てきて、
1:04:56	まして今回これ初出の話なので、
1:05:02	特にパルスライズタイム呉の値を中心とするっていうことですよ。以降ですね。
1:05:08	ちょっとそこが、この文章では読みにくいかなと思います並列にスペクトル法とか、非法と書いてあるだけなんで、
1:05:19	この
1:05:20	ライズタイムとかパルスライズタイム法の値を、以降は、中心、
1:05:25	ミヤマデマチますというところで、
1:05:28	はい。
1:05:30	信頼性あるわけ。はい。はい。後から出てくる数値が多分こっちのパイプラインだということですね。
1:05:38	それから、いいですかあと12ジュース10日さんすいません規制庁鍛冶10ページは、減衰の、

1:05:48	有効数字と見せて受けた数が違うのはこれはあれなんですか、試験結果の信頼性でここまで保証できますというのがずれてるんですか。
1:06:00	はい当然設計の上でございます。
1:06:03	実際に今回やりましたですね岩石コア試験のですね、制度上ですね、この1桁ぐらいいまでしか取れないということで、この制度にしてございます。
1:06:14	繰り返し3軸の方はですねRBRというその場で回帰した数値がきちんと出ておりますので、市も不タケダまで出しているということで、今回ちょっと桁数が違うというのはもう従前わかってたんですが、そういうことでお出しさせていただいてます。
1:06:30	はい。清長カミデさんの理由があれば別にと申します。はい。浜崎さん続けてください。はい。規制庁山崎です。
1:06:38	12ページ、13ページ、表層についてのこれちょっと、
1:06:42	初出ということで、まず、12ページに関してはさっき猪野さんから話がありました111度新名。
1:06:49	含まれているということですね。それによって随分これ変わってきたということで、結果的にそのW1W2を含めた新ドイゾーンで評価するで、
1:07:00	いいんですか表彰はもう日本で現にどうぞその通りでございます。
1:07:05	従来を検証したんじゃないで、
1:07:08	当然セキのものでございます。W1EWIにはですね、実際にはですねG0を出すデータセットではございませんので、実際には30コウのデータセットで、
1:07:20	設定してる値ここで言いますと図2です112ページのですね、図Bの新しい会議ですねここで言うと緑色になってるんですが、それを用いるのが、最新の、
1:07:33	地盤表層の物性設定ということになります。しちゃうわけですね。そうすると、
1:07:41	図BニワWGWIには、ここは含まれないですね。はい。ということで設計の方でございますがWPW2という形で、ろうが取れてませんので、緊急に、
1:07:53	と申しますか、S波検層だけをですね、主としましてろうが取れてませんので、このデータセットの中に入れてございません。
1:08:04	規制庁、濱崎ですが、
1:08:07	最終的に
1:08:09	下の図で、
1:08:13	の傾向が随分変わったわけですね。
1:08:18	図では、

1:08:21	そうですね。はい、わかりましたねはい。はい。当然先ほどでございますが、ずっとをですね、書いた、書いた趣旨といいますのはですね、もともとですね、既往データと言っておりますやつが、
1:08:33	その深さ方向にですね、ろうがとられてなかったものですから、AVSをですね、1メートルごとで、離散化させて、それに回帰ノロを入れたという、
1:08:43	方法ですね、をとっております。それが実際のもので、地盤の元現象、地盤のですね物性値を評価するということで、この図dの方はですね、
1:08:54	先ほどのW&W中の速度構造だけを入れてそれをに参加してやって、会計ノロを入れてやって会議してるということでございますので、実態はですねこのDの方が近いんでございますが、データセットが取れてないということで、
1:09:08	エスピーの方の値を使うということでございます。はい。規制庁浜崎です。背景は理解しました。
1:09:17	ので、要は、ずってが、続けてよいというんでっていうことで、まず、Bについては、次、
1:09:27	ディーゼルとしてはだからそこにはフクマちゃってね。
1:09:30	はい。ちょっとそこ、
1:09:34	実際、長田です。
1:09:38	浜崎さんの思いは私も同意で、何で変わったのっていうのは、はっきりしないでもよくないんですよ。
1:09:47	そこは何ですかね、ろうが取れてなくてみたいなのがあるんであればより一層ちゃんと書いていただいて、こういう処理をして、だってBSDの中には、W10度のデータは入っている。
1:10:01	使われていて、こういう追加調査をした結果、うん。こういうことがわかります。明確になりました。
1:10:10	データの的にはばらつきなのであって、
1:10:15	大枠での傾向としては変わるものではないということが、データ的にも、私は思っていましたっていうことなんですよ。はいそうです。
1:10:25	そこはやっぱりしっかりと行ってくれないと、ここまで議論、論点になったんで、その上で、全体のデータをどう使うかというデータセットを作るためにはこういう、こういう背景からこういう調査をしますので、Dアビル、
1:10:40	なっていると。うん。
1:10:42	いうことで理解しますので、そこら辺しっかりと、はい。はい。はい。当然関野でございますが、先ほど野本さんの方からですね、ここに書くべきこと、前回浜崎さんに、

1:10:53	W&VIIのこともですね書いてくださいということで、申しうけてたんですけども、それをちょっと今聞き、記述するのを忘れてましたので、そう。
1:11:03	浜崎さんとですね、コサクさんにおっしゃっていただいたことはですねもう従前重々と承知しておりますので、その辺のことはですねもう少し詳しく書かせていただきたいと思います。
1:11:13	はい、関沢です。
1:11:16	話を元に戻すとそうすると、結果的に、地盤の応答解析というのをを用いるときの、
1:11:23	180-Gですねその深度依存っていうのは、従前と変わらない。
1:11:32	当然設計のものでございますが、予測モデルとしてはですね、従前と変わらなくても構わないんですが、今回データを入れたもんでですね、傾きなりですね、
1:11:43	小数点第タケダ目ぐらいですけども、変わってしまいますので、正確なモデルとしてはですね、そちらの方を提示させていただくというふうなことになるかと思います。
1:11:57	それと、
1:11:59	13 ページ、流動化処理場に関しても、今回は地震応答解析に用いる場合には1、2でしたっけ、分けるということで、
1:12:11	移行を評価します。お願いしますということでいいんですよね。
1:12:16	はい。戸田関野でございます。それぞれですね、
1:12:19	流動化処理等の第一グループと第二グループということで、品質管理の方は技術会議というか、基準がちょっと異なっておりますので、その部分は分けてやらせていただきたいというふうに、
1:12:33	はい、規制庁です。
1:12:35	今のですね10から13ページに関しては、4ページ以降、
1:12:42	今度共通のやっぱり、
1:12:43	グループ共通の話になるんで、ここでしっかりと説明の方を進めたいと思います。
1:12:51	私の方からサンポ地までは以上ですけども、
1:12:55	次、ちょっと1点だけ、規制庁カミデサンポつまで他大丈夫ですかね内田です。
1:13:03	すいません。一点だけ、15ページからの表で、AとCを岩石コア試験がすべて動作ってなってますけど、正しいですか。
1:13:14	13週に限定されて30分カゴイじゃない。
1:13:19	してるっていう。
1:13:22	入っていいか、まだ。
1:13:24	ちょっと政策が違うんだったら、

1:13:27	日本原燃のオガセです。実際調査をしている試験体っていう意味ではおっしゃる通りきちんとおっしゃった通り、10 番集とか 30 イワモト 14 とかいっぱいやってるっていうところが、
1:13:38	あたりしますので、
1:13:39	ちょっと
1:13:40	変わってないかもしれないっていうところは疑いを持ってでもですね、ただですねこれ動作動作と言ってることがどこにあるかっていうと、bポツの岩盤部分の非線形性のところにいまして、
1:13:51	各グループで出てくる地盤の地下構造。
1:13:55	ここに書いておりましたここって、ちょっと悩ましいところなんですけども、細粒砂岩とかみたいに非常に薄層になっていて、最終的に地質構造が、
1:14:06	見えて平均化していいよねっていう時になった時にはもう薄層で消えてしまうような岩種。
1:14:12	このbポツのところからも決して記載していますだから最終的に結論として出したところの、各グループの結論のところに出てくる感じのところをちょっと書いているところでございまして、
1:14:23	そういう意味ではきちんとそれが網羅された完全移行試験が取れているところですので結果的にこういう動作というところになりますのでちょっとその辺、ちょっとすいません今言葉で聞いても、
1:14:33	いろいろ組は難しいところがあるので注記とか何かそういう位置付けで書いてますよというのがわかるように、ちょっと対設計をしたいと思えます。はい。土本シゲマスその通りで、うちのデータがあるので、そのデータがあるんだ。
1:14:45	はい。うん。こういった、ちょっと趣旨が強い。はい。修正やるんです。
1:14:51	なるほど。
1:14:53	はい。原料はですか。
1:15:02	はい。規制庁神です。
1:15:04	よろしければ 4 ポツに行きますが、
1:15:09	4 ポツまず最初に今もういきなり 12 グループということで周辺から始まっていますけど、前も話をしましたが、
1:15:20	かなり 19 かある子資料構成なのでまとめられるものはまとめられるようにということだと思いますけどそのあたりの考え方って、現に今イメージを話していますか。
1:15:31	はい、日本元

1:15:34	イメージとして先ほどちょっと前の議論で4ポツの頭に何かするフローとかそういう考え方の方針みたいなところを書くというふうなところを言いましたんでそれを、
1:15:44	それそこに、いわゆる今ダブっているところは結構移せるんじゃないかなと思ってます。具体的には例えば25ページにあるような、
1:15:52	その下半分の平均化の手法みたいなところですね、についても、4ポツの頭の方針のところ、マテリアルが一緒とみなせるなら平均化しますその時の平均化の手法はこうですっていうようなところで、
1:16:03	25ページの下半分なんか全部、前の方に持っていけるかというふうに思う。
1:16:07	ます。あとは例えば、細かいところですけど27ページの各減衰定数の持つデータの持つ物理的な意味合いとかそういう条件みたいなところなんか全部一緒だったりしますので、
1:16:19	その評価手法の特徴を踏まえた分析をやっていきますみたいな方針として4ポツの頭に移せるかなというふうに
1:16:27	です。
1:16:28	ソーレぐらいが主なところかなと思っております。
1:16:33	はい、以上。
1:16:39	はい、規制庁コマツ28ページの、
1:16:42	下水とかはどうなんだろう。
1:16:46	原燃のバスです
1:16:48	28ページの元材料減衰のところに該当する3軸のコア試験なのですが、実際見てみるとどこのグループも同じような傾向で荘司企画内容は変わらないんですが、一応、
1:17:00	分析にあたっては個別のそのグループで出てくる岩種のもを見ていますので、何だろう最初にその同じことが書かれるからといって、
1:17:09	まとめるのも微妙だなと思って申しまして、各グループの岩盤を見た結果こうなってるっていうのはやっぱりちょっとこれは個別に書かざるをえないかなと。
1:17:19	ました。
1:17:21	はい、規制庁カミヤアノイメージではあるんですが4パターン最初、
1:17:27	何だろう。
1:17:29	部分的に、例えばさっきの平均化の速度構造の平均化は共通で持っていけるからそこだけ示すんじゃないかって、1等地まずはその速度構造であり設計、あとは減衰。
1:17:42	表増加もう、一通り4発いつの頭でこういうふうにやりますとは言った上で、それでも個別にも書いておくものは書いておくっていう形で、

1:17:56	あんまり前に持ってって、あれと一緒にですって言うても見にくいのでその辺はちょっとセンスもあるとは思いますが意識は合ってますかね。日本原燃、岩瀬さん、意識に合っております例えばそういう意味でいくと28ページの、
1:18:10	ところでいくと、4歩IIの頭の方針的なところに、そのC案で考える方針とかシートで考える方針それぞれ当然全部全部のAからDぽつまで全部書くことにはなりますとなるとこの28ページのC1の中の多分、
1:18:25	2二つ目の矢羽根までとかあと岩石コアのところではいけば、
1:18:29	これもそうかな、CC上から二つ目の矢羽根までは方針に行って、いわゆる各グループでの分析の結果だけがこの各グループに起こるようなイメージになると思ってますこれ他のCさんとかも同じような考え方になると思うので、そういう意味で各、
1:18:43	辛子0までのところの文章は結構各グループダイエツされるのかなと思ってます。はい。
1:18:53	はい、規制庁カミデそうありましたほか、その構成的なところで4ポツで話をしておきたい方はいらっしゃいますか。
1:19:04	はい。特になければじゃ、中身も含めて確認があればお願いします。
1:19:09	はい。いいですか規制庁浜崎です。
1:19:12	26ページで、
1:19:15	研究の
1:19:17	なんですけれども、右下の図ですね。
1:19:23	これAB建屋ってちゃんと書いてあるのと、今ここで比較している線形と非線形っていうのを新規するのは、追加も含めた、
1:19:32	もうでいいんですよ。08は追加のありなしとかいろいろ44種類ぐらい確か線が入ってあったんで、これに関してもですね、基本、きちんと
1:19:44	追加も含めたものという認識でよければいいんですけども、それが一つと、
1:19:50	今ここで言いたいのは、AB建屋の一次固有振動数よりも短い範囲での一致を見ることによってということなんですけどまずこれ制度カッチの1秒からさ。
1:20:01	しなかったよね、これ、これ何か意味が。
1:20:05	ここで4とするのは例えば0.13137円。
1:20:10	はい。はい。ナカ首藤の位置がずれて、間違っていますか。日本原燃の長谷です。1二つ、今ご指摘いただいたところで、
1:20:21	まずすいません今最後に言っていた、1秒から制度かかっているのは何かというところからすいません。さっき、

1:20:27	ご説明しますと、これ、AB建屋のところでの応答で確認はしているところなんですが、見る周期はやっぱグループでいっぱい建屋ってこっつて主排気塔がいるグループですので、こういうものがあります。なのでもう、
1:20:41	一番長いやつから、このグループのなんすかね。短周期が全部見たというようなそういうようなイメージを持っていただければと思います。はい。規制庁和田です。わかりましたこれ多分排気塔ですね。はい。はい。
1:20:52	緑が入って今日は、適用範囲ではなくって施設の持つる周波数のキタハラ保育とさ。はい。はい。そうそう。さあ、ちょっと資料、資料の中で、すいません対応はデッキ緑が除外のところありました。
1:21:11	見るべきところと棄却するところが残っちゃいます。
1:21:15	わかりました。はい。木山。
1:21:19	何かちょっとわかりました。なるほど。
1:21:22	八、九ページ。
1:21:24	同じ色で、はい。違う意味は逆です。
1:21:28	かしこまりました。すいません気づかいです。はい。もう一つ、ご意見、
1:21:37	ましては河崎さん。
1:21:39	これ、
1:21:40	おっしゃってた通り、新しいデータを追加した上での最終的な試験結果の設計の結果、クラブたものをここに載せております。はい。はい。
1:21:48	稗田です。
1:21:49	今、ちょっと細かい話ですと、ここに出てる図はAB建屋の基礎下がE+Fな。
1:21:57	はイソダ日本原燃おかしいですそうです。だから、それと例えばシライとオオノ通ちちょっとまあまああるんですけども、
1:22:07	大きくはそういう観点でABを代表として、
1:22:10	タダミキ有賀。
1:22:12	そこのグループに属するものの一番徴収金から入っていくことで判断するという、
1:22:18	本当ですね。はい。はい。日本原燃お母さんそこはすみません蒲生アノ氏すべてをやったところでも構わない結果がやられるだけだろうというすみません若干確信を持ってもここは代表で一つやって、
1:22:29	はい。
1:22:31	ちょっと入力地震動、
1:22:33	エミタテアサノこれもABって書いてあって、薄井です。かしこまりました。どこでやっているかっていうのとあとさっきの周期の範囲も、

1:22:44	ちょっと長いのがある理由がちょっとわからないまま、あえてあるんですよ。はい。はい。はい。グループ内の施設全体を見ての長いやつっていうふうにちょっと確認したいと思います。はい、わかりました。
1:22:57	それと、これは表記だけで 30 ページで、干渉法の主、タテ時空が 10% になって、すいません今回、
1:23:09	さあ検層の方は 1 定 01 になってるんですけど令和消さ直されます。
1:23:17	やっぱ、はい。日本原燃合わせあわせ、あんまり物理的に覚えるのは、はい。合わせ
1:23:26	はい。
1:23:29	規制庁浜崎です。それと、
1:23:33	ちょっと 48 ページかな。
1:23:36	これも連携の方なんですけど、これ
1:23:40	08 の資料等ですね。
1:23:43	これ全部対応してますぜというかいう質問なんですけど、48 とか、
1:23:51	幾つか見比べてみたいな、図がちょっと違っているように思ったんですが、いずれもさっきも聞きましたけれども、
1:23:59	清家夏井狩野。
1:24:02	フェーズ込みでということですよね。はい。はい。その通り。はい。はい。08。
1:24:10	500
1:24:11	9 ページかな。ちょっとわかりました
1:24:15	もう 1 回確認というか、オガセサノ改めてこちらでも当然いたします。それは後から差し替えますとか、そういう状態じゃなくてきちんとしたもの入ってるという理解でいいですね。最終版というか、
1:24:26	今このあそこ、そうですねはいそのつもりで書いておりますアノちょっと間違いはないか。はい、わかりました。
1:24:36	21 ページ、次、デイ・シイ。
1:24:49	はい、北崎です。
1:24:52	とりあえず、ヨンパチ以上です。
1:24:56	福嶋です。
1:24:57	土地に関して言いますけど、
1:25:00	95 ページ。
1:25:06	下の椎野がセキコウ首藤 の説明を見ますと、この二つ目の山根の文章が、
1:25:16	よくわからないんですけども、
1:25:18	おそらく、

1:25:18	岩石コウ試験はと言っておきながら 3 軸試験によって正しく評価されている。
1:25:24	説明になっていて、で、もう 30 具志堅の方が信頼できますよというようなことを多分売ろうとしてるのかなと思いました。ただ、この 94 ページの下の図を見ますと、
1:25:36	泥岩上部層とか、何らかの砂岩、泥岩、ゴソツて、
1:25:40	他の地点と違って 30 分試験と同等か、サイクルの低い値を与えて、
1:25:47	単に 3 軸よりも高いからちょっと信頼を受けませんがセキコウノと評価している。
1:25:53	この辺からちょっとこれ外れるんじゃないかな。
1:25:55	そうですか。
1:25:56	衛藤。二つ目の矢羽根の文章って全グループ共通の文書。
1:26:01	評価。
1:26:06	はい、日本原燃長谷でございますこれは申し訳ありませんちょっと 08 では書いているのをちょっとこちらの会合資料の方にちょっと反映し切れなかったところがございます。今 08 ではきちんとその辺は書いているつもりでございます、
1:26:18	今議長さんおっしゃったようにこのアノ性の凝灰岩こそだけは、ちょっとこの 3 軸圧縮を下回るような結果がえられているところがございます。
1:26:28	ただ、これやっぱり岩石コアの試験結果ってのはコアでピースで何個か、1 桁コースぐらいのものデータのデータであるのに対して 30 詳しくてこのバックデータとしてこのポチがいっぱいある。
1:26:39	ところがありますけれども、実際あのやっぱりこれを見てもその岩石コアの試験結果を見てもこのデータのオギの範疇内、
1:26:47	いわゆるおっきく全く全然違うようなところ、ばらつきのところを乖離して小さくなっているようなデータとしては獲られていないので、岩盤として全然違うものをとらえているわけではないとは考えているっていうところが、は、
1:26:59	のところの考察を、08 では言っています。その上で、このアノ性の業界がゴソウについても他の岩盤もそうなんですけれども、3 軸圧縮試験の結果ってきちんと
1:27:10	10 のマイナス 3 乗ぐらいのところの 5 地歩い結構小さいところのひずみレベルまで、ちゃんとデータがこう歩い結構一樣なデータがとれてまして、しかもその、
1:27:20	何ていうんでしょうか、そう曲線に酷似できるような傾向が明確に出ているところがございますので、ちょっと岩石コアのアーキマセ材料減衰

	の、いわゆる線形側の状態に対応するような値としては信頼性のあるものっていうのはとれていると。
1:27:34	いうふうには十分にいえるというふうに思っています。ですので3軸っていうのは信頼性が高いものとして十分扱ってよくなって、岩石コアはそれからそのもともとにしているデータのばらつきから外れたものとしてはとれてないですよっていうのが、
1:27:48	この業界がゴソウでの、きちんと書くべきことになっておりますのでそれがちょっと抜けていた、他の大きく出てしまっていてちょっとばらつきが大きいねというものとは違うような考察が、本来ここに書くべきだというところが今抜けていたところでございます。
1:28:03	すいません。とても08まだ読み込めないの、
1:28:07	今おっしゃったことが理解できなくて、
1:28:11	だって一応しか理解できてないんだけど、3時間のデータ数がたくさんあるのに対して男性講座、
1:28:17	そういった意味では30分後にですね、これは理解できましたけど、
1:28:22	他のこと、岩石コアの方が劣るといった理由がもう一つ、
1:28:27	すみません、現年オガセを取るとは言っていないつもりでいました。まず3軸圧縮は十分精度があるということはまず、さっき一つ目に岸野さんおっしゃった通り、
1:28:39	今もう一つ言ったところは、岩石コアの試験っていうのは、確かにこの3軸圧縮よりも、このがんについては、下にいっているところではあるんですけども、
1:28:49	このいわゆる元データのばらつき、白丸がこう分布している幅の中にはいますので、全く取れてる岩石コアでとったやつが全く矛盾している、いわゆる新知見として扱うべきものかというところではないですよっていう意味では申し上げました。
1:29:04	徐々にします。はい。だから、
1:29:06	まず以降はこの二つの会社については39と整合しているねという評価
1:29:12	はい。その通り。その通りです。
1:29:16	三つ目のレ点を見ると、
1:29:18	和気の水による影響で、
1:29:21	それと、これはこのページの二つの写真、
1:29:25	オオキ、
1:29:26	ミツイカッチ
1:29:29	はい。はい。はい。
1:29:31	伊勢コウ委員評価が、
1:29:34	資料読んでいるだけでよく、

1:29:36	もう信賴的にはデータがえられたのか。
1:29:39	信賴できなかつた。
1:29:41	はい、日本原燃のバスです。ちょっとここはポリシーというか気持ちも入ってしまうところなんです、られたデータとしては、決して信賴できないから外しますという、何か棄却しますという言い方はちょっとあまり、
1:29:54	も望ましくないなと思つていましてせつかくとつたデータですので、あくまで材料減衰として、複数の手法で今回のデータが取れたわけです。3軸圧縮の岩石コアという、今までは参事詳しくしなかつたけども、
1:30:06	岩石コアもとれたというところがありますので両方のデータを、ある意味フラットに並べてみて、いわゆるアズイズお示しする上で、何ていいでしょう、精度が高いのはどちらかなという観点でいったら岩相3軸圧縮をとるのが、
1:30:20	使うのがよかろうという採用作業とかそつちを見ておくのがよかろうというようなそういうちょっと位置付けになっていますので制度が、
1:30:27	悪い。
1:30:29	あつたから棄却というよりは、
1:30:32	なんでしょうフラットに並べてこういう傾向があつたんだけど、大きいとか、ばらつきが大きいとかいう、ちょっと何ですかね、
1:30:41	傾向が見られた。はい、堤です。ありがとうございます。大体わかりました。
1:30:46	多分ですね、今まだ文章は精査されてないんで、この書いてあることを素直にちょっと乗り継ぐ影響が出ちゃつて、
1:30:53	データの信賴性も入れたじゃない。
1:30:58	前段の方でデータの信賴性の説明のところにな大ありますって言うてる。
1:31:04	もうちょっと説明の仕方、お客
1:31:13	重ねてなんですけど、関西圏の佐治空の方が、材料技術としては信賴というのは評価。
1:31:21	なぜこうやる目的っていうのは当初の計画の説明だと、岩種ごとの傾向の違いなんかを見比べてされると整合がとれとか、ガイシュであつたり、定例的な雑減衰定数の評価において何か傾向が掴めない。
1:31:36	うん。あつたんです。
1:31:39	それに対する調査されたんです。
1:31:42	えっと日本原燃のオガセですアノ08の中では、やっているところでありました。はい。只野。
1:31:48	ちゃんとですね、最後資料に落として、
1:31:52	行つたり、

1:31:53	院長としてないのは、要は、そこまで使える。
1:31:59	そうですね結果的に3軸圧縮で、の方が精度高そうだからという、
1:32:07	今おっしゃってるのは、5月期コアで、この面的な傾向とかを分析するねというのに対する答えをここではここでいうと、
1:32:20	申し上げてるんだけど、それをここで書いてないのに、なんでかっていうと、このもう書かない感性の話だけなんだけれども、もうこの一連の話を差し上げる中で、この
1:32:35	材料件数って言ったらもう結論これ、江藤佐治君はーが信頼できるねという流れでもうこれちょっと話をシンプルカーしてしまった方にちょっと落ちてしまったということだけなんだとは思ってて、
1:32:48	だからこの中で材料減衰が傾向としてどうだっていうことを入れるとそれはそれで一つの検討なんだけれども、ちょっと会合で言えばボリュームがちょっと増えるかなと、そういう話でやってきたところです。
1:33:02	その趣旨はここに何で載せないのかじゃなくて、またタテノザキミキれてないんだけど、そういった評価をされているのかについては、一応、イセで、それは今後の減衰定数の設定とかの、
1:33:16	方針決定に反映されない。
1:33:20	とですね。
1:33:23	いわゆる39アシダ日本原燃のオガセですけど、3軸圧縮を採用するにしても、その材料減衰っていうものが場所場所で本当はばらつきがあるんじゃないかというところの、うん。
1:33:32	いわゆる疑いを晴らすための根拠はいると思うので、最終的に、そうですねas-isを設定するときの考え方で、場所場所で3軸圧縮の
1:33:43	試験を、その場所によらず変えずに、
1:33:46	やっていいという考察は確かにすみません、いるのかもしれませんが地下構造モデルとしてとなると
1:33:51	国の方でそういうのは、そういうことをやっていて、
1:33:57	そういった場所場所で違う傾向は見受けられないというような分析結果を示す必要がある期間入りしてきました。はい。
1:34:04	はい。
1:34:05	はい、規制庁。
1:34:08	作業かなと思います。多分そこ
1:34:12	と、衛藤日本原燃オガセですけどもしています。はい。平面的に場所場所で違うかどうかの根拠づけとして岩石化の傾向が使えるかという分析は、
1:34:23	しております。はい。日本原電です。結論を先に言ってしまうと、いわゆる、

1:34:29	いわゆる明確な傾向が全然見えない。場所場所での違う違いというよう なところは見えないというようなところは分析しております。はい、わかり ました。一応、結論というか、今用として方針は変わらないんだけど、そ れ肉付けとして加えられるかもしれないという、
1:34:44	それを追記することと、
1:34:47	どうですか。はい。日本原燃、その通り。はい、わかりました。
1:34:58	はい、規制庁カミデですと私からちょっと戻りますけどさ、30 ページで、
1:35:06	S波検層のところの右下の図が、
1:35:11	何を言ったか。
1:35:13	何か何を言いたいのかわかんないですねS波検層だけだとしたら凡 例もよくわからないし、ということなんですけど、何か。
1:35:22	それがどこにも紙吹き出しまで書いていてっていう感じなんですけどここ ってどうします。
1:35:29	はい。日本原燃の小橋でございます。
1:35:32	各グループで獲られたSR検層の結果を見て、何を分析するかというこ ろは、正直結構悩んだと。
1:35:43	いわゆる各市でとれたデータが、こういう傾きを持ってますこれぐらいの 大きさの位置にいますというところは当然見てわかることなのでそれ以 上何かしら、
1:35:53	分析できるのかなというところを考えたときに、やはりその取れてる個別 市のデータだということ。
1:35:59	の、データの性格に着目するとそれが果たして個別市っていうのは、い わゆる一般的に言われてる値とどれぐらい乖離してるかなというところ の観点で見るのが、
1:36:10	筋かなと思ひましてこういった既往知見との比較を今回入れることに、
1:36:15	しました。
1:36:17	うん。
1:36:19	それ以上のところというのは基本的にはやはり地点、データがとれてる いわゆる強いOne枯らし後の手法間で例えば地震観測記録みたいななど ころと比べてどうかとか、そういう評価的な手法で出してる。
1:36:33	減衰と実測で出したこのC5 のエザワ検層というところの比較検討みた いなことを、
1:36:39	正直やるのが諏訪検層のその分析の本会だと思っておりますがその内容っ て今ってコウをツーチャン今6 ポツかに行ってい行くことになっているの でちょっと4 ポツで書くとするこれぐらいかなというふうに思う。
1:36:51	そうです。

1:36:54	規制庁パミスこれぐらいっていうのもよくわかんないんですけどあれですか。
1:37:01	二つ名刺、C5の矢羽根二つ目の一番下のポツで、オオキサノ企業事件のハバノ概は以内にあるってこれが言いたいってことですかます。
1:37:13	はい。現年オガセですその通りです。
1:37:16	藤規制庁が水です。それだとすると、福島ほかとかサトウ他っていうのが、
1:37:25	あるべきなんだとしても、ここまで強調する必要はなくて、要はピンクと青のプロットが、どこよりも上に何かしら線がありますねっていうただけが示せばいいってことですか。
1:37:40	はい。原燃尾鷲ですその通りです。はい。
1:37:46	はい、規制庁か別にそうだったとしたらそれぐらいでいいんだろうし、あとはその傾きの感じとかも似てますよねみたいなことを
1:37:56	お感じて欲しいんであればそういうこともちゃんと書いて各説明のところにですね、書くとか、なんかそういう感じでこう言いたいこと等図で示すことというのもちよっと対応関係きっちりしてください。
1:38:11	はい。日本原燃越智です。かしこまりました。これ規制庁浜崎ですこれ関連してですね、要はVs2000だとかあまり費率はできないようなものも一緒になってってわかりにくいんで、言いたいことは、オレンジ或いは緑の線と、
1:38:25	大体傾向が一致している或いはハバノ版にあるですよ。
1:38:30	これ前回管理官からもありましたように、水だけが横時空周波数ということもあるんで、横軸周期にして、緑と、
1:38:42	オレンジと今回の結果を、
1:38:45	新たに図で起こしてもらってことは可能ですか日本原燃のオガセでございますそれ下に注記で実はちょっと書いたところなんです、これご覧になって、もともとの文献キーの文献の図を持ってきたからこんな形になってるとい言訳は入れたわけなんだけれども、
1:39:01	今もうそれにこだわらずに、プロットし直したらどうかって今おっしゃってるけど、どういうふうにしてですね、患者さんかな。
1:39:10	注釈の1のフローだとか破線は要らなくて、緑とオレンジの実線と、今回の結果だけ入れればいいわけですよ。そうすると、これ衛藤文献値から取ってきてっていうのはこれ営業として、ある意味二次加工することになったそうですねそのデータを、我々の
1:39:30	責任で読み取ってプロットって何かそんな形になるのがあっちの扱いがちょっとしんどいなというところではないです。わかります。
1:39:40	今、ちなみに緑と、

1:39:43	オレンジの線っていうのは、
1:39:45	これは衛藤。
1:39:47	全部控えてます。
1:39:49	これはですねもともとのバックにしているこれ、この図自体、この白黒のところこの図の白黒のところはこの佐藤他の論文に書いてある図そのものを、いわゆる画像で貼ってるようなイメージで、
1:40:00	いわゆるそのVsが何メートルでうちの敷地に近いねというVsに該当する線を上からコウ謎
1:40:07	そういう作り方を、
1:40:12	ちょっと論文に同定のいわゆる関数の、
1:40:16	定数は多分書いているとは思いますが、
1:40:19	多分その何ていうかね周波数の頭打ちアノ例えばあの緑線が何Hzから始まってるかみたいな横軸の。うん。わかんなかったんですよ。ちょっと。なるほど。
1:40:32	いや、もしこれもうせアノ式アベできてたんならばと思ったんですけども、
1:40:37	二次格の話もあるんで、はい。
1:40:41	最終的にはこれで仕方ないので、ちょっとわかりにくい。
1:40:48	君。はい。すいません論文の中にすいませんそのHzもかけたりするかもしれないんですけどすいませんちょっとそこまで見てませんでした。
1:40:57	はい。規制庁神です。あとその前のページ 29 ページで、右下の地震観測記録のアノアカセンですね周波数依存性なして、これ。
1:41:09	この間のヒアリングでも言っていて、書くんだったら何で書くんですかっていうことがわかって欲しいなみたいな話をしたと思うんですけど、何かあんまり対応した考え方が書いてないような感じなんですけどどうですか。
1:41:29	イマセ。
1:41:31	アシダ設計時はこれ同定値だから、
1:41:33	今までも、
1:41:35	ここ、
1:41:40	現在ノモトです。そうですね前回は引き上げたようにここデータとしてそれぞれで出してるっていうところで書いてはい。
1:41:51	で、
1:41:52	そうですね周波数依存
1:41:58	いや、そうですね。結局最終的にいわゆるC案からC56 ぽつでどれがいいかなという検討をするときに、いわゆるエザキ検層とかの傾向とかも見比べて、

1:42:08	どれがいいかって話をするので、その時に並べて、
1:42:13	例えば消えるというかそういうような話になるかもしれないので何かデータとしてはやっぱり、既往の知見とかいろんな人のやっていることをフラットにやってみましたという位置付けでは、今は書いている
1:42:25	その趣旨が書けてない。それが必要なのは、
1:42:30	このBミヤマエイハラシバフナツてやる理由とか、うん。うん。はい。はい。
1:42:40	と規制庁か水アノお話あったと思いますけどで、その考え方をちゃんと書いて書くんでしょうということで、今 4.1 というのは 4 ポツの最初のところで、こういう元こういうふうにタナベますっていうところその辺の考え方、こういうことがあるから、
1:42:56	こういうのでリニア 0 シバリングはシェアまたこういう考え方で周波数依存性なしも快特ですと、
1:43:04	いうことを回答イクノが最低限参事お願いします。はい、どうぞ。はい、承知いたしました。
1:43:13	はい、規制庁鑑別他 4 発関係でありますか。
1:43:20	藤規制庁カミデす特になければ、
1:43:25	6 ポツって、
1:43:27	国会の
1:43:30	背後で一応これぐらいは、これぐらいっていうかその最初の 5 ポツで話をしましたけど、5 ポツの 163 とか 164 は、多分 6 ポツに行くのでそれも含めて、6 ポツの 3 割ぐらいは今回書いときますってそんな感じになるんですかね。
1:43:47	現場の方でございます。そうですね。はい。やりとりだというふうに思います。
1:43:53	はい。0 ヶ月わかりましたちょっとどこまで書けるかあまりにも生煮えなものを、会合にあってもという気がしますけどちょっとイマダと。
1:44:03	空中戦だなんて感じなんで次回までじゃそこまでのもので仕様提示をしてもらってと。
1:44:08	いうことだと思います。
1:44:10	その上で 168 ページの今後の対応ですね、何か話をしておきたい方はいらっしゃいますか。
1:44:32	はい。支店長。これも今の時点でどこまでするかっていうのはあれですかね、まず 4 ポツあとポツをしっかりと
1:44:41	と、6 発の触りをどこまでかけるかっていうことかと思いました。はい。
1:44:46	一応これで、介護しようとしては 1 皿いて、ここも
1:44:53	08 で時間を取ってますけど介護、

1:44:58	絡みとしても今午前中に 08 でここだけは聞きたいということがあれば、
1:45:03	おっしゃっていただいてもと思いますけど、規制庁は何かありますか、大丈夫ですか。
1:45:13	はい。大丈夫そうですね。
1:45:16	一応ですね本庁側に聞きますけど、午後は進め方やってその人たちは 8 普通にやるってことでいいんですよね。
1:45:24	はい。そのあたり変更はないです。
1:45:27	はい。成長ヶ月わかりました。
1:45:30	ざっと振り返っていただいて午前中は閉めましょうか。じゃあ前の方からお願いします。はい。野本でございます。では全体を振り返らせていただきます。
1:45:42	まずですねこれ大きな話をして、5 ポスト 6 ポツのところの構成につきまして、これですね 5 番のところでは 12 グループでのデータ整理で
1:45:56	オオタニの話というのは 2、6 ポツの方でお話をすると、すいません。
1:46:01	ちょっと言い方、すいません。5 ポツのクボツの、
1:46:07	すいません、あと 5 月のところでは 161 ページと 157 ページこれが結論になるというところで、データをですね、並べるところが出るというところでございまして、6 ポツの方で、
1:46:18	そのデータを並べた時の検討といったようなところに、となるという形、構成を 50 シンボアノすみません、我々で見直したいというふうに思い
1:46:30	で、ですね 4 ポツの方ですけども頭に考え方を入れる形で、
1:46:35	江藤黒瀬としては集約ができるところを合理化する形でちょっとアノをやりたいというふうに思います。
1:46:42	で、
1:46:46	すみません、ちょっと細かいところを全部メモ取ってますんでちょっとやっていくんですけども、10 ページ目のところはパネラームたいパルスライズタイム法を使うということをこれ明確になるようにやっていきたいと。
1:46:59	12 ページ、13 ページのところは追加今日佐古の表層の追加調査以降ですね、W1 機をタブチW2 を使って、ここはやっていく話なんであるということの、追記というのは今ちょっと抜けておるので、追記したいと思います。
1:47:14	12 会場によってに行う競争
1:47:17	は、今回、介護でもキャンプすることというふうに承っております
1:47:22	で、15 ページオガセコウのところは動作というところで会社のところ書いてるんですけどもこれちょっと補足をちゃんと書いて、正確に読めるようにということでございます。

1:47:33	えーっとですね 26 ページのところでございますけれども、
1:47:43	右下はですね、非線形のところ、建屋が対応AB建屋ということに記載して、今回追加を含めたものでこれ、こういうことですけど色使いのセンスをちょっと合わせる。
1:47:55	ということでございます。30 ページのですね、グラフの縦軸ですね、100%でタマウチはアノ制をとりたいというふうに思います。
1:48:06	で、48 ページの図ですね、これ 0 と違うんじゃないかというご指摘いただいておりますんでこれちょっと確認いたします。
1:48:16	40 それから 94 ページのところの、岩石コアのところの記載ですけども宇津による影響っていうような記載もあるんですけども、ここ言いたいことをちゃんと入れる形といいますかそういう形で文章をちゃんと精査すると。
1:48:34	いうこととそれから平面的な分析についても、これも入れる形で、全体の記載を整えたいというふうがいいことでございます。
1:48:45	それから衛藤さん 10 ページのところセンミョウホデ申し訳ないです。
1:48:52	30 ページのところ、案を見ますと、これですね、エサ検層のところの分岐率の比較のところですね、これ
1:49:03	言いたいこと等がですねどうということかというのが、ちょっと明確なるように文章を精査するということでございます。29 ページのところの、その観測記録を用いた同定ですけども周波数一定なり、リニアなりバリア。
1:49:18	なり、我々がこれを一緒にしてることの意味合いというのをきちんとわかるように記載というところで、これ前回いただいたものが、ちょっと入ってきてないのをご指摘いただいたところでございます。
1:49:34	ちょっと他にもいただいているところをもらって、今ちょっと申し上げていないところはございますけれども修正して参りたいと思います。以上です。ちょっと補足させていただきますと、
1:49:48	先ほど 4 ポツのところ、考え方を頭に書くといったことを言いますが、5 ポツのところも一緒のお話でございます。並べて結果を見てみるみる。
1:50:00	見てる話、それから見てる理由であるとか根拠というのを明確にして、これと多分 5 ポツの頭のところにきっちり整理した後にやっていかないとまた同じことになりますのでその辺ちょっと留意したいと思います。また、
1:50:12	5 ポツのまとめ方は
1:50:14	この

1:50:16	次農家、またヒアリングできるんです。どこまで自然にといったところで、我々の考えというのがわかるように、書いて議論できるようにしたいと思います。また、まとめのところで、12グループ、
1:50:28	まとめてやるといったところは5ポツのところでも間違いなく12グループでやると、プラス、157ページのようなZoomを12グループ作るといったところは、今回の約束事項だと考えてます。
1:50:40	6ポツのところは、でき高で、また議論かなというような状況。
1:50:45	以上です。
1:50:49	はい。規制庁カミデす等々に話したことですなまとめで、振り返って参りましたけどこうしましょうといったところですね、に疑義があるのであればまずはその場で言うてもらうってということで、これは
1:51:02	毎度お伝えしてますけどよろしくお願いします。
1:51:07	はい、池沢です承知いたしました。
1:51:10	はい。規制庁カミデです。あとスケジュールはどうしますか。月曜日ということでもいいんですかね。
1:51:18	資料提示は、
1:51:25	全然ノモトでございます。
1:51:27	まずは、フルセット、今回は気味でありますけれどもご定義するというのを、いうことにいたしました鋼材ますんで、えっとですね、ちょっと図表類なんかで、
1:51:40	ちょっと同じデータをちょっと入りきれないところが出るようでしたらば、またそういうところはちょっとこれをこう入りますということ、多分追記した上でちょっと聞きたいと思います。以上でございます。
1:51:55	規制庁カミデです。一応月曜日には出すんですけど、
1:52:01	通表関係では抜けがあるかもしれないって感じですか。はい。ありがとうございます。極力全部出すことを目標とします。ちょっとついにという形で、ちょっとお出しするところが残る家も広いなと今思ってるるところではございます。
1:52:18	はい、規制庁カミイチそれは飯塚5ポツの話、4発はできるんですけど、5ポツがあれだなっていう感じですか。
1:52:25	玄野沢層5ポツはもう出し切るイメージを考えてございます。あれですね、4ポツ、日本原燃長谷です。図のところ、三上ためを変えるみたいなところ例えばちょっとハッチングの色を変える。
1:52:40	とかあと軸ちょっと1秒以上ケースとかそういうところをちょっと見てが回りきらなかったら、そういう対応をやってますっていうふうになんて付記して出すかもしれませんというそういう意味合いでございます。
1:52:50	はい、規制庁アガツマアノ、その程度であればそうですね。ええ。

1:52:55	ヒアリングなり、
1:52:57	の時に説明、あとは何か注記でもどっかに書いとけばいいと思うんで、はい、その程度であれば、じゃあ、予定通り強気でてくて
1:53:07	火曜日ですかねヒアリングということでよろしくお願いします。他全般、規制庁が、原燃側から何かありますか。
1:53:16	規制庁土岐ですけども前回まではフロックがついてましたけど今回はもうつけない。
1:53:22	江藤五味の方でございました経営データとか、
1:53:25	6わあ、必要ではあるんだとは思いますが。
1:53:32	なので付けます付けますか。じゃあ、安いけど、ちょっとつけないとすると、08をしなきゃいけないでしょ。ですよ。
1:53:44	はい。
1:53:45	ちょっと、どう考えるか。はい。
1:53:51	はい。
1:53:52	わかりました。はい。ちょっと検討させて検討して、はい。
1:53:59	はい、規制庁アベツチャよろしいですかね。
1:54:03	はい。これで午前の方は終了します。録音を停止してください。
0:00:00	返しました。
0:00:02	はい。規制庁カミデず、それでは午後の分ですね、今後の進め方と、耐震建物08ということで、まずは今後の進め方からやりたいと思います。出席者ですけども本庁側出席者の説明をお願いします。
0:00:19	から、コサクシノフジワラハバサキヤマグチ
0:00:26	はい。ありがとうございます。またWebからヨコヤマを、第5のカミデとなっています。それでは原燃の方から出席者等資料の説明ですね、お願いします。
0:00:41	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:00:44	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:48	Steeringチームより、ケツク、
0:00:51	ハセガワ、
0:00:53	イシカワ、
0:00:54	ノモト、
0:00:55	イングロ、赤やイシハラ、サポートメンバーといたしまして、オオハシせえ当然設計様よりウノ様。
0:01:05	ウェブからの参加となりますけれども六ヶ所より、イトウセガワ。
0:01:11	あと、再処理、MOXの事務局参加させていただいてございます。
0:01:17	それでは設定今後の進め方、説明開始よろしくお願ひいたします。
0:01:22	はい、乳井西平でございます。まずすみません今後の進め方、昨日、

0:01:28	NTTが我々なくなっているということで、
0:01:31	準備が間に合う。
0:01:33	はい。来週、これまでいただいている、それぞれの説明グループでどう いうことを最初に持って説明してそれをどういうジョイントしながら説明す るとかですね、今後の説明の仕方も含めて作成を、
0:01:45	言って、ご説明できるようにさせていただき
0:01:49	本日の資料はですね、例えばというと結果、介護案件としての今後の進 め方として、
0:01:58	前回のMOXのグローボックスノダイシイだけではなくてあと当然五名だ ったり、風量の設定だったり、
0:02:05	搬送設備の容量ですね、説明をさせていただいたんですけどまだまだ ロジカルではないと。
0:02:12	結論だけ書いてあるパターンがあるので全体組み上げてということで、 そういう準備を含めると、次回の会合は、難しいということで理事会いい と。
0:02:22	あります。
0:02:22	それでもですねまだグループ含めた全体耐震のやつを説明するとな ると、まだ、
0:02:28	時間軸のなかなか難しいかなということもあって全体ちょっと宿題返しを し、するタイミングも含めて今後まだ精緻にスケジュールに落としていき たいと思っています。現状評価と説明グループ1の評価を、とりあえず 理事会には
0:02:42	出ますがどこまでできるかっていうのをまた考えなきゃいけないと思っ てます。
0:02:46	はい。
0:02:47	で、
0:02:50	ということですかね。はい。で、
0:02:53	前回の時に説明グループボックスの説明グループ2の構造設計をです ね、理事会かなとか何か入れてましたけど、これも両てんびんにかけて やるのはもうさすがにこれは難しいということがあってまずは1個ずつ やっぱ片付けていく。
0:03:06	泉グループ1の評価にまず軸足を置いて、しっかりとタカマツは片付け ていきたいということで整理をしています。
0:03:14	はい。Appは3、
0:03:17	ごつつ1の方が、

0:03:19	一つは来週月曜日にヒアリングをさせていただく案件のことで、2-1のシステム設計構造設計特に入れてございます。これも昨日出させていただきます、まだ、
0:03:32	DBの時にやった整理ですね。とりあえず、設計項目の鳥羽四方どこにどう受けるのかって言うけど、トガシの関係の整理も、
0:03:41	十分書き切れてないところがあったり、抜けがあるかどうかもわからない状態なので、そういったことも含めて整理が必要だと思っておりますんで土曜日のヒアリングの時点でも、こういうふうにやっぱ整理をしていきたいということをちゃんと制限できるように、準備をしてヒアリングさせていただきたいと思います。
0:03:58	はい。
0:03:59	2-2の解析評価の方は、前回のヒアリングでもお話した、
0:04:04	評価パターン(1)(2)(3)と3チームいるんですけど(3)が耐震関係の話です。この三つを同時に進めるっていうのは、さすがになかなかアノて機能。
0:04:15	レベル感も違うので、それをちょっと分けて考えていこうということ。
0:04:20	あとは評価パターン(3)の耐震関係もまずはしっかりグローブボックスの話を片付けてそれ以外につなげていくということ。
0:04:28	先ほど最初にドリンクって意味でいくと、ボックスでやんなきゃいけない特徴的なやっぱグローブボックスなので、それ以外の方がどちらと再処理と変わらないものを、
0:04:38	これも説明グループ1の再処理と合わせてどうやっていくかってところをちゃんと整理をせんとあかんかな。
0:04:43	いうことも全体も整理をさせていただきたいというふうに思う。
0:04:46	はい。
0:04:47	これも今、当面のことを書いてますが全体含めてどうやっていくかは、来週またお示しをしたいと思います。
0:04:55	はい。
0:04:55	3ポツに耐震関係の方のご説明でございます。
0:05:00	黒丸一つ目のところの項目自体は前回から今進めてるところでございますコンピューターが変わってないんですけどもクロマルのですね
0:05:11	四つめ、⑤基本基盤モデルの設計への適用の考え方これについて、前回から追加してございまして、下線をまず引き損ねてございます。これを次のステップとして、
0:05:24	必要があるというところで、
0:05:27	ですね、これをアマノユキ。

0:05:32	資料のですねヒアリングでも、一応お話してご確認いただいている通り、次の会合でですねもともと引間の特徴とらえた企画構造っていう結果まで、
0:05:44	すべてお出しするような言い方で、前回の進め方アキヤマで申しあげましたけれども、ご承知の通り今ですね、式 2 番の特徴をとらえて使う構造については、設定状況のご説明に、次の会合にはなるかというふうに考えてございます。
0:06:00	その意味で、3 ページ目にご覧、ご覧いただきますタテキタニタテの 08 のですね、現在、ご提出できている内容ですね、①と②の検討状況について、当 24 日に資料として本日ヒライいただくと。
0:06:15	いうことになってございますけど、ここで、②はすべて終わってるわけではなくて残件が残っておりまして、何が残っているかといいますと、
0:06:22	オダ室、
0:06:33	で、それに合わせまして、
0:06:39	こちらも
0:06:39	まだ今ですね、逸出であるということで、12 グループの as-is を姫路的だとまだそこまでの段階であるというふうに考えてございます。
0:06:52	ここは修正を加えてございます
0:06:56	藤。
0:06:57	展開ですけどもこの②残件ござい
0:07:00	片付けないといけない。
0:07:02	それから、③④と、進んでいくということで、これを
0:07:07	今、2 月 9 日に、08 の資料提出、2 月に
0:07:13	ヒアリングをいただくというところで目標を置いて、我々ネットに置いていきたいと。
0:07:17	考えてるところでございます。
0:07:20	この進め方に合わせてちょっと 2 ポツのですね、次回会合次回会合のアイテムも修正してございます。以上でございます。
0:07:34	規制庁コサクです。
0:07:37	一番この資料で疑問だったところは、最初に石原さんから言っていたんですけど、
0:07:45	少なくとも来週そのあたりを整理して提示するということは書いといて欲しかったな。
0:07:51	思います。
0:07:56	その上で、
0:07:59	来週、
0:08:07	そうですね。

0:08:13	2月5日の会合では、耐震だけが議題なので、
0:08:18	設備系の話についてどうしますかっていう議論はないので、まだいいと言えればいいんですけど、
0:08:25	次の会合何やるのっていうようなところもあるので、
0:08:30	来週には何らかの提示をいただかないと、
0:08:35	いうふうに思いますのでよろしくお願いします。
0:08:40	それで
0:08:43	その関係でいうと、
0:08:47	MOXのグループ2の構造の説明を、まずは評価に注力しつつ、準備は適宜進められて、対応していくというこ等と理解をしましたが、
0:09:05	MOXのグループには何でしたっけ、火災と外傷の田坂とか、
0:09:13	関係の繋がり、うん。
0:09:16	コサクです、外傷ということであれば、
0:09:21	再処理のグループ1の経験を踏まえて入れていくと。
0:09:26	ということで、グループ1の1つの始まりのところの、
0:09:30	けど、
0:09:33	はい。
0:09:36	田井大井、これその意味でも連携を図っていただきたい。
0:09:41	ということで一方で笠飯野関係は、再処理、
0:09:45	よりも先行させるということですから、そこをですねちょっとまた社内で議論しながらどういうやり方をするかは、提示をさせていただきたいと。
0:09:56	やっていただいてね、かぶる部分が大分ある。うん。
0:10:00	特徴でキタノがどっちかっていうのもパターンによっていろいろあるんですけど、とはいえ共通的な償還事象かみたいな設計を最初にやれば、マックス同じ
0:10:11	タダノ。
0:10:12	MOXの特徴がある。でもやっぱあるもんでグローボックスの火災が消火みたいですね許可のときも、何となく消しますみたいな負圧イナガキしますみたいな話だった部分は、若干形状が違ったりとか、
0:10:24	いうところもあるので、それをちゃんと公僕をピックアップしてですね、
0:10:27	どういう説明をしていくわけじゃない。
0:10:31	はい。補足です。それを、
0:10:35	MOXの時に再処理までまとめて全体像を押さえた上でMOXの特徴と いうのか、粗々にしておいて、具体は再処理の方で一色説明しますと。
0:10:47	です。現状はまずそういう前提を置いて、MOXの特徴だけやりますとやりますということなのか、そのあたりの戦略をちゃんと整理。
0:10:57	していただきたい。

0:11:00	ヒアリングはそれでいいんですけど、会合でそれでいいのかというのもあるんで、そこも時系列をちょっと整理してですね、対応いただきたいと。
0:11:15	それで
0:11:17	評価の方ですけど、
0:11:19	言われているよう2、パターン12と3は大きく違うので、
0:11:26	担当者も違うし、パラで進めていけるだろうと思うんですけど、
0:11:34	とおいご認識いただいていると思うんですけど、あの会合、
0:11:40	理事会って言っているのかな、表現は、と言いつつ、
0:11:45	パターン3が15にちい。
0:11:49	資料提示ですか。
0:11:52	はい。はい。こればかりでちょっと無理があったので、
0:11:57	どうするつもりなのっていうことなんですけど、どうし、どうなんですか。
0:12:03	はい。職務、スケジュール、見方。
0:12:07	いいですね。
0:12:08	ですけど、
0:12:09	イワイいただいて、また123、三つありますよって言って説明をして、こういうふうにまとめていきますっていうのをやって、
0:12:17	今はナカにやるわけいかないと。
0:12:19	どういう出し方するかパターン12、A3の状況、3はこういうふうにまとめてますっていうのか、123全部そろった時点でやるのか。
0:12:29	僕は整理をさせていただいて、また、
0:12:32	維持させていただきたいと思います。
0:12:36	古作です。ちょっとまだ、
0:12:41	ものも出てきてないから何とも言いようがないんですけど、
0:12:47	ヒアリングで受けた。
0:12:50	内容を整理がつかないからといってずるずると会合に出せないっていうのはアンダーグラウンド作業してると思えなくて、
0:13:01	透明性を持って審査会合で審査をするんだっていうコンセプトから外れてい
0:13:08	ちゃうような気がするんで、その点では何らか、
0:13:13	説明されて、
0:13:16	検討が不足しているところだったり明確にしなきゃいけないところと、
0:13:22	いうのを、会合で話をしてもいいのかなあとは思うんですね。
0:13:29	着実に進めていくっていうのを審査プロセスの改善、運用改善っていうことで、
0:13:36	審議結果もまとめてますけど、

0:13:41	我々のその努力だけじゃなくてですね、原燃側の議題に上げていくという、
0:13:49	ことについても、透明性を持って自分たちが今どういうレベルにいて、何をやっているのかというのを対外的に示していくと。
0:13:59	いう意識も少し持ってですね、整理を進めていただければと思います。
0:14:05	乳井西原でございます。はい。承知いたしました。
0:14:13	それで言うとスケジュールの方も大体ポイントはそういうことになっちゃうかなと思うんですけど、細かいのはちょっとあれですが、
0:14:22	3 ポツ一位までで、ほかに気になる方があれば、どうぞ。
0:14:32	規制庁カミデですけど、2 ポツで、ちょっと耐震の方なんですけど、
0:14:38	理事会審査会合で、まずは、
0:14:44	敷地の特徴とらえて地下構造があり、
0:14:48	基本地盤モデル作成に必要な検討項目。
0:14:54	で、
0:14:55	その次に基本地盤までの作成結果が、次の枠であるんですけどその手前に、検討方針及び検討の結果って1個の
0:15:05	円筒の結果等、基本地盤モデルの作成結果って一緒のように見えているんですけど何か違うんですかね。
0:15:14	神野元でございます。ここが意図していたのは、基本地盤モデル作成をするために、必要な検討項目も上げるわけですけども、
0:15:27	その検討項目に対して、実際に検討した結果が、こうであると。それをもとに、実際に協議モデルを作っ。
0:15:36	また、結果がこうであるというのがその次の作成結果、これはそんなつもりで書いて、
0:15:43	それでいうと3 ポツにもう移ったほうがいいと思うんですけど。
0:15:47	③④⑤っていうのが、会合でどうなっていくのと。
0:15:52	ということだと思うんですね。
0:15:55	③わあ、
0:15:57	検討項目及び検討方針はい。
0:16:00	これは今の2 ポツで言うところですか。
0:16:03	今の2 ポツ営業を、
0:16:06	そうですね、議会会合の括弧の、二つ目の検討方針及び前でのになります。はい。ですよね。
0:16:18	そうするとこの検討結果っていうのは3 ポツ2 のどこですか。
0:16:22	3 ポツ2 のそうですね、検討結果っていうのはサンポツジニワここに書いてないです。
0:16:30	おかしいですよ。そうですね。

0:16:34	3 ポツに言えばどうするつもりだったかっていうと④に入ってるっていう。
0:16:38	ことだったと思うんですよ。そうすると、今のカミデの質問になるっていう、いうことなんですけど、どっちの向きでどう整理をするん。
0:16:48	皆さん、
0:16:49	どっちでも書き直さなきゃいけないんですけどそうですね、はい。
0:16:52	ですね、もっと言うと今、会合資料では4ポツ、ポツ6ポツ、7ポツみたいな感じでやってるじゃないですか。それに対応するように書いて欲しいんですよ4ポツはとりあえず、
0:17:07	今回の会合ですよ全体並べますとあと、
0:17:10	さらにコウポツがいて、5ポツはその周りを見て類似のものを集めていきますというケースでその次に、さらに、
0:17:20	その集めた中で何が確からしいかというのを考えるのがその次のフェーズですからその辺り会合の資料ですか以降での説明項目と進め方の説明項目。
0:17:33	32ポツ、3ポツに、平仄を合わせてください。はい、承知いたしました。
0:17:45	カミデニイヅアノ、最初に聞いたかったことは、そこまでです。
0:17:50	コサクですその関係だと私サンポツに側で聞きたいことがいっぱいあるんですけど、
0:17:55	ちょっと、
0:17:56	飛ばしちゃってもあれなので、他言います。
0:18:01	じゃあ、規制庁オカです。ちょっと記載の意図というか確認したいんですけど先ほどの議論でボックス説明グループ1の評価をどういうふうに出していくかっていうことがある程度
0:18:14	今後見えてくるところだと思うんですが2歩通の、矢羽根の三つ目次回を、
0:18:22	二つ目次回と。
0:18:24	三つ目自治会、に皆目説明グループ1評価っていうふうには書いてるんですがこの和気っていうのは、
0:18:33	どういうふうを考えて2回、
0:18:36	入ってたんですか。乳井西田でございませ先ほど私の限ってそれはちょっと
0:18:43	コーヒー
0:18:44	が井清というか全体のしか頭おかしいよねって話の会話であった。
0:18:49	耐震の部分、多分間に合わない部分を切り分けてって話だと思ったんですけど、
0:18:56	途中の形態であるかどうかどう考えてるかっていう説明をちゃんと理事会ですかね、やるならやるって、

0:19:02	考えていけないといけないと思う。その辺もう一度、どういうことをやっていくのかって整理をして、来る審査会合のアイテムをどうするかを、整理したいと思います。
0:19:11	規制庁カセわかりました。当初からその子、今おっしゃっていただいた後方で書いてたんじゃなくて初めは、
0:19:19	セットを分けて書いてたんだけど、議論の中で、前者後者の今の、
0:19:26	おっしゃったような感じで分けて書こうかなっていう感じに今なったということですかね。はい、わかりました。で、あと最初に、
0:19:35	管理のグループ一井を、
0:19:38	理事会、理事会、
0:19:42	見かけるっていうふうに書いてあって3ポツ1の方です。DJのことだけは書いたんですけど、DBに関しても結構前回のヒアリングから、
0:19:52	大分直さなきゃいけないところがあったんですが、2月上旬目標で提出されようとしているものは、もうここはSAをちゃんと踏まえて、ワンセット出そうと思って、
0:20:02	出るんですかね資料1から3。
0:20:04	はい、二本木西原でございます。はい。聞き出すものはDDSセットにして、Bで、今回、前回ですね。
0:20:13	審査会合で向こう1. 谷だよねって言われたところも含めて全体をカバーしていこうと思ってます。
0:20:19	はい、成長+わかりました。以上です。
0:20:24	コサクです。それで言うとうスケジュールで2月上旬ってどうなってんですかと。
0:20:30	いうことなんですけど、どこに書いてあるのが、2月上旬ないか。
0:20:36	入ってないのでそれも含めてはい。
0:20:38	戻しますか。
0:20:40	はい、古作ですで書けないような状況なのに一式まとめて出しますっていうのは、本当に会合に向けてやる気がある。
0:20:49	スケジュールなんですか。
0:20:55	おそらく蓋開けたら、ぼろぼろになると思いますけどもう一度会合でボロボロになっていただいていいですか。いつも言わないでかつ、今、李工場をきたしてるところは2ページのところも、
0:21:09	代表も含めた説明を、1月の末ぐらいにやりますって言ってるじゃないですか。
0:21:16	それも含めて全体、これ竜巻だけなので、ここも含めて全部この上に吸収しないといけない。
0:21:21	それも含めて実力というか現実的な、

0:21:26	採用のスケジュールを組まないといけないというふうには認識してま す。
0:21:31	はい。拘束ですその意味だと、2月上旬目標でというタイミングのもの は、SMを入れてという方針でありつつ、これまでの指摘を踏まえた対 応、
0:21:43	っていうのは、その前にしっかりと、
0:21:46	はい、説明していくと。
0:21:48	いうことで理解していいですか。
0:21:51	こういうやり方を考えなきゃいけない。
0:21:54	その改修もしないまま、多分ラスト6でもないことにしかならないので、 はい。ちょっと考えます。はい。
0:22:00	はい。補足ですよろしくお願いします。
0:22:05	規制庁カミテですけど関係して愛し、共通順位のグループ1の評価の (サ)耐震が、
0:22:16	遅れるっていうのが、何かよくわかんなくて、こないだヒアリングでも、本 当は配管とかダンパーダクトとかも、とは思っていたものの、まずグロー ボックス数をしっかりやりましょうかっていうので、
0:22:31	ちょっと減ったはずなのに、なぜか1が遅れてるっていう状況なんです けど、どうしたんですか。
0:22:38	日本原燃車でございますこれもすいません今まさしく関係者でこの間の ヒアリング以降、整理をしていて、全体の考え方からちゃんと整理をして いこうというふうになってます。
0:22:50	その様を考えながらスケジュールに落とさなきゃいけない、いいとこなん ですけど、ただ、
0:22:56	なかなかそこがうまくフィッティングできてなくて、今、評価グループの評 価パターン(1)(2)1大井、資料提出ヒアリングA2回目に今、モリ釘
0:23:08	管理ジョイントしてますけど、本当はその前に多分分けてやるんであれ ば、評価パターン(サ)グローボックスにターゲット絞っていつ出せるん だみたいなことを考えなきゃいけないという状態であることは認識をして ます。今ちょっとぼこっと置いてますけど、
0:23:23	かなり安易なことをやってるっていうのは認識をしていますのでちょっとス ケジュール感はもう一度整理をして提示させていただきます。
0:23:33	と、
0:23:33	規制庁か水間また散髪でも聞かなきゃいけないんでそれぐらいにしてお きますが、一応確認したいのがアノ。
0:23:40	今、2回ヒアリングしましたけど、それを踏まえて、あれちょっと現状の、
0:23:46	今やってることがありませんから、

0:23:49	ちょっと変えなきゃなっていうので時間かかるのか、それとも、やっていることをただ説明するっていう行為だけで、そんなに時間かかるのかっていうとどっちですか。
0:24:03	変えないといけないところもある。
0:24:05	思っ、私はいるところで、スケジュールを今組んでますけど、ちょっとそこも含めて全体の考え方、
0:24:13	この間藤木さん来ていただいて説明して、されたのも、結局、断片的で全体の必要にはなっていないところもあるので今一度そこをキャッチアップして、全体の枠を作らなきゃなっていうところ。
0:24:24	だなあと思ってます。そこにちょっと時間がかかるかなというので今、
0:24:29	15日の日付に入れてますけど、
0:24:34	ここですかね。
0:24:36	コサクです。
0:24:37	それこそ会合でちゃんとやってくださいっていうことかなと思うんですけど、変えようと思ってるところを、明示的にするっていうことをまずやる必要があって、
0:24:49	それをやって埋めてから出すっていうので時間をかけるのはやめてください。
0:24:56	それがませんと。
0:25:02	小峰さん同じことを、アノ、マツダで大丈夫です。はい。ここまででいいです。
0:25:11	カーサンプオ津市までは、
0:25:14	既設のフジワラです。
0:25:17	2-1のディー・ディー・エスの整理のことなんですけど、
0:25:20	これは一応提出されて29日にヒアリング、今日も一部出てくるとかいう関係のものが出てくんですけど、他の
0:25:28	部分ってどこまで進捗してるか、自分たちのものをとらえた上で、
0:25:33	竜巻の人を聞けるのか。
0:25:37	も入れてませんっていう状況なのか。今野社長。
0:25:41	はい。乳井ニシウラでございます。
0:25:44	六ヶ所にもし違ったら言って、
0:25:46	私の意識はヒアリングする時には自分の手元に、火山も含めて他の事象のものであって、話をして、おそらく同じようなパターンになってるので、
0:25:58	違うところとカシメ設計ないところ、それを全部一緒にフィードバックするっていう、
0:26:02	つもりで今、29日のヒアリング臨もうと思ってます。

0:26:07	規制庁、藤原です。ほぼその日にはある程度のレベルとそろってるって いうふうに、
0:26:12	認識しました
0:26:16	コサクです。今の話でいうと、午前のヒアリングでも話をしましたけど、
0:26:24	月曜日のヒアリングは何も竜巻についてのヒアリングというわけじゃなくて、 全体としての整理の方針をヒアリングするって言うつもりなので、
0:26:36	回答する際に、竜巻はいいけど他の事象はうまくいかないとか、他の事 象では
0:26:45	対応できない。
0:26:46	何か別の項目があるってということだと困るんで、その点はちゃんと、
0:26:53	今のお話のあったように整理をしておいて、追従できるかどうかというこ とも含めて回答していただきたいと、いうふうに思います。
0:27:05	はい、与儀理事
0:27:10	ほかよろしいですか。
0:27:14	はい、じゃあ、参事、3 ポツ 2 なんですけど先ほど言ったように③④⑤っ ていうところは会合、
0:27:22	5 日の会合の整理に合わせて整理をいただきたいと。
0:27:27	それが、次のページの、
0:27:33	資料提出ヒアリングと言ってるところにも影響してるような気がしてい てですね、②の残件って言ってるのと、
0:27:41	3 番 4 番っていうのが、
0:27:44	整理できてないように、
0:27:47	思うんです。はい。
0:27:51	この後ろの方のやつってもう 3 番 4 番入ってんじゃないのっていう気が してるんです。
0:27:56	けど、そのあたり、まずカミデさん認識ちょっと言ってもらっていいです か。
0:28:03	はい、深見です。私の認識は、②の残件というところから、何か言ってあ るんだろうなっていうこと。
0:28:11	アノコサクです。私もスペック、粗相なんだろうと思うんです案件じゃねえ だろっても、
0:28:18	そうですね。
0:28:20	我々の残業も確かにあるんですけど、ルー
0:28:25	開講っていうところの、
0:28:28	三、四がまさに山ケイン

0:28:30	になっていてですね、それを何かごちゃまぜに書いちゃってんじゃないかなと思ってます。なので、ちょっと頭の整理は必要なんですけどこの書きぶりというよりは先ほどの2ポツ、
0:28:43	の2ポツと、3ポツ2の前半、
0:28:48	の整理に合わせてこちらの方も直していただければ、認識合うんだと思いますんで、再整理をしてください。
0:28:58	仲野さんぴんときてないですけど、現状でピンと。
0:29:02	くれるようだったらこんな希望してないと思うので。はい。まずは会合での言葉に、はい。この3ヶ所、全体合わせてください。わかりました。
0:29:18	とほか、何かそれに尽きるような気がしますけど、他あります。
0:29:25	スケジュールも含めてで、確認があればどうぞ。
0:29:31	藤規制庁カミデです。本当は、
0:29:35	今日耐震の、
0:29:37	共通住民側の機電耐震側の補足も意識合わせしましょうねと言っていたのが、資料はないんですけど、
0:29:47	有井ですかね。
0:29:49	スケジュールに幾つかの出てるからそ、それで、
0:29:53	話をするってことですが一応全部並べましょうよと言ったつもりなんですけど、
0:29:58	いる。
0:30:01	完全に忘れてました。すいません。
0:30:03	はい。準備します。はい。
0:30:07	はい、規制庁間ベースはわかりましたというか、
0:30:11	そうだな、もう困ったねえ。
0:30:17	大丈夫ですよっていうのもあれだけこっちから言うのもあれだしなあ。
0:30:23	はい。ちょっと別途、資料を準備して、話ができる。
0:30:28	うん。作ります。はい。
0:30:31	はい、規制庁から何か話していくそのタイミングってあるんでしょうか。来月来週の月曜日でもやろうと思えばできれば、
0:30:38	はい。
0:30:39	一応共通充実。
0:30:42	ちょっと話しましょう。
0:30:44	はい。お願いします。
0:30:48	以上です。
0:30:49	コサクです。関連してるかしないかちょっとあれですけど、前からその補足説明資料名にどう書くつもりなの。

0:30:58	ていう話をしてて、
0:31:00	ナカナカーそれがはっきりさせられてないというところがあるので、
0:31:06	それをいつやるかって言うこともちょっとこの中で整理をして、進め方の認識を合わせてください。
0:31:21	そうすると、
0:31:24	共通中に終わってから 00 っていう話にはなってましたけど、
0:31:30	一色まとめるのはそのフェーズでいいんですけど、部分的にはやはり出ししていかないと認識合わないかもしれないなっていう気もしてるので、
0:31:40	そこも、はい、そういうやり方も含め、
0:31:44	考えてもらえればと思います。
0:31:48	はい。西田。
0:31:50	はい。
0:31:52	ですね。はい。
0:31:55	基本請求表示の要求事項なんだっけ。
0:31:58	共通順位でいきなりやろうとすると、
0:32:01	PTがあった方とかBCMみたいな話になると思うので、その辺のやり方はちょっと考えて整理します。
0:32:09	はい。コサクですよろしくお願ひします。映し込んでいただけなので、
0:32:15	チェックは当然必要なんですけど、作業はできると思うんですよね。
0:32:19	なので検討よろしくお願ひします。おそらく月曜日もそういう話。
0:32:24	なるんじゃないかなと思いますけど。
0:32:41	はい、規制庁カミデ数を、
0:32:44	大体終わっちゃったんですね、今日話は。
0:32:47	大丈夫ですかね。あ、すいません。
0:32:50	この話で、
0:32:52	というのは認識合わせだけなんです。
0:32:54	今ちょっと我々やろうとしてるのか、
0:32:58	いつも補足説明資料のリストを作って、11 月末もドカーンとこう出したとする、出してるんですけども、
0:33:07	本当に必要なその補足が何かっていうことと、
0:33:12	それをそのヒアリングで使うタイミング、
0:33:15	一気に出すという、いうのもあるかもしれないですけども、このタイミングでこう出して使っていく。
0:33:22	それを、
0:33:23	V1 を例にですね、今、整理を社内で進めているところ。
0:33:29	なんです。ちょっとそれを、
0:33:32	また一度どこかご説明できるようにしたいな。

0:33:38	とコサクですけど、
0:33:41	わかりましたというかですね、それはもう前からそういうことになってって、ドカンと出したのは、そもそも本来は申請の時にドカンと出すんですよ。
0:33:52	それ実用炉のときも、先行プラントの時には、当然そうはできなくて、順次だったけど、先行プラントの経験を踏まえた
0:34:02	後続プラントなんだからわかってるよねっていうことで、ドカンと出す運用になっていたと、いうことだと思うんですね。後続プラントの樋渡稲井ですけど、
0:34:13	ということからすると、原燃に対しては許可を出す際に、実用炉の運用を参考に、
0:34:23	やるんだよねと。
0:34:24	であれば、補足の作り方もわかるよね。
0:34:29	ということで一式出すんですよ。
0:34:31	という話だったので、その流れから、
0:34:36	出してくださいねということだったんですけど。
0:34:39	蓋を開けてみると、
0:34:42	捕捉どころか申請書自体もちゃんと書いてないという状況だったので、一色と言っても無理だと。
0:34:51	意味のない資料出されても困ると。
0:34:54	いうことがあって、順次であることはもう諦めて、
0:34:59	います。
0:35:01	ですけど、その準じが余りにもバラついてできたものから出しますだと。
0:35:07	どういうふうに見たらいいのかもわからない。
0:35:10	ということなので交通整理が必要と。
0:35:13	いうことがあり、交通整理を原燃自体でできなかったのも、
0:35:18	共通 12 みたいな資料を作る。
0:35:21	その時に、どの部分で
0:35:24	どういう捕捉が必要なのかっていうのを認識し直して、
0:35:27	都度出していきましょう。
0:35:29	いう話になってきているので、
0:35:31	当然なそうなんですね。
0:35:35	ようやく整理していただくのかなっていう感じなので、はい。よろしくお願 いします。
0:35:52	2 回の申請に
0:35:54	何があるか。
0:35:56	資料 23 を作る時に共通ジンノ

0:35:59	それをその項目に割り当てていって本当に足りてるかみたいな話も整理、
0:36:04	必要だったら出す。
0:36:08	書いてる設計と合わせて見たときに、これで補足って意味あるのっていうのも整理。
0:36:14	資料 2 の参考で今、
0:36:17	目標っていうのは、全体の補足説明
0:36:30	はい。
0:36:31	コサクですせっかくなので追加で言うと、
0:36:34	00 資料の別紙Cの中では、発電炉だと。
0:36:40	どういうところの補足としてこういう資料が出ているよっていう紐付けも確認して、対応するものを作りますと。
0:36:50	ということまで整理してあるんですね。
0:36:53	なんですけど、蓋を開けると、実用炉の補足と同じことが書いてない。
0:37:01	ということがあって、しかも、違う内容でより精度の高いものが書いてあればいい、まだいいんですけど、
0:37:09	精度が、
0:37:10	悪いんですね。
0:37:12	なんで、参考になるものをこういうのがあるのに、全然そこに追いついてないものを平気で出すの。
0:37:19	できましたみたいな。
0:37:21	対応とる。
0:37:22	ということでは全然認識がわからないので、
0:37:27	違いが何なのかっていうのも認識してくださいという。
0:37:32	ことを、それもだから、結局あの資料共通中に資料 3 のところで、現状だと。
0:37:39	話をすることになる。本当はその前の資料 2 で、すぐ仕組みができればよかったんですけど、どうしてもその
0:37:46	ある程度の方針レベルでの文言だけだと、同じですとか、もう根本的に違いますぐらいの 01 ぐらいの判断しかできない。
0:37:58	状況が原燃の作業者の皆さんはそんな意識でしかなかったので、
0:38:04	もうそこであだこうだ議論してもしょうがないから、実態を理解してもらうためには資料 3、
0:38:10	を作ってみて、これは足りないでしょこういうところですよっていうのを、より具体的にわかってもらうように、今、先行して進めていると。
0:38:19	ということなんですけど。

0:38:21	そこも含めて最初にも、再処理廃棄物管理のグループ一井で、先ほど長谷川さん言われたように
0:38:31	一通り資料3を作っていくと補足がこんなのが必要で、その補足についてどういう構成でどう出していくのかと。
0:38:38	いうことをまとめていただけると、その次のグループ23についてはどうしたらいいのかっていうのも、それぞれの担当が理解しやすくなるでしょうし、
0:38:49	その理解をしておけば、資料2の段階から、より
0:38:55	ピントのあった作業になっていくんじゃないかなと思いますので、進めてください。わかりました。
0:39:02	思います。
0:39:06	10日なれば、
0:39:09	次の議題に行こう。
0:39:11	しますかね。はい。
0:39:14	どうぞ、阿部さんどうぞ。
0:39:17	そのまま進めます。
0:39:18	規制庁以外の時間だけ、
0:39:21	原燃の方も多分よくあるんじゃないかなと思ってて殊、
0:39:26	まずは一旦振り返って振り返り迫るかもしれない。
0:39:30	だなと思ってましたけど前年度ですか。はい。はい。会議。
0:39:35	やって。はい。
0:39:37	はい、じゃあ規制庁から簡単をお願いします。はい。
0:39:41	また審査会合の案件は
0:39:45	今日提示の方は、
0:39:47	できたものを出していくという全体進んでる様もちゃんと見せられるようにシナリオを考えますと、
0:39:53	ということですかね特に評価説明グループ1の評価のところ、出し方。
0:39:59	も含めて整理をさせていただきます。
0:40:02	3.1のところは、どちらかというと
0:40:07	程度ヒアリングを望むかってところは、先ほど話した通り全体ちゃんと把握した上で、
0:40:13	全体共通的な考え方としてやりとりができるように準備をさせていただきます。
0:40:18	いうこと。はい。あとは、その説明グループ1の評価の分、今、スケジュール的にも、ずっと今遅れてますけど、全体にどうしていくつもりなのか。
0:40:29	水として、スケジュールも、

0:40:31	最後、精査をしていきたい。
0:40:34	うん。
0:40:35	そうです。はい。はい。耐震側の振り返りでございます。今後の説明項目なり、説明の進め方のところで、2ポツの今後の介護の説明方針のところそれから3ポツ2の、
0:40:48	耐震関係の進め方のこの記載とそれから、当会合での収録してお示ししてますよポツを、その項目と、記載をですね、介護資料のものを念頭にですね、ちょっと構成をとるように、
0:41:04	あわせて整理し直して、ここは
0:41:08	4年間あります。以上でございます。
0:41:12	完全に忘れてましたが、これって一応今回のいたことで、
0:41:16	いや、
0:41:21	はい。古作です。それで言う当間。
0:41:24	来週の話にはなりますけど、
0:41:29	再処理とMOXの関係性って、プロセスとしては、ある程度整理を、
0:41:36	されて、どういうふうにするのかっていうことは話ができる。
0:41:40	いうことだと思うので、その段階段階でどこ、審査すればいいのかというのは、クリアになっていくかなと思ってるんですけど。
0:41:49	加えて
0:41:51	時間軸ですかね。
0:41:54	というも、
0:41:57	いつぐらいに明確にするのかと。
0:41:59	いうことはお話をしていきたいと思しますので検討よろしく願います。
0:42:06	時間軸の話をすると、
0:42:11	設工認の機器とかの審査だけじゃなくて、
0:42:15	工事計画としては工程もあり、
0:42:20	品質管理の説明書の中とかでは検査の話もあると。
0:42:27	ということなので、そのあたりも一式どう進めていくのかってことも、
0:42:33	どこかで整理をしなければいけないと。
0:42:36	ということですから、
0:42:38	それもう、
0:42:40	それ、
0:42:41	は来週じゃなくてもいいのかもしれませんが、ちょっと元の中で整理をして、議題に上げられるようにしててもらえればと思います。
0:42:55	じゃ十分休憩ですか。

0:42:58	はい。規制庁神谷です。じゃあ、14時25分から再開で、耐震の話しましょう。だんだん混沌。
0:00:01	カシマ
0:00:03	規制庁カミデそれでは引き続き、今度は耐震関係ですね、ヒアリングを進めます。本庁側の出席者の説明をお願いします。はい。本町果実は、
0:00:15	区長大坂。
0:00:17	石野さんになります。
0:00:19	はい。またWEBからは、オノ、またカミデとなっています。それでは原燃側から出席者の紹介をお願いします。
0:00:30	はい。前々側からは、ここを選択で行っておりますのは、ノモトとオガセそれから当然セキの様で、六ヶ所のアノエザワ。
0:00:41	六ヶ所事務局が参加してございます。
0:00:45	はい。規制庁亀井さんありがとうございます。資料は大臣建物08で、特段説明を聞くあれでもないんですけど何か補足して、原燃から説明したいところありますか。
0:00:59	はい、原燃の方でございます。ですね不足野瀬説明ということじゃないんですけどもちょっと1点申し上げなくちゃいけないのが、会議資料の午前中のももそうだったんですけどもそれにも増してちょっとですね、
0:01:13	後から見たセットちょっと誤記が散見されるような状況であるということとはちょっとお詫びしなくてはいけなくて、えーとですねちょっと一番大きいちょっと動きといたしますのが
0:01:24	as-isをですねブツセンの設定をですねしてるところの記載で、別紙2-1で岩盤物性のセキてるんですがこれをですね、平均化処理したデータを書いているところ、これ一ですね、
0:01:36	平均化した分析オリフィスを書いているところにですね、基本地盤モデルのPOSでこれですっていうような記載をしてしまっていてございまして、これはもう非常にちょっと言い訳のしようがない動きでございます。
0:01:48	後でちゃうんですね。すいません。何ページ、ページ数をお願いします。ですね、例えば、199ページ。
0:01:56	でございます。
0:02:03	伴判例の赤線の、
0:02:06	御説明、はい。
0:02:08	はい。
0:02:10	全くそういう意図はなかったんですがすいません。これは申し訳ございません。

0:02:14	もう一つ、ちょっと制度が来てちよつとなつてしまったのが 776 ページのところで、各手法により獲られたデータの整理結果ということで火をつけているんですがカワセキクワ規定のところ
0:02:26	ここですね、ついそのままになってございまして、カセコウノ試験の結果自体はもちろん何か言ってんですがこのまとめ表の中でですね、頭書き切るのを、寄付のがちよつと古い表が、
0:02:39	ハラれたままになってしまったと言つたようなところをちよつと後から見つけたような次第でございます。すいません。以上でございます。
0:02:51	はい。規制庁、網ですわかりました。
0:02:55	うん。
0:02:56	はい。オカは、最初話すことはもう大丈夫ですかね。はい。以上でございます。
0:03:02	はい。規制庁神です。それでは、確認ですけど
0:03:06	本文、
0:03:08	とか、あと、その構成みたいのは、
0:03:13	へえ。
0:03:16	大分ですね、審査会合での御説明ステップ等また変わってきちゃっているところもあるので、また整理をしてもらつてということだと思つう。
0:03:26	いけますので今日のところあまり話をしませんが、それ以外の部分で規制庁側からデータの確認とかですね、あればお願いします。
0:03:52	堤です。今、本文についてということ。
0:03:56	規制庁上津アノ本文は、特に差はなくていい、いいので具体的に言つてください。
0:04:12	ね、幾つか確認します。はい。まず 140 ページお願いします。
0:04:23	物資グループについての物性値の傾向について述べているページですが、
0:04:29	4 行あつて、
0:04:35	向こうのVs、
0:04:37	柱状図を並べたものが、
0:04:38	104
0:04:39	1 ページ。
0:04:41	あるかと。
0:04:44	またVsVpを並べたのはその次の 149 ページ。
0:04:50	あるんですけど、
0:04:52	例えば、
0:04:53	149 ページのVsの辺りを見ます特に下の方、
0:05:00	結構ばらつき幅、

0:05:04	もう、
0:05:04	それに起因するものだと、考えると一つ前のページの 148 ページのその柱状図の比較を見ますと、
0:05:13	この 4 行並べると。
0:05:15	それぞれ構成する会社っていうのはある程度共通するかもしれないんですが、同じ標高新聞で見ると、
0:05:22	実現する深さが違ってくるんで、同じ標高だと違う話が現れてくるのを、
0:05:28	今回、00 キシダ、
0:05:32	平均しております、
0:05:34	説明はとって先ほどの 100、
0:05:38	42 ページにさかのぼってもですね。
0:05:41	先ほどの、
0:05:43	BSに幅があることについては特に勉強している、言及してなくて、下から 5 行目ぐらいですけれども、いずれの項目、同程度の深さで同等な速度構造。
0:05:53	うん。ミキちゃったんですけど、
0:05:55	今週の深さで見ると変化していて、
0:06:00	宇井菅幅があるっていうのはそれぞれ対応してるように思えるんですけども、このように、
0:06:06	きっと、
0:06:08	VSTガシと。
0:06:10	どう見てこういう結論だったのかっていうあたりもし、
0:06:15	はい。日本原燃、
0:06:18	こちらにつきましては基本的に 1456。
0:06:23	あと、
0:06:23	7 ページのところで、
0:06:26	それぞれ各項の地質構造と速度コントラストの特徴みたいのところはいわば宮マネジャーください、吹き出しでまとめているところなんですけれども、それを見ていったときに、
0:06:38	今おっしゃってたところで、5 の V なので、
0:06:42	146 ページのところの、
0:06:47	示しているコウノところの特徴を踏まえてやっているところでございますんで、さっき一井キシノさんおっしゃった通り、地質構造なんか、ちょっとやっぱり場所場所でやっぱりどうしても違うという
0:06:57	ところはあるんですけども、その地質構造に起因した何かしら速度構造があるかという速度構造の切りかわりコントラストが発生してるかと

	いうところで着目してみると、この岩種の違いうところは速度構造のコントラストとして出てくるような差じゃない。
0:07:14	ですので、やっぱりこっというのはあくまでなんていうんすかねそのピンクとオレンジの出でクサカさんところは違えども、それっていうのが何かこう違いを、速度構造の違いを与えるものではないと。
0:07:25	いうふうに判断いたしましたので、ですのでこの深さは、いわゆる平均化しても問題ない、同じものとして見て問題ないという判断をした上で、こういう結論としています。なので、いわゆる同種の速度構造を与えるような岩盤の、
0:07:39	中でのその出てきたVsの差と扱うしかないというようなそういうようなこと。
0:07:44	そして今はここは判断して書いているところで、
0:07:48	規制庁、内海です。
0:07:50	はい、わかるんですけども、ある。
0:07:53	某流行に着目したときに、
0:07:56	岩種が切り替わっても、
0:07:59	そこ
0:08:00	コントラスト。
0:08:04	なしと思いますので、
0:08:06	かなと思います。
0:08:07	もうそれはそのコウノ中ではそういうこと。
0:08:11	複数のコウナベタ。
0:08:12	うん。同じ標高深度で違う来週が来てって。
0:08:17	衛藤。
0:08:19	それぞれの値を、
0:08:22	はい。うんそれは、
0:08:23	例えば業界がそうだねこれはもう、軽石凝灰岩層だ。
0:08:28	見ちゃって、そのVsのばらつきだとミヤサキっていう、
0:08:32	出るのかなと思うんですけど。
0:08:38	か少し違和感。
0:08:40	どうしても含んでですね。
0:08:41	要は、異なる岩種といったものを完全に無視して、上からの繋がり、
0:08:47	上の上に同じ岩種があってそこと同じ速度だから、同じ岩種なんだという
0:08:53	話の違いを無視した平均化っていうのは、
0:08:56	こういう処理によって、割と普通にやられるもの

0:09:00	どうなのか、そこら辺、社会でもいろいろな知見を持った方と議論を踏まえた分になって、
0:09:08	そのあたり特に議論は三田に、こういう考え方もあるんだって話じゃなく、
0:09:15	日本原燃の合わせです。当然これ、こういうところの話も含めて、有識者の社外という識者の方とも参り、
0:09:22	これは同じとしてみなすかとかってところのジャッジは、都度都度していくと。
0:09:28	規模、基本的にとりか、普通、よく有識者の方々見ている、よくやることとしましては、やっぱりこの地盤モデルを作ると。
0:09:37	というのは髄質アノ。
0:09:40	基本的にはVsのコウ海田んになっているのが最終的なアウトプットになりまして、実はそこに岩種ごとに何かが違うかっていうところっていうのは、基本的にSHAKEっていうかその1次元波動論の世界では扱わないんです。
0:09:52	逆に、岩種がもう、言い方変えておりますけども普通であれば、岩種が何であろうが、BSが大体一緒だったのは、1個。
0:09:59	ちゃんと平均的なものを見るなりばらつきを見るなりというところで扱うというのが、普通のところではあります。ただ、一方で今回我々が考えているこの因子のうち、非定型岩盤部分の非線形の話については、
0:10:12	やっぱりマテリアルごとにその支点系特性みたいなものが変わりますので、そこはしっかりやっぱりちゃんと差別化して扱ってあげる必要があるんですけどもこのVsの整備にあたっては、明らかにその岩種でそのVSが切り替わるような速度のコントラストを与えるようなものの、
0:10:28	双方が全然違うところに、ナゴと違うっていうことがない限りは基本的には速度が一緒であればもう同じ層としてみなすというところは、基本的に不自然ではない、ある意味、まあ、一般的といいますかそういうような考え方であろうというところはちょっと見解は共有していると。
0:10:45	院長です。はい、ありがとうございます。今のお話の中で、非線形特性は、岩種ごとに使い分けるとい
0:10:54	例えば
0:10:55	違う岩種のものを、VSをもう同じ会社だろうということで一緒くたにしつつ、成型特性はその岩種のものを使う。
0:11:05	大体スケジュール、おそらく暮らしごとに設定した
0:11:10	日本原燃のオガセですという意味でいきますと、ちょっとすいません耳が痛いなと思ったところなんです、
0:11:16	ちょっとVsで合わせたところベースでの、

0:11:21	岩種って、いや、やっている。
0:11:24	ソネ例えば孔ごとに自然系で、その岩種境界の違いを孔ごとにこうし点検の違いを見てるかというところちょっとそこまではやっていない。ただ、やはりがんの視点系の話ですので、基本的に、
0:11:35	ごめんなさい、結果ありきと言われるかもしれないんですが、基本的にはほとんど影響がないと。
0:11:40	ありますので、その岩種境界の深さみたいなところの差っていう、
0:11:44	ことが問題になる世界ではないだろうというようなところの、はい。音響たって、試験機の時にはあくまでがんニシズミを見るという行為が、
0:11:52	見るか見ないかの差がある意味、ちょっと見るべき一番大事なところであってその岩種境界の深さが多少変わったところで、非線形性の影響があるかないかというところには影響ない。
0:12:03	か答えが変わることはなかろうという、はい。監査のところ、今までやって、
0:12:10	ちょっと整理させてください。148 ページの図でいきますと、すいません、規制庁カミデそこからすみません。
0:12:19	あと午前中も話をしています
0:12:23	まず、同じとみなすのってそんな難しい話じゃなくて、割と
0:12:31	皆が簡単に納得できるような話でまとめていきますと、違うものは、違うでも別にいいんじゃないのみたいな話をして、そうですねという話だったと思うんですけどそれを踏まえても今のオガセさんの話になってるんですか
0:12:47	ちょっとその辺よくわかんなかったんですけど。
0:12:50	還元の方でございます。えっとですねこれACグループの中でのボーリング孔がこれ一緒に扱えるかどうかなんですけれども、これ非常に扱えるかどうかはちょっとあれ、
0:13:01	さっきもちょっと終わってから少し言っていましたけれども、これが一緒に扱えるかどうかという観点でここは有識者の方々とも、コミヤとってるところなんです、
0:13:15	えーっとですね皆さんが意見を割れずに一緒に見直してもいいよねというようなところに、これはなったというところも踏まえてちょっとその根拠が根拠といいますか判断の
0:13:29	内部先ほどちょっと尾形が説明したようなところではあるんですけども、
0:13:33	というのでこの
0:13:35	えっとですねイシグロの中でこいつらを一緒にするといったところはあまりこう疑義を挟まずに良いかなと我々判断したというところでございます

	てグループ間のところを無理にちょっとやる日やるのはやっぱりよろしくないというところの方も、
0:13:52	そこはそこで慎重にやっていきたいというふうなところでございます。以上でございます。
0:13:59	うん。規制庁菅です。グループ内の非架空とグループ間の比較で、同じとみなす考え方が違いますよってそう言われたんですか。
0:14:10	はい。原因の方でございます。もともとこの場で規制庁カゴイそれはちょっと午前中海田からやり直しますか。
0:14:19	現状でございます。えっとですね、もしも認識のちょっと違いがあったらば、ちょっとコミュニケーションとらせていただく必要があるかなというふうには思ったんですけども。
0:14:30	もともとコアですねと、12グループの設定をした時には、ある程度、その建物として建設するものをグルーピングしたんですけども、
0:14:42	そのグルーピングした中で、ボーリング孔を複数個設定する形なり何なりでやってきたと。その時に、その複数のボーリングでそのグループを一体物として扱っていいのかどうかの分析を、
0:14:59	それぞれグループの中でまずやらなくちゃいけないというので今のこの検討があるんだというふうに思っています。
0:15:06	で、そのときには、えーっとですね、この近接してるタテヤタ値を、このへえっとですね、じゃあその建屋ごとの直下で取らなくちゃいけないのかこの近傍の、
0:15:21	データで物性を設定していいのかというのがこの時の論拠になってくると。
0:15:26	ヨウハンゆ時にですね、このOCFで使う呉コウノとセキオクを設定していいのかという観点でこれは検討していたところで、
0:15:37	午前中ですね、お話はそうやって建物ごとにやったものを、こっちの建物とこっちの建物、一緒に考えていいのかどうかというのはそれはまた別の話ではあるので、
0:15:48	ここは無理に一緒にするんじゃなくて、自然とこのグループとこのグループは一緒だよねというところは、一つのデータ母集団として扱うようにしましょうと。
0:15:58	いうそういう形になるのかなというふうに我々理解しておりましたけど、この自然っていうのはどういう考えなのっていう話を、
0:16:08	しているのであって、それは相変わらずぼやかしたんでは、何の意味もなくて、その自然っていうのは、今一つのグループの中で、複数のボーリング孔があり、
0:16:20	うん。建物群になってるので、多少の違いも出てくると。

0:16:25	いうところを、グループ一つまとめていいよねと言ったときの考えと、うん。考え方と、うん。違うのか、変わらないのかということで、うん。
0:16:39	違うと言っているからもめたじゃない。
0:16:43	変わらないんだったらそれ、グループでやった議論をそのまま展開するだけなので自然ですっていう。
0:16:50	説明になると思うんですけど。
0:16:53	それが違うんだったら、違うゴトウの内容を説明して、うん。その考えであれば確かに自然だねと。うん。いうことを話をするのが大事だと思うんです。
0:17:03	元の方でそういう意味でいくと、こういう話なら一緒なのかなっていう、ちょっともう、すいません思いつきみたいなのところなので言うんですけども、今今回そのCグループにおけるいろんな場所とれてる、
0:17:17	ボーリング孔がありますんで、見ての通りちょっとVsはちょっと違うところがあるというところなんですけれども、その差っていうのが、地質構造しかりその速度構造が、いわゆる
0:17:27	岩種の分布によって生じてるような、その速度構造の差じゃナイトウや岩種の分布に起因する速度構造の差じゃなくて、もう同種の岩盤、
0:17:36	同種の速度構造を示すような岩盤なのに、何か違うVsが取れてるっていう位置付けとしか説明がやっぱりこれはできないっていうようなところになりますので、やっぱりこれっていうのはやっぱり同じような話でもこういう低いところのデータもとれてるっていう事実として扱うべきであって、
0:17:51	やっぱりそういうデータも含めてやることで、データが増えていわゆるさっきのコウポツで言っている、言ったような、信頼性が上がるっていうような考え方であればさっきの5ポツと同じ考え方になりますので、何ていうんでしょう。
0:18:04	受入れるべき違いと、そうじゃない、地質が違うからもうこれは分けるべきだっていう違いをちゃんと明確に分けてあげて、その
0:18:12	受入れるべき違いっていうのはちゃんとデータの信頼性のために受け入れましょうっていうのが、ここで言いたいことなので、すいません繰り返しますますがコウポツと同じことをやってるってことにはなると。
0:18:21	ます。すいませんちょっと概念的な話。
0:18:25	はい。規制庁亀井です。大橋さんとは認識が割と合ってると思うんですけどノモさんちょっとあれでしたが、なので、
0:18:34	なので、だから、今ACのね、速度構造だけ見ちゃうとあれなんだろうってなっちゃうし、

0:18:43	先ほど、岸野と大賀清さんのやりとりで一旦説明しても、じゃあこういう観点だと、また違うじゃないみたいの出るじゃないですかとかそういう話にならないように、
0:18:54	4 ポツだったりコウポツの話の最初のところですね、多分ここ戦没者が4 ポツの最初のところで、こういう観点データを見ていきますからね。
0:19:05	それが最もらしければ、そうそうこういう考え方とこういうデータでも一緒に見れるよねと、自然と受けられるような考え方をちゃんと示してもらう必要があるのでその辺りしっかりお願いします。
0:19:19	現在のことでございます。承知いたしましてありがとうございます。
0:19:24	いいですか。技術関連します。例えば 149 ページにCグループの柱状図あるじゃないですか。ベースの。それで、アノオオノイダ。
0:19:35	コウかな。ちょっと深いところですね、深いところは影響するしだとかいろんな話あるんですが、明らかに違ってる傾向が出てるわけですよ。
0:19:46	149 ページのVsを下の方ですね。で、これ今 4 行あるのかな。Cグループワークで、このオオノE-5 っていうのが、例えばこのACの中で非常に局所的なところなんですね。
0:20:02	そういう考察も含めて、いや、評価してますとか判断してますっていうんという。
0:20:09	照井田野かなと思ってたんですよ。もうそこまでやってるのかなと。
0:20:15	元はいいたいことはまさしくそういうことです。局所的に、おんなじような岩種のくせにちょっとやわらかいところが出ているっていうような、そういう意味合いです。他の方でも、
0:20:28	おんなじぐらいの速度が出てもおかしくないなと思いつつ、同じような岩盤が分布してるにもかかわらず局所的にここだけ小さいという、そういうことです。ですからこれ通常分というかなんですけど例えば平面的に、
0:20:39	NVLAPLしできればですね、
0:20:43	このオオノEの5のところっていうのは、SACグループの中では非常に値段領域で、圧倒的に他の領域のコウコウとですね観測孔等、
0:20:56	同じ物性値だから、変身に関してはある意味、オオノe-5 っていうのは徳洲会やと、ということがいえるわけなんですよ。とっても当然、
0:21:06	地盤モデルを設定する上では、それに重みをつけるのか、或いはや、やっぱり単純平均しますというのはそれは設計的に考え方あると思うんですけども、その場合、ばらつきでは見るわけですよ。その影響っていうのは、
0:21:18	いう。
0:21:20	ステップの設計的判断を行う上でのステップの説明があればいいと思うんですよ。

0:21:26	これは多分事実なんですね今、149 ページの、この事実をどう解釈して設計としてはどう考えるっていうところが、
0:21:34	もう、あるものと思ってたんですね。ただそういう説明がない、あまり見えてないんですけども、
0:21:42	グループにあったら本当に
0:21:44	ばらつきの小さいグループあるじゃないですか。それはもう、
0:21:47	わかるわけですけども、こういう。
0:21:49	ちょっとやっぱりばらつきが大きい、イマイセヒグチのあるようなところっていうのはきちんとやっぱしそういった分析だとか説明、
0:21:57	をしてもらう必要がある。それは設計的なばらつきの中でも、考慮することになりますという形になりますので、
0:22:05	そういう
0:22:06	準備が必要かなと思います。はい、原燃のオガセですおっしゃる通りです。正直なコンターのコンターとして言っちゃいますけれども、最終的にはデータを、今、ポツでやってるみたいに固守集約というか統合していったときに、最後設計モデル作ると。
0:22:21	ばらつきとかを見るわけですが当然こういう離れたイイダとかを見ると設計最終的にはバンドウ広くできたりするっていうところもあるので、あんまり離れてるから棄却っていうのであまりこう設計上よろしくないと思ったりしますので、
0:22:32	ちょっとどこのフェーズで言うかとかちょっといろいろ考えますけれども、そういう精神がありますのでそういうのをちょっと書いた上でどういう考えなんでしょう、その母集団データを切るか切らないと判断してますというのをちょっと書く。
0:22:43	はい。なると思ってますちょっと具体的な書きぶりまだわかってませんが、はい。趣旨は、先ほど大口さん説明されたのは、何首藤 を見ても、棄却すべきデータではないですよ。
0:22:55	いうところまでわかったんですけど、ただ、だからどうするっていうところもある。
0:22:58	まだ見えないというところですので、よろしく願います。はい。現状が難しくなりました。
0:23:05	瀬野君、先ほど、
0:23:07	今やりとりしていただいたことについても、
0:23:12	関西からもって、ちゃんと共通する考え方ってのは、
0:23:18	個別でさらに説明が必要です。
0:23:23	んなところを、
0:23:25	うちの、

0:23:26	してみると、
0:23:28	より詳細に戻って、
0:23:29	うん。
0:23:37	後にもですね 156 ページ、cがそのまま同じかなと思ってたんですけども、公開されます。
0:23:44	お願いします。
0:23:45	広島一番。
0:23:48	当時オオニシって多分、
0:23:50	料金が違ってる。
0:23:52	内尾医師、今西はグループで違うじゃないですか。
0:23:56	重要な、割と深度方向に会社が変わってもそこ構造
0:24:03	ん一方で東側の会社が目まぐるしく変化して地点ごとに違ってくるっていうことを、
0:24:08	踏まえると、そこをやっぱり、
0:24:10	了承して、
0:24:17	説明の方、
0:24:20	はい。
0:24:27	町長の内野ですけど、よろしければ、私別紙 2-1 の後、後ろの方、参考資料の方で幾つかあるんですけどそれ以外で何かもし他の方ありましたら。
0:24:38	はい、じゃ、北崎ですちょっとあんまり全部するものもよくないと思いますんで、ちょっと
0:24:45	一気に 2 ページの目次に行っちゃうんですけども、これ今ですね
0:24:53	六方ちいがメインの内容だと思ってて、
0:25:00	ある程度この第 2 回申請での地盤モデルの本。
0:25:04	本文に相当するところだと思ってますんで、
0:25:06	基本的に午前中の、現時点ではですね進め方ということで、それにのっ とっているかと、いうふうに思ってます。
0:25:16	ただ具体的にですね例えば 6 ポチ 3-6 ポチ 3 になるのかな。
0:25:25	えっとですね具体的に 65 ページからのところなんですけども、6、6.3 の ところなんですけども、
0:25:33	とらえた事前構造の設計のところとかですね。
0:25:38	これ、現時点でこういう
0:25:42	表現が、
0:25:44	すべて正しいのかどうかというかですね。
0:25:48	ちょっと、
0:25:49	ここの扱いを、幾らその経過の補足説明であっても、はい。

0:25:55	入れる必要があるのかどうかというのをちょっと検討してもらいたい。で、例えば 66 ページから、各グループの、もう一覧表の形で出てますけども、
0:26:05	これちょっと拙速率、フライングでございます。これ検討中のものも含めのこれは現時点のデータということになってございます。はい。そこはちょっと注意をしてくださいという。
0:26:17	1 点です。はい。すいません。本文に関係は以上です。
0:26:27	規制庁、内野です。
0:26:32	すいません。全部おっしゃっていると思います。さっきも。
0:26:35	ちょっと 140。
0:26:39	うん。
0:26:42	うん。
0:26:43	保護者さんの説明の中で一つ確認したかったのが、
0:26:59	はい。
0:27:08	148 ページ。
0:27:15	うん。
0:27:16	ここでマイナス 10 名と。
0:27:18	本ミイってところだけが黄色い業界で、あとは、
0:27:23	ピンク色の株式業界。
0:27:27	うん。
0:27:28	でもアノオオノいいものが、
0:27:30	業界とその下の軽石凝灰岩はおそらく、
0:27:35	同じ層、
0:27:37	全部カミイチ凝灰岩話しますというような整理をされている
0:27:41	と思うんですけど。
0:27:45	線形特性は凝灰岩と、
0:27:48	苦し凝灰岩でホール、
0:27:53	それとももうVsに合わせてというのは、
0:27:57	でしょ。元オガセすみませんちょっと。
0:28:01	出してください。どうしてたか。
0:28:06	本だけ。
0:28:08	理由があって、どちらかにしていると思いますのでその考え方も含めてですね。
0:28:16	はい。日本原燃和気でございますちょっと。
0:28:19	すいません。ちょっと資料いっぱいあったので、
0:28:22	1 個 1 個思い出しながらなんですけれども 240 ページですかね。
0:28:27	もうちょっとご覧いただければと。

0:28:34	はい。240 ページですね。はい。はい。はい。これ、いわゆる最終的にどういう監視設定しましたかっていうようなところの、
0:28:41	JPの
0:28:43	業界が結論としては入れています。入れています。
0:28:48	これが何でだったかっていうところが、
0:28:56	はい。わかった。
0:29:00	いわゆる最終的にさっきの、
0:29:03	議論をした上で、イシイにある四つの工場間同じと速度として同じとみなしてよかろうという判断をした上で、いわゆる平均化の処理をかけるというところに行っているんですが、
0:29:14	さっきごめんなさい岸野さん凝灰岩と軽石凝灰岩はインピーダンスがないと判断しておっしゃっていたところではあるんですけども、ちょっと146 ページですかね。
0:29:24	ここにちょっとまた戻っていただきますと、えっと違うか。
0:29:34	と、
0:29:36	違う。
0:29:42	ちょっと、
0:29:50	ごめんなさい。うん。ちょっとわかりにくいっていうのはちょっと後でちゃんと綺麗にしなきゃなっていうのはわかります。
0:29:56	もう、
0:29:56	その軽石凝灰岩と凝灰岩のところ、今、
0:30:01	速度境界につけた上で平均化してるんですねやっぱり岩種境界が一部で見られるところもあるので、そこでの速度境界というのを設定した上で、Vsを平均化しているちょっと具体的にはその240 ページにまた行ってもらって、
0:30:14	TMSLの7メートルとプラスの24メートルのところに速度境界をきちんと設定することにしましたので、それに合わせて、その岩種の違いというところは基本的にそう、まあある意味違いが出る。
0:30:27	支店継続性というところを設定するように監修は設定したという
0:30:31	なっているのが結論でございますちょっと
0:30:34	多分、経緯があんまり実は今書いていないところです。
0:30:41	言い切らない。
0:30:44	通常ですと、
0:30:49	凝灰岩とか粒子業界の方が、
0:30:52	そこで、
0:30:53	徹底。
0:30:57	まず、非線形特性も業界の評価。

0:31:00	評価は、
0:31:02	やってると。
0:31:04	はい、元は瀬下のおっしゃる通りです。はい。はい、わかりました。
0:31:11	はい。
0:31:15	町長について、すみません、戻ってしまいます。次、別紙資料1の参考資料の方。
0:31:21	うん。
0:31:22	そのページで、
0:31:24	まず、
0:31:26	4分割されたファイルですと、4分の2なんですが、通しページだと400、
0:31:31	21ページ。
0:31:35	ファイルのPDFのチームだと60ページ、
0:31:46	はい。
0:31:52	ん。
0:31:53	第3ポツ3ーニイツDC建屋においてと。
0:31:57	この図についての確認なんですけど、左側にN6ーVコウ
0:32:03	括弧して、
0:32:04	柱状図があって、
0:32:06	これが、Cとぴあミナミ端のところに、
0:32:10	こういうふうに
0:32:13	アノミナミ橋に当てはめている地層というのが、このACAタテの人の希望でいうと、PT
0:32:21	PSうん。
0:32:24	PFSですか。はい。はい。
0:32:28	うん。
0:32:29	にあるんだけど、はい。
0:32:32	N6ーVコウの
0:32:34	二つの分ですね、730と900。
0:32:39	59万を、
0:32:42	上と下に振り分けているんですけども、
0:32:45	その下の950を振り分けて、
0:32:49	柱状図の
0:32:54	早々ですか。
0:32:56	実質、
0:32:57	の名称を見る。
0:32:59	3.2カミイチ、了解。

0:33:07	寂しい。
0:33:10	細粒砂岩とか、断層を挟んだ予算で整理され、
0:33:14	ことに。
0:33:15	で構成されていて、当てはめてるミナミ橋の断面図。
0:33:19	これは記号でしか書かれていないのでどういう対応かちょっと、
0:33:24	PTSDSPTfsっていうのは、色合いからすると多分
0:33:28	岩種、
0:33:29	うん。
0:33:30	なぜこの違う岩種のを
0:33:34	限って、
0:33:36	ちょっと説明がなくて、
0:33:38	うん。
0:33:39	こういったところが、この参考4の資料、
0:33:43	散見されているので、
0:33:45	ちょっと共通した考え方があるのならば、説明いただけない。
0:33:49	はい。
0:33:50	元のオガセでございます。基本的には、いわゆるこういう断層の、
0:33:55	検討して、浦上が地盤と下盤側の地盤が鍵になってる。
0:34:00	ていうのを想定する。
0:34:02	結構上盤側が支配的なあのボーリング坑年は下盤側が支配的なボーリング孔っていうのを二つ用意して、それを合体するっていうようなことをやっているというところでそれは多分ご理解いただいて、
0:34:15	そのときに、じゃあその地質をどう振り分けるかっていうところにつきましては、やっぱりあのボーリング撮った位置とこの建屋の直下にして、やっぱり断層の切りかわりしっかきその地層の傾斜みたいなところ
0:34:26	でその層境界の深さが変わりますので、それをこの青い矢印下に赤い矢印に示すようにちょっとその建屋直下にアジャストしてあげるような形で設定してあげるということにしています。
0:34:37	その時の基本的な考え方は、
0:34:40	多分、
0:34:42	ご認識の通りだと思うんですけどもその対応する地質境界で出てくる速度境界
0:34:47	にアップの深さを、ボーリング孔で野瀬てくるその深さのところと、その直下で出てくる深さのところと合わせていくということで基本的には、岩種の規模の形とBの方の切りかわりっていうところ。
0:35:00	の、同じ岩種の切替わりのところと合わせるという基本的な考え方です。

0:35:04	ただ今岸野さんがおっしゃってたところの 424 ページの左側のところで、
0:35:10	今多分岸野さんをご疑問に思われたところっていうのは、青の点線三つ横にこう矢印が並んでるんですけどその真ん中のところが、
0:35:20	あれですかね、ピンクのものをオレンジワード協会に持ってきているところとかそういうところがちょっと何かイレギュラーなのではないかと、そういうような、ちょっとですね、三本ある 5、
0:35:31	長谷。
0:35:32	はい。もう、日本列島、一番下、はい。
0:35:36	この間に挟まれた岩種って柱状図とか、
0:35:41	業界、いろんなものボレーションとって、右側の当てはめようとしてる。
0:35:46	岩種とはまた違う。
0:35:49	と思うんですね。なんで違うな。
0:35:52	はい、わかりました。日本原燃大瀬です。そこにつきましては、これもさっきと同じような話なんですけれども、
0:35:59	いわゆるオレンジアノコガアノN6 分以降のがん、がんの粗相上を見てみると、まずピンクの軽石凝灰岩が、
0:36:09	プラスの 30 メートルからマイナス 30 メートルぐらいまであった。
0:36:13	次、また、オレンジが入ってまたピンクが入ってオレンジが入るっていうようなところで、ちょっとこの下盤側のソネ、
0:36:21	いうところで、これはこれでちょっと特殊なちょっと構造になっているというところになっております。一方で、その下の方の -20 か、ちょっと字がカせてごめんなさい。見にくいかもしれないんですけど。
0:36:35	下の子吳なんていう -30 ですね、-30 から -15 ぐらいのオレンジの加入しさと、その下にある娘の軽石凝灰岩っていうところは速度が 950 と一緒の速度になっておりますので、
0:36:49	あくまで今回着目するっていうのは、ピンクとオレンジ上にピンクが載ってて下にオレンジが載っているソウノ速度のコントラストってのが結構出がちなのがわかっていますので、そのコントラストに該当するもの、これがまさに、
0:37:01	このVsの、739 条、50 の層境界に麻生境界とか速度境界に該当しますので、ここをきちんと上げてあげようとした、ただ一方でさっき岸野さんが 5、
0:37:13	言っていたように、真ん中にピンクの層とか何か中途半端になんか薄。

0:37:18	水色みたいな層とかがあったりするんですがそれっていうのは基本的に速度境界に影響するようなものではないようなことがこのPS検層結果からわかっておりますので、あくまでこのオレンジの上端、
0:37:28	のところの速度を、この建屋の直下のところに合わせてあげれば、その下のDC建屋のところの、今のこの南端モデルっていうところの、例えば薄緑ですとか
0:37:38	PFSってこの薄紫のやつとってところはこの5年以上でした同じ速度で続けてもよからうというようなそういうようなところの観点で、基本的に同じ速度だからもうそれはもう慣習、
0:37:49	協会とか関係なく持ってきてもよからうというようなそういうような判断をしているところでございますすいませんちょっと。
0:37:55	本気でなくなってしまう。
0:37:57	つまり、考え方として、この左側の柱状図の今後の速度境界となるところ、下はいろんな外周はまじってるっていう、もう、
0:38:09	としては、その考え方を何たる直下にいる者がまざってると。
0:38:16	予定がない。
0:38:18	はい、元オガセさんのおっしゃる通り、仮定です。はい。そういう仮定のもとでは、
0:38:27	うーん。
0:38:28	なるほど。
0:38:29	ちょっと、
0:38:30	そういう考え方って、少し乱暴な感じもするんです。
0:38:35	そういう考え方も、やはり社外支援者としても、まあそうだねというような、
0:38:43	共通認識のもとで、まず、元としての見解は、
0:38:47	はい。人間のオガセです。結論を言えばその通りでございます。ただその時にはすいません説明が足りていないところではあると思うんですけれども、例えば、423 ページ、1 個前のページ、同じような
0:38:59	ものがあるって、入力Ⅱコウノ 423 ページの右側のボーリング孔なんですけれども、ここも同じような傾向が出られています。ピンクとオレンジの間では、いわゆるテーブルっていうか、速度境界みたいなのが明確にあるので、
0:39:12	対して、その下のオレンジ、薄緑、水色というのは速度境界がやっぱりない。なので、ここっていうのはやっぱり速度境界、オレンジ水井、緑、水色というのは、この
0:39:22	色を接着しませんけど、速度境界になるようなものではないっていうのがうちのいわゆる岩種の速度構造のいわゆる、なんていうんすかね。

0:39:30	傾向みたいなところから、もういえるのはある意味この東側地盤のいろんなボーリングを見て、共通的に見られるところがございますので、そういうところはもう速度として一緒に扱ってよかろうというところは、はい。
0:39:43	そういう根拠を持った上で、はい。こういう設定をやっています。はい。
0:39:48	今申し上げたようなことを、08 の中でかけてそうですね。そうじゃなかったですね。はい。そうですね。はい。
0:39:55	加来。
0:39:56	グループはさっき先ほどACタテ議論したところみたいに、各個別グループのボーリングの比較の時にはまさしくそういう議論というか説明をさせていただいてるんですが、ちょっとこの断層の時に、どこからこう、
0:40:09	ボーリング持ってきますよっていう時にはそういう説明はちょっとしてなかったというところですので、
0:40:13	何か、いわゆる各グループでのVsの分析からえられた知見みたいのがつまりあるわけなんですけど、それをちゃんと、
0:40:22	結論で、その各グループのところでもまとめて、ここではそういう知見に基づいてみたいなところをちゃんとつないであげるのはあるかもしれませんね。はい。
0:40:30	はい。堤さん。
0:40:31	そう。そうかなと思います。
0:40:34	先ほどの前段、Cタテでしたっけ。いや、多分そういうのが背景にあって、なので例えば、TとTPSは、
0:40:46	会社が変わってます。
0:40:48	本当ですね、東側地盤ではないっていうことで、
0:40:51	されているんで、同じ速度構造
0:40:53	ミヤサキyouなバックボーンがあって、なのでこういう、このこの宗所層はもう一つの層として出しますっていうのが多分共通の考え方ですね。
0:41:04	ますので、
0:41:05	ここはちゃんと、
0:41:12	はい、県民合わせですかしこまりました。ここ以外にもそういう判断するところがいっぱいありますので。はい。ちょっと、
0:41:19	繋がり、
0:41:22	はい。
0:41:24	ないかって説明できるのかわかりません。
0:41:30	うん。
0:41:32	千野常務。
0:41:34	はい。
0:41:47	今度は2台あるカードは14というやつを、

0:41:53	宇和版の方、
0:41:54	できていて、
0:41:57	うん。
0:41:58	アマノ9 アンドウと速度境界と書いてある。
0:42:03	赤い破線も、
0:42:04	そのまま水平に重要なミナミはシンボ
0:42:10	これは、ここに速度境界が現れると判断した。
0:42:15	日本原燃のバスですか。これはちょっとさっきのとは様相違ういまして、同じ深さの境界を持ってきているというわけではなくて、
0:42:27	ここでいう黄色いがんっていうのが、次14の段の下端の方に出ている方の方に出ているので、この同じ黄色いがんのVsを持ってきましょうとそういう意味です。
0:42:38	はい。その境界を何か調整するとかいう話ではない。
0:42:41	さっきいろいろおっしゃってた。
0:42:45	24の断面図のことで、何か、
0:42:48	84ノダ水の中の黄色というか肌色というか、その他、
0:42:53	私が聞きたかったのに眼中上部、先ほど境界と書かれた波線が左に行くと、SF6断層
0:43:04	少し上に、ここに速度境界があると、14台が設定され、
0:43:10	ある部分、Q4と同じ。
0:43:12	標高に速度境界が、この
0:43:15	ピンク色の何番地にされると判断したのはなぜですかということです。本件にオガセすみませんミギタヒガシ左を履き違えました。
0:43:23	こちらにつきましてはR594この図の右側の図を見ていただきますと、ピンク色のソウノ中出軽石業界の中で、途中で速度境界というものが出てくるという、これがまああの時、
0:43:36	教えられているこのR594コウの試験というところになります。ですのでG14の上盤側、SF6断層上側にいる、
0:43:47	ピンク色のがんのどこかでもやはり層境界、このピンク色のがんというのは、どこかで深さどこかの深さで層境界が生まれるがんたというようなゆる知見がある知見になっているわけなんですけども、
0:44:00	じゃあその深さをどこにやろうかというふうな話をしたときに、じゃあこのG14の直下のところの岩盤とR594のところの岩盤を見比べたときに、
0:44:10	この緑の層、黄色の層、あとピンクの層っていうところで行くと、大体この次14の直下のところと同じ厚さで、上から堆積していつてるところが見えると思います。
0:44:21	これがもしもですよ。もしも、

0:44:24	このR594 よりも、
0:44:26	G14 の直下の方がピンク色がずっと例えば深いところに出ていたら、その層境界は、ちょっともしかしたら深さ違う仮想境界の深さというのはやっぱり変えるべきかもしれないんですけども、
0:44:36	ここにいた、ここに関しましては、0594 の、緑黄色、ピンクっていうそのアノ、
0:44:43	ソウノ重なりの厚さの関係と、G-4 の直下のその緑、黄色、ピンクっていうこのそれぞれの厚さの関係がよく対応していますので、やはりこの速度境界ピンク色のソウノナカノ速度境界も同じ深さに設定してあげることで問題なかろうと、そういうような判断をしたところ
0:45:01	ツツミツツミです。
0:45:03	層序が対応している速度境界評価同じ。
0:45:07	音源のオガセです正直。
0:45:09	わからないと思っているところなんですけれども、PS検層もどこかで基本的にはやっぱりアノコウ。
0:45:15	どこか、本当はもしかしたらなだらかに変わるかもしれない速度、どこかの1点で決めているというようなところは、
0:45:22	もありますので、本当に正確なところというのは、上がって見ないとわからないというのは実際のところだと思います。ただ、やっぱり断層の影響を踏まえてというところの観点、
0:45:34	あと、上盤側のピュアな盤側のボーリング項目のQ4 っていうR594 というところのデータだと思いますので、これをやっぱりこうある程度大事にしてあげなきゃいけないだろうというふうなところを考えて、
0:45:45	データで見られる速度境界というところは、
0:45:50	何ていうんでしょう。大事。
0:45:51	アメリカ指定したしてあげた上で、このツツミは、今おっしゃってるのかな。やはり、社内で議論して、コウゼイ
0:46:01	が同意した考え方
0:46:04	は、日本原燃のオガセですこういう、いわゆる矢印の高校向かい合わせるような図をお示した上で、こういう考え方になるだろうと、同じような形で、
0:46:13	解析しているから同じあたりで出ると考えるのが自然であろうというところは共有しているところで、
0:46:19	戻りますと先ほどのですね、
0:46:24	424 ページのご説明だと、
0:46:31	昨日考え方を説明されていた
0:46:40	左側ですね。

0:46:42	6-Vコウで、
0:46:46	S波速度の
0:46:48	速度境界から、浅井。
0:46:50	これは、
0:46:53	下に、
0:46:54	何十ある品質性、
0:46:57	業界ではなくて少し上に速度境界が確認されているんだ。
0:47:02	でもこのACタテヤノミナミ端に適用するにあたっては、TPPとPPSの境目に速度強化
0:47:12	これはさっきの考え方、違う考え方を、
0:47:15	られて、何かさっぱり、
0:47:17	はい。はい。日本原燃のオオバですこれは区別しています。なぜかといいますと、いわゆるこれも知見なんです、ピンク色とオレンジ色の間ってところの層境界は、層境界は、速度、
0:47:29	の切りかわりが見られるという、
0:47:31	いろんなどころから見られる傾向がありますので、ここで、今の424ページの左側の図で、速度境界となっているところ、これ実際にデータの深さデジタルで見れば、実際このピンクの途中で切れて、速度が切り替わっているというふうに見えるんですけども、
0:47:46	これにつきましてはさっき言った知見から、もうこれはピンクとオレンジの方の境界で、もう速度が切り替わっていると扱うべきだろうと判断しました。ですので、ピンクの途中のやつをこうなんかオレンジの状態の真ん中の図のオレンジの状態を載せているというふうな図にはなっているんですが、実は、
0:48:02	これ、オレンジの上端の速度の切り替わりと、そのCTC直下の数、オレンジ大田の速度の切りかわりを合わせてるっていう、そういうような意味。
0:48:11	に対して先ほど完全に同じがんの中でも速度の切りかわりを扱っておりますので、そこは考え方としては、
0:48:17	すいません、書けてないのは認めますが帰って書いているとか、分けたもの。
0:48:23	はい。考え方の違いもそれぞれ根拠がある。はい。
0:48:26	当然その背景には普通の考え方の一つとして、その説明がないと。
0:48:33	その時その時で都合のいいやつを使っている。
0:48:36	しか見えなくなっちゃう。明確に総観場で説明してない。
0:48:42	はい、元に合わせですかしこまりましたちょっと文章に、そういうのを細々まぜると非常にわかりにくくなるので、図の、

0:48:49	この青点線のところに吹き出しとかスケールとかしてはいこれを、何と何の下の方協会の速度の切り替わり対応とかみたいなのをきちんとわかるように書くようにしたいと。
0:49:00	どうです。衛藤。
0:49:02	おっしゃってるのは、どういうポリシーにして、同じポリシーに従って、こちらもこちらも評価したよねと。
0:49:09	いうことがわかんないといけないよね。
0:49:11	おっしゃってる本設のポリシーという、もうポリシーなんですけど、そのポリシーのコンビニ、
0:49:19	ところもそうだったら、速度境界が境界上の方に出るのが、
0:49:24	一般なので、自重ようみたいに上の方に設定し、一方でこの外周だと、速度境界のところにはほぼ出るのが普通なので、たまたま最初したTS計測はそうになってないけど、
0:49:37	協会の方に設定をしましたというふうな考え方が、岩種ごとにそういった整理された上での共通の考え方がポリシーとしてあるんじゃないので、その場所に整理した背景も含めて説明していただく必要があるんでしょうか。
0:49:53	ありがとうございます。すいません失礼いたしました。そうするとやはり岩種ゴトウできちんと分析を加えるというのが、おそらく整理としてはいいよってということで、それが多分
0:50:06	まだ、
0:50:10	と、この図の中でそれぞれ
0:50:13	吹き出しで、
0:50:16	きちんと整理をし、
0:50:21	そこを最初
0:50:23	こっちで、
0:50:24	できるような形にした上で、
0:50:25	よろしいか。
0:50:29	やり方を検討。
0:50:31	はい、日本原燃、岩瀬ですかしこまりました。
0:50:36	もう1点ちょっと76ページに戻っちゃう。
0:50:40	先ほどの考えは、そういった考え方、定性的な傾向があるんで、速度境界、
0:50:47	次お願いします。
0:50:50	来てます。
0:50:51	一方ですね、月6断層破碎部ミウラで、
0:50:56	ふうん。

0:50:58	有する低いやつの下に潜り込む
0:51:02	荘司さん。
0:51:07	447
0:51:13	240 ページで、盤面 84 という、
0:51:18	そういうプログラムで、その下盤には、
0:51:21	DSの薄緑色とかがすごくて、これはおそらくVsの低い層が、
0:51:28	6 番、
0:51:32	午前中もですねその周辺の予定って話しましたが、
0:51:36	ひょっとしたらこの弱いBSが下に潜り込む
0:51:41	SF6 断層のピンクの
0:51:43	下がっている。
0:51:48	は、
0:51:49	どうする。
0:51:52	日本原燃の高瀬でございます。今の岸野さんがおっしゃってた傾向というの は 443 ページをちょっとまずご覧いただければ。
0:52:04	こう答え。
0:52:05	もう、まさしく今岸野さんおっしゃった通り、アノー
0:52:09	50 メートル付近のところちょっとやわらかくなるような、結構、
0:52:13	ところになって、
0:52:15	ます。
0:52:16	で、
0:52:16	この傾向っていうところにつきましては、フジイ、ちょっと、
0:52:40	院長の尾野の、
0:52:43	20、
0:52:46	断層、西田バンドウBSが下がる状況。
0:52:53	文中の説明がなく、多次元までっていう話だったかと思うんですけど、そ れで説明ができそう。はい。やれてちょっと思ってますと。
0:53:04	何とか考えておりました。
0:53:07	うん。
0:53:08	ですね。
0:53:09	440 ページから始まる。
0:53:39	越冬
0:53:41	450
0:53:43	2 ページ。
0:53:51	はい。これは、一番上のグラフ、図を見てもらえればと思うんですけど も、緑がいわゆる

0:53:58	下なんか下盤側のアノ地盤ということになるんですが、いわゆるこの緑の層が越田に潜り込んでいくというところで、速度についてもやわらかいやつが下にこう斜めに交差していくような、
0:54:10	モデルになっているということになってございます。それをやった振った結果っていうところが、
0:54:19	454 ページをちょっとまず、
0:54:28	はい。ちょっとこのケース1というのは、斜め
0:54:31	の断層がちゃんと潜り込んでるのを模擬した。
0:54:34	モデルになっておりましたそれに対して、
0:54:51	いや、違う、ごめんなさい、ケース2、緑色のちょっと緑色のものとちょっと見比べていただきたい。赤、緑を見比べていただきたいと思います。
0:55:01	緑のものにつきましては、基本的にそういう低速度層が潜り込まない、いわゆる上盤側がピュアに反映されてるような地盤を模擬したのになっております。それに対して下側に濃いやわらかい緑の層が潜り込んでいるようなところというのを、
0:55:16	考慮いたしますとその応答の差というのは基本的にはほぼほぼ同等ちょっと位なんか長周期側で出てますが基本的に建屋の周期で出したようなところになっている。
0:55:25	にしてございますので、その応答への影響っていうのがこの二次元
0:55:30	ではこの2次元的な構造を踏まえての周りの構造みたいなところを踏まえても表現できているというふうに考えてはございます。
0:55:42	ちょっと整理してですね。そう。そうです。はい。おそらくこの、
0:55:46	水曜日でも中途ってそのあたりはある程度、
0:55:50	かもしれません。
0:55:53	藤。このケース設定と先ほどのミナミヨシダ。
0:55:59	検討して、
0:56:06	先ほどの質問に対する
0:56:08	説明がここで、
0:56:17	あと、少なくともですけれども、
0:56:22	下にやわらかいものが送り込んで、
0:56:25	言ったそれは当然今ランタンモデルとか東端モデルとかみたいなのに反映しているところなんですやわらかくなっているとしたらどうか、その上のピンク色の盤が潜り込んでいることによってVsが変わるかと言いますと、
0:56:41	あまりそういう前提は立てていません。やはりアノか対岸の下にやわらかいの売り込もうが固いものは片イワマ、そういうようなところはすいませんこれは前提として立っている。

0:56:57	あります。
0:57:02	どうしてそれぞれVsは、はい。はい。
0:57:05	片方にですね今日もう片方行けるような状況で布田さん。
0:57:13	日本原燃のはずですそれはやはり、どうしてもそうなると思いますつまり取れたたから、何かヨシナガ組み合わせて、当然実ミツイ行ベースが取れていればそういう2次元的な広がりは見れるかもしれませんが、
0:57:27	やはり離散的なデータしかとれてない以上、形状の
0:57:33	斜めにするかどうかというところはFEMで評価できますが、それによって上側のVs数がどう変わるかっていうところはちょっとFEM上予測はどうしてもちょっとにくいのかなと。そういう意味である意味ドラスティックにピュアなバンドウ. アシダ番号。
0:57:46	組み合わせるといってやっておけば、本当は持ち込まれたというかアノリ連続的に変わっているかもしれないVsを、ある意味がきつこう、極端に濃い切り替えるような検討になりますので、ある意味、ドラスティックな検討といいますかそういうようなことができているんだろうなと思ってやって、
0:58:03	はい。
0:58:04	わかりました。成長のミシマです。
0:58:07	ドラスティックというか、想定されるけど表現できないものに対して、それを挟むよう極端に条件でやってみても差がなければあれだ。
0:58:17	同じであろうというようなそういう仮定による説明ってのは成り立つかと思しますので、
0:58:22	そういう仮定のもとでの説明であるならばそういう位置付けを明記して説明いただければもうちょっと、
0:58:31	主な背景の方でちょっと説明がいろいろあろうし、楽しかったので、はい。その辺の考え方と、はい。ここは、いわゆる詳細にやられてるここはちょっと仮定条件のもとドラスティックに充てる
0:58:43	っていうのがちょっとわかるように廃棄体と思います。
0:58:46	長です。はい。
0:58:48	説明を充実していただきたいんですけども、多分、今のやりとりで、
0:58:54	ちゃんと整理ができてないままで今こういうやりとりして、多分整理をしていくとなかなかそうも言えない部分もある。
0:59:06	うん。
0:59:12	そうしますと、ちょっとナガエて、
0:59:16	140 ページ
0:59:18	と、
0:59:20	設備のご説明でまず、

0:59:22	協会っていうのピンク色の中途半端なところを設ける。
0:59:27	いろいろと知見があってそのとき、
0:59:30	正副断層の下にやわらかい
0:59:34	人は、FEMで、両極端のケースをやってることによって説明。
0:59:41	いうことたちになります。で、それで説明がつけば、そうかなと思うんですが、
0:59:46	その背景になってる根拠はあまり実はそろっている。
0:59:52	全然説明がつかない。
0:59:56	うん。
1:00:00	パピーの
1:00:03	そうした場合っていうのはどう仮定するのが、
1:00:06	ちょっと設計の判断が入ってくる。
1:00:10	イイダ同じ標高の強化。
1:00:13	うん。
1:00:14	言っていくと。
1:00:18	企業のSF6 断層のところ
1:00:23	ん。
1:00:24	持ってくるのかといった評価っていうのは、本来は行って、
1:00:36	これは面。
1:00:50	10 相当の途中で速度が切り替わるところの与え方っていうところがはちよっと考え方が若干仮定が入っている。
1:01:01	まあ、本当にそうなのかもしれない、
1:01:03	多少もちろん違う考え方があるとしたら、
1:01:07	考えたい。
1:01:09	はい。次。
1:01:11	ちょっと説明いただき、
1:01:15	でした。
1:01:19	私から別紙において、
1:01:23	規制庁カミデですけど、
1:01:26	44 で、
1:01:30	午前中話した会合だと4 ポツでプレイズ並べてポツのところ、類似してるものはまとめられそうだねって話をしていくってこと。
1:01:40	で、なおかつ
1:01:43	これまでの経緯からは西費中オオヒガシっていうエリア単位でまずは見てみまస్తుっていうことでしたけど、
1:01:50	次 14 ってヒガシの中でもちょっと特異な感じが慣れしてるんですけど。
1:01:57	次出てくる海越上とかでは次 14 も、他の

1:02:04	ヒガシとまとめられそうだとかその辺の、やっぱり別にしなきゃねみたいなその辺の感触って今持ってるんですか。
1:02:11	権利能でございます。
1:02:13	端的にお答えすると、もう別でカー呉必要があるよね。が、お答えです。
1:02:20	はい、規制庁会長わかりました。
1:02:23	それ以外はまとまる感じなんですか。ヒガシだと。
1:02:26	B。
1:02:28	午前いただいてちょっと家の話も含めてちょっとよく並べて、検討しないといけないなというのが今の我々の立ち位置でございます。
1:02:37	はい、規制庁カミデわかりました今日のところは。はい。大丈夫です。
1:02:43	ピーエイが特殊なのかっていうところろがどうしても疑問になっちゃうんですね。
1:02:52	やはりヒガシは多少の傾斜を持っていて、
1:02:58	あと表層側の影響も、
1:03:01	結構出得る形状になってって、
1:03:05	その辺りのどこがどう効いているのかっていうことを分析しナイトウ、一概に現状ぐらいのですね比較でいいでしょとかって言われても、納得できないかなっていうところがあるので、
1:03:19	そのあたり、細かく
1:03:22	比較してですね、対応いただきたいと思ってます。傾斜っていう関係からすると、そのPAの並びのところ
1:03:31	等、z閉じ 14 という 30 分あるような気がしてるんですね。そうですね。そうすると、次 14 はもう別でって言われてるから議論ないのかもしれないんですけど、
1:03:43	Zのところも多少の深さの違いとかが出てくるわけで、それは構造として明確であって、それを何で合わせるのっていうのは、
1:03:55	他の不確かさが云々とちょっと違ってくるんですよ。そのあたりの影響度っていうのはちゃんと話をして欲しいなと思います。
1:04:05	おっしゃる通りだと思います。ただ、一方で中央地盤みたいなほとんど一緒みたいのところでも、やっぱり層境界の深さみたいのところってのは多少違うわけなんですけど、似てるねと言いつつも、ヒガシも、
1:04:18	言ったらそういうレベルで出てなると、そこの判断基準って非常に難しいところなので、最終的にやっぱり冒頭なんて今、シミュレーションで確認しますって水準になる。
1:04:29	ありますんで、だから、家、家何だろうか、考え方として 1 回見るとオクけれどもちゃんと応答で違ったら外しますよみたいにやっぱりそういう考えはどうしても出ざるをえないのはちょっと。

1:04:39	はい。はい、古作です。わかりました。その点で言うとピーエイも同じで応答を見た上でやっぱり同じにはできないねっていう判断をしてるわけです。
1:04:50	そこまでその結論伸ばしておくのであればPAでの議論と合うんじゃないかなと思います。はい。はい。よろしくお願いします。
1:05:02	はい。
1:05:05	いいですか。規制庁浜崎です。ちょっと関係もする、するんで
1:05:09	4分の1のですね戻っちゃうんですけど別紙2-1、通しページでいうと81ページですねさっきのピーエイも含めてなんですけども、ここは岩盤部制の
1:05:20	設定のところですね、で、
1:05:22	これここも目次を見ると、83ページぐらいまでですね、4ポチのシリーズで12グループ、こう横並び岩盤物性を並べますよ。
1:05:34	よという、シリーズですね。
1:05:37	5、5ポチはどうなのかという、あるんですけども5ポチ6ポチがあるんですけどもこれは傾斜の話だとか、
1:05:45	ところなんで、ちょっとイレギュラーなんすけど、7ポチのところですね、き分析結果っていうのがありますので、これでですねちょっと、
1:05:55	質問したいのはですね
1:06:00	同じ資料の307、27ページ。
1:06:05	です。
1:06:08	7ポチのところ、さっき言ったその傾斜の話だとかですねそういった、もうまとめの話で、7.13各グループの分析結果のまとめっていうところはあります。で、
1:06:19	さっきも話が出たまず、全体の全体っていうかな、各グループごとのベースの柱状図ということで、例えば、
1:06:28	329ページに、VsとVp出てますよねこれ12グループも、
1:06:33	いっぱいとか減っちゃうんですけど、全部、
1:06:35	まとめてるんで、ここら辺をきちんとグループごととか、はい。で、そこに今これ12グループしかないんで、OBとPAを。
1:06:45	どうはめ込むかですよ。
1:06:48	MBPAに関してはこれしっかり直下でやってるんで、それを、
1:06:54	グループ立山の応答自体は問題ないと思ってるんですけども、地盤モデルを作る上で、その近隣のグループとどう
1:07:04	まとめていくのかというところだと思いますんで、ちょっと7-13のところですか。
1:07:11	今後、出てくると思います。で、お聞きしたいのはですね。

1:07:16	327 ページの上から二つ目のパラグラフで、
1:07:21	この資料でやってますけれども、
1:07:24	層厚、重み付け平均の等価 V_s というのを一つの指標としていろいろこう評価しちゃってますよね。
1:07:31	例えば、325 ページ、ごめんなさい、もっと後か。
1:07:37	私古いのみたいな。
1:07:38	300 頁 3、30 ページ。
1:07:41	12 グループのカラフルの棒グラフ等価 V_s 。
1:07:45	で、これ、当確ですってソース重み付け平均してんですけども、当然、
1:07:50	上とコントラストが違えば、
1:07:54	部等価ベース一緒でも稼働電波違うじゃないですか。
1:07:57	全然違いますよね。
1:07:59	インピーダンスはね、インピーダンス比高いんですが、
1:08:03	この考えをどうして、持ち出してきたのか。
1:08:08	例えば宇野さんなんでこれでしたか、そう。
1:08:13	元にオガセ
1:08:14	ここで言いたいのは、速度構造が大体似てる組ってどこでしょうねというところがありますので、今この 329 ページの V_s を全部重ねた図がありますけれども、
1:08:28	これだけを見て、どれが見てるっていうのって、もう見た目だけの判断にどうしてもなっちゃうと思うんです。これを、は同じ富田層というのはこの線だけを見たら、判断できません。荘司です。ですので、何かしらの指標っていうのを、
1:08:43	さっき浜崎さんおっしゃった通り、等価 V_s ってのは、ある意味タダ、コウ速度、
1:08:49	うん。重み付け平均 11 軸の値でしかないんですが、まずそういう大まかな目での大きい課題の部分なんです、傾向はどうかなっていう話と、プラスその下に速度比っていうのをに入れて、それがまさに、
1:09:04	そうなんです、インピーダンスなんです。インピーダンスを見せてあげることで、いわゆる代替の増幅費としての日って言っちゃいけない納付の仕方の傾向っていうところは、ある意味、大まかにつかめるとは思っているところなんです。なので、ある意味
1:09:19	作る上での一つの目安として、こういうのは使うというのは、 V_s 等価ベースだけじゃなくてその速度比も一緒に見てあげれば、何かヨシナガ目星がつけれるんじゃない、目安がつけれるんじゃないかタダじゃこれでグループ確定ですかっていうそんなことはもちろんなくて、岩崎さんがおっしゃったシミュレーション的な、

1:09:35	検討とかやらないとわからないですねっていうようなところがここで言いたいところなので、今後応答的な観点で、
1:09:42	いわゆる作りっというところを、本当にこの今の目安的なところで、中央で来るのかもしれないですけども、作ったっというところが応答の観点でも良いかまでで初めてそれが完成するような議論だと思ってますので、あくまでこれでもうグループ確定ですって話じゃない。あくまで、
1:09:58	グループ化を仮置仮置という目安をする上での一つの指標というようなところでの扱いで今はつけているところです。はい。規制庁浜崎です。
1:10:07	非常に、
1:10:09	粗々本当にアライアノという判ことではわからんでもないんですけども、
1:10:16	これ海野さんどう思われます。
1:10:18	先ほどちょっと日下さんの指摘にもよるんですけども、
1:10:23	例えば宗は仲田側にこう流れたし、どうしてもですね我々地盤、木曽路マウンテンの方からですね、
1:10:30	G0と岩石ごとの相関をとるとかなり良い相関で深度方向相関すんですね。そうすると、
1:10:37	例えば、上の層と彦根これと言うところのアノ長野13-3はこれ、基本的にインピーダンス比なんですね、基盤と競争で、それであまり変わらないってことですね。
1:10:47	今日、
1:10:48	宗が流れたとしても、入口と出口が同じだと、あとでやる。
1:10:53	解析の方で、同じ事なるんですよ。
1:10:57	だから、これがそろってると大体応答と同じになるっていうのがこの絵からわかるんで、今そういう評価として大体もう、大きく分けて、
1:11:04	全体的な速度が一緒ですよっていうのと、基盤からのインピーダンス表層から上がってきたときの、インピーダンス比が同じでトモダが同じになるでしょっていうのを比較したのがこの絵なんですね。はい。だからこれからすると大体概ね概ねこんなだろうっていうのがわかるということでちょっと色的にはですね。
1:11:20	ちょっと再掲ディックなんですけども、そういう意味からすると、これ説明しやすいものだというふうに私の方は、考えてみております。はい、井関浜崎ですがこれは今後残る。
1:11:30	じゃあ、ニワ残したらいいんですけど、例えば大戸。
1:11:39	和気しても、
1:11:41	次出てないんです。
1:11:43	数字になってるんですね。

1:11:45	それないうちにリーズンでこんぐらいでくれそうだとこの選択肢はありませんので、音まで出た熱きには、正直なくなってもいい。
1:11:53	ここでは、
1:11:54	午前中にお話があった通り、こうやる根拠って、こういう等価Vsとすごいだけじゃなくて、地質構造とかそれから2点の話も、今日の午前中の話まで入れなきゃいけないと認識しておりますので、
1:12:05	どっちかつつとそっちがメインになっていく。
1:12:08	今はそこはかけてないと。はい。
1:12:10	そうすると近隣のグループのその理事制みたいなものは、
1:12:15	どうやって、
1:12:17	これから判断されます。
1:12:19	いや、例えば一番わかりやすいのは3-29ページにあるような、この例えばベースの柱状図ですね。
1:12:27	2、
1:12:28	近隣のものを見比べて、訪問必要だねとかというのが、これ一番わかりやすいと思うんですよ。
1:12:34	あるんですね、ほぼ一緒。そうです。どういう観点で一緒かっていうと娘で見たら出るぐらいしか、今はないんですがそれで本当にいいのかなということをやっぱりこういう、
1:12:47	セキもあった方がいいのかなと思ったんですがいいです結局最後は口頭で確認する。
1:12:53	ほぼ、
1:12:54	出てくるアウトプット、ある意味予想して早々に損益ではあるので、今の断面で、そういう粗々の要素を入れる必要があるのかというのも、
1:13:07	多分野瀬で今進めてみて、これが似てるようにも思えるぐらいで留めておいてあと、応答が出たときに、ちゃんとして判断すると。
1:13:18	というようなやり方の方がすっきり今の話の流れでいくとスプレイするのかなという気はしてきました。はい。お願いします。はい、そうですけども、基本的には、
1:13:29	同じお答えが出てくるっていう、ここの比率分で、それぞれの領域っていいですか、グループごとに、これで応答の差がこんな感じで出てくるということになります。山谷の位置だから別にこれ必要じゃないシマダから。
1:13:42	概略的にこういうふうな格好になってて、大体これで見ると、あるバンドをもって、当該地点のそのインピーダンス比に繋がるっていうのはわかるっていうことと、

1:13:53	うん。て提示というかそんな感じで、今無理やり将来を占う必要があるのかどうか、大丈夫です。はい。規制庁、野崎です。大体、これを持ち出してきた。
1:14:06	理由というか背景っていうのは大体わかってきましたが、ホームトレード扱いについては、さっきのまさに五藤千野、中出の進め方になるわけなんで、
1:14:16	ちょっと十分検討してということではい。お願いします。はい。以上です
1:14:24	はい。社長にします。
1:14:27	別紙ミイにはなくて、木部シノさんで、
1:14:31	使うん。
1:14:33	進んじゃさせ、
1:14:37	はい。
1:14:38	すいません、カミデです。別紙 2 の 2 だと。
1:14:45	何ページだったかな、
1:14:49	ちょっと待ってくださいね。
1:14:56	常にイマセ。
1:15:02	ちなみに、
1:15:05	今、結構資料膨大じゃないですか。はい。
1:15:09	久慈奈里氏をしおりなり、
1:15:13	開きやすいように、何かって言ったら、PDFでって言うていいですよねは、ください。はい。
1:15:24	1000 ページ。
1:15:36	行くと規制庁からちょっと時間かかりそうなんでさっき進めといてください。
1:15:41	成長よければですね、別紙 2-3。
1:15:48	あ、ごめんなさい、BCG-3 っていうのは何ページになって、
1:15:54	504 頁。
1:16:00	英語が 37、3、
1:16:04	イセ、
1:16:05	アノコサクです。その意味だと、それまでのどこかがちょっとよくわかってないんですけど、
1:16:14	これで話したこと似てるんですけど、あの周辺ってば、
1:16:18	ていうことで、
1:16:21	直下とちょっと違くなっている。
1:16:24	この影響ということについて、
1:16:28	F、
1:16:33	は、西伊豆だと近接して、

1:16:37	いてですね、そのあたりどう評価してるのか教えてもらっていいですか。
1:16:46	所長。
1:17:18	いやそういう意味ではですね、すみません、Fのところという言い方は、火のピンポイントの検討は、今は、さっき言った2次元的な検討っていうのはそういうそれにぴたっと該当する。
1:17:28	解析とかはやってないですね、何かっていうとそういう周辺地盤とか、おっきい地盤の変状みたいなどころがある検討というところは敷地を見渡すと、一番、
1:17:38	切りかわりが激しいと、次14なんです。うん。で、ただそこで代表選手でやってあげてそういう時重要みたいなどんでもない現状があるところでも、
1:17:48	真下にとんでもない変状があるようなところでも、あまり影響がないということがわかったので、Fのところって、コサクさんイメージされてるのって藤中の一番、
1:17:58	あとニシカワにあるって不安に辺りだと思うんですけども、作って、
1:18:02	隣でそういう、建物の直下じゃなくて隣ぐらいで何かそういう、いわゆる西側地盤みたいなどころが出てきてるかもしれないんですけど、どっかに何か潜り込んでるって話ではないっていうところがあるので、
1:18:13	それ直下に潜り込んでるようなところでも影響がないんだからまあ、これは正直あるんだけど隣ちょっと隣で何か違う感じ出たところで、それより影響があるわけではないだろうというようなそういうようなちょっと代表選手の考え方をしているのが、
1:18:26	みたいになっています。それはさっきの二次元のところを紹介した参考の4でしたっけ、のところの冒頭で、いわゆる代表の考え方っていうのは書いていたんです。はい。
1:18:36	はい。
1:18:41	代表の考え方だけだとその部分どう考えるのかってちょっとわかりにくい部分もあるので、
1:18:48	そういうふうなところ西側地盤とどれだけ離れているんだったり、ああなるほどからちょっとかすって載ってるところもあるわけですよ。
1:19:00	なので、その地盤の違いがこの程度であって、影響は次14ほどではないとかっていうのを、少し明確に整理をしていただいて、
1:19:11	説明できるようにしていただければ、
1:19:14	かしこまりました。そうですね。それぞれ何か考えなきゃいけない連中がこの何個かいるうち、それぞれの何でしょうね、およぼし得る影響度合いに関係する距離とか、

1:19:26	速度の切り換えとかみたいなのが並べて、同じ14が一番ドラスティックじゃない、そういう何か見え方がする。了解です。はい。はい、そうです。よろしく願います。で、ちょっとこれ質問素人質問で申し訳ないんですけど、
1:19:39	A4、A、
1:19:41	はい。はい。はい。
1:19:43	はい、新設も。はい。
1:19:45	の、地盤で、
1:19:49	このMMRを熱く入れてる状態なんですけど、
1:19:54	MRっていうのは、
1:19:56	どういう扱いになるんでしょう。基本的に地盤モデルのときには、
1:20:01	がんがアノ天然のタカオ層がそのまま上がってきているという扱いで設計します。これ、J4Bの
1:20:10	ました。
1:20:11	だから、そのいわゆるMMRのコンクリートのVsを入れるという話ではなくて、同じ感度が続いているような、結局、ごめんなさいこれ一般論みたいな話かもしれないんですけど、コンクリートってほとんど増幅しないんですよ。そのまま金波がピンポン言っちゃ増幅しないっていうところがあるので、基本的にある程度、
1:20:28	それよりコンクリートよりはやわらかくて、サイトウでもちょっと後段下がってインピーダンスがあるようなタカオ個数を見た方が、基本的に応答っていうのは、入力度アオキされることになるのが
1:20:38	これは皆さん、一般的な普通の他の電力さんも含めての設計の扱いだと思っております、基本的にMMRは、天然の岩盤がそこにいるという前提で、設計するというのは、
1:20:49	基本的な方針っちゃうか、そういうことで、
1:20:53	数が不足です。そうすると、
1:20:57	六ヶ所敷地が広いので、それぞれの建屋の下でいうと、地盤違うところもあるということだけどそれよりもかたいMMRなので、どこでも圧壊一緒でも大丈夫ですよっていう発想で言えばいいですか。おっしゃる通りです。はい。
1:21:14	わかりました。
1:21:15	ただFの領域見ると結構でこぼこしてたんで、どうすんのかな。わかりました。
1:21:26	追徴金です。コミヤ3別紙2-2。
1:21:30	もし質問できそうだったら、先にさせていただいた

1:21:34	セット見つけました。別紙 2-2、4 分の 2 分冊で言うと 145 ページをお押しで言うと、
1:21:44	509 ページの、
1:21:46	の、
1:21:47	スペクトルなんですけど、
1:21:50	もうちゃんと読んでないんですけど、何か差があるスペクトルが出てこれって何でしたっけっていう質問なんですけど、ちょっと説明してもらえますか。
1:21:58	減免、
1:22:01	まず、起こって判例下に四つ。
1:22:06	書いているところなんですけど、実線シリーズと点線シリーズで分けて、
1:22:11	おります。
1:22:12	で、点線シリーズは、今までお示していた、追加調査まだ入れてない段階のもので、
1:22:20	ですので、つまり昔の結果なんです。R5-9 なんぼっていうのまだ達してないときに、その時の物性でせや扇形の扇形まわしたときで差がなかった。赤の後ろに黒点線が、
1:22:33	ほぼ重なって出ている。
1:22:36	一方で、今回そのROの 9 何ぼ追加調査をきちんと足して改めて物性値を設定した、その結果に基づく分析ってのが実践シリーズ黒実線と青実線ということになります。
1:22:48	ブッセンを変えても、この黒と青はぴたっと重なったままですので物性を変えようがかいわいを変える前も枯れた後も、この線形と非線形の相対的な差ってのは全く変わりませんね。全く変わらないというか、
1:23:01	変動がないことに変わりはありませんねっていうところになります。ですので、ここの結論は、青実線と黒実線だからここで上で、ぐステップ呉の中で、上二つの線ですね、これが言いたい結論。
1:23:15	イセなります。はい。
1:23:19	はい、規制庁上津わかりました。増えたか、影響して全体的にせり上がったこと
1:23:30	どのデータが増えたかという、ババ 1 図で、
1:23:35	いいやつあるから 91 ページ。
1:23:42	はい、91 ページだと。
1:23:45	R5-96 と D6 ですかね。はい。をしました。
1:23:51	ピンクと赤。
1:23:55	はい、規制庁からです。
1:23:57	うん。

1:24:00	そういうことだ。
1:24:04	これって何で一緒にしたんです。
1:24:08	9
1:24:11	はい。何で一緒にしたかといいますと、基本的には飯野直下で取れてる青野コウと、追加調査で取れている、近傍のR5-96というところを、
1:24:24	今回追加しましたけれども、地質モンマニタニたようなところの当然Aグループといったようなところでとれているというところがありますし、ちょっとではあるんですけど、六甲でちょっと東の方で離れて、
1:24:36	ところがありますけれども、こちらもⅡ-ヤタのヒアリングの議論で、ちょっと離れていて、今までグループに含めてなかった例えばちょっと別の例を示してしまって恐縮なんですけど、
1:24:48	JCの右上にあるD-Dコウとかそういうのをちょっとやっぱり見えるものは見ていこうというようなところ
1:24:53	のお花強いお話もありましたので、ちょっと基本的に見れるものを見ていくということで0コウの入れたというようなそういう流れになっておりますその上で地質、ないしそういうものが一緒なので、それらを使っての、
1:25:05	平均化の物性値を設定したというのが、はい。流れになっております。
1:25:11	はい。規制庁川満。
1:25:13	わかりました大体一緒でしょっていう、いう中だし、あとは、
1:25:18	大体一緒という中では、データ多いほうがいいでしょうということで、真ん中もふやして、結果、多少はずれているけど、まあこんなもんですと、そういう感じですね。はい。二本木。
1:25:32	おっしゃる通りです携帯といった方が信頼性が上がる。
1:25:38	規制庁河津 わかりました。はい私が来たったところは以上です。岸野さんお願いします。はい。
1:25:45	では
1:25:45	規制庁の中でシノさんで、
1:25:50	通しで782ページ。
1:25:54	うん。
1:25:58	いろんな産業者、
1:25:59	中、
1:26:05	この後に、
1:26:07	地震、
1:26:08	さあ検討ケース以上。
1:26:12	で、
1:26:13	それについてのその評価っていうのを前のページ、前のページ、
1:26:18	うん。

1:26:22	その評価っていうのが地震観測は、ちょっと複雑な店舗の状況が災害して、
1:26:28	一方でさあ検層は、各地点の地盤の特徴表して、
1:26:34	言って信頼性が高い。
1:26:35	いう説明をされていて、
1:26:38	地震観測。
1:26:41	自営の
1:26:43	やり方なんかの事例。
1:26:47	それを踏まえてソウノ
1:26:49	理解できる一方で、
1:26:53	今朝検層はえさ検層で、地震観測とは違った特徴がある。
1:27:03	配合飼料だったら各グループごとに必ず
1:27:06	表は、
1:27:11	減衰をする。
1:27:15	使う。
1:27:19	減衰定数を見ると、各手法の特徴整備の状況が、グループごとについていって、多分これはもう、
1:27:28	はい。
1:27:32	もうそれを見直し、
1:27:34	その検討と地震観測ってその、
1:27:38	対象としている醜態が違ってきます。それから、与えた地震動もちょっとレベルが、
1:27:48	いずれも地震観測、こちらも地震観測ちっちゃいんだけど、Ssに比べて遠ざかる方向に、より
1:27:56	エザワ件数、
1:27:58	あるという。
1:28:00	でも、
1:28:02	もっと前から言ってるか。
1:28:04	急斜面。
1:28:05	SIケースは地表面、
1:28:07	ご自身で復旧したと。
1:28:09	イシイという、
1:28:10	ことも
1:28:14	さっき、
1:28:18	等の谷が現れて、どうやらおかしなデータではないという説明を受けてるけど、
1:28:24	それが何もとってもらったというのは、まだ明確でないし、

1:28:30	THAI周期側で頭打ちになる傾向議論。
1:28:35	一番。
1:28:37	藤さん。
1:28:38	周期 1 秒以上でしたっけ、1 秒以上はもう外挿して欲しいといったことを踏まえるとヤスタ検層と
1:28:46	イマセ’。
1:28:49	何かなあとと思ってないんですけど。
1:28:53	を踏まえても、サー検層信頼。
1:28:57	そして、
1:28:58	どうなるかわかりませんが、
1:29:02	ダイゴCの段階では、S波検層 1 をしなければ、
1:29:07	塗装 0 についてはそういったSR係数の不確かさを踏まえても、それでいけるだろう。
1:29:14	そんなに気にする必要出させないものばかりだろうというような、
1:29:18	話が無社内であって、
1:29:22	どういう検討してその
1:29:25	イソダ件数、
1:29:29	考え方って、
1:29:32	はい。日本原燃、永瀬です。おっしゃる通り、エザワ検層値というのは、西は二つしかデータがないからあれなんですけど、中央とかヒガシもですね。
1:29:42	やっぱり、どうしても上限のばらつきっていうのはあります。それはやはりあるところなのは実態でございます。ただ一方で、先日の会合で岸野さん。
1:29:51	浜崎さんでしたっけご指摘いただいた通り、ナカ目を西と東は中央に比べてそのエザワ検層と。
1:29:58	観測記録のやつが乖離してるんですよ。乖離しているんですけども、この返りって何かって言いますと、多分エザワ検層が上にいってるとか下にいってるんじゃないかと、どうやらなんか、
1:30:09	地震観測の同定結果が、中央に比べて西ヒガシが何かちっちゃくなってる、これが要因です。で、実際サー検層って、中オオニシヒガシ、1 回仮に重ねてみると、大体こう一つの日を重ねるような、
1:30:22	になっているところですし、あとは、ごめんなさい、これは正直、有識者の皆さん、幹部なんですけど、場所場所で、同じぐらいのホンダVs1000 以下ぐらいでほぼ
1:30:31	統一されているようなサイトで、そんなに減衰変わるっていうのは、やっぱりちょっと不自然なっていうところは勘どころなんですけれども、あつ

	たので、やっぱりエザワ検層という実測データがある程度こうまとまったところにいるってところプラス、
1:30:44	佐藤他の知見なんか、トモダイデ整合するってところを踏まえると、やっぱり敷地内でそんなにそんなに大きく変わるもんじゃないんじゃないかっていうところは、やはり最初に、
1:30:54	検討というか、今までの有識者の経験を持たれてる方の勘所としても、やはりそこから検討がスタートするというようなところは、自然だろうというようなところに至っているところでございます。さっき言った、
1:31:07	やっぱりその根拠っていうのは、既往知見との整合性アノサトウの方を重ねたグラフみたいなところ。
1:31:13	であるとか、あとはこれはちょっと検討が進んでいくにつれて出てくる話なんですけど、それベースで1回引いて、いわゆるガイソウも含めて線を引いてみて、地震観測よりもちょっとやっぱ西ヒガシで大きくなる線が引けるんですけど、
1:31:27	それでシミュレーションをやっても、ちゃんと合うものになるじゃないかと、なので、やっぱりこれ、S検層とアノ、
1:31:34	地震観測っていうのはちょっと違う数字がニシカワヒガシでは出たんですけども、
1:31:38	どっちも、
1:31:40	そんなシミュレーションに影響するもんじゃないので、おかしなものではないんですけども、敷地のas-isってどっちなんだろうって言ったら、やっぱりこれ、ほとんど、
1:31:48	本に中オオヒガシでもどどんぐり一緒になっているエザワ検層が正しいんじゃないか。やっぱりそれっていうのは、最初に戻るんですけども、地震観測の同定の時には、やっぱ変数二つやっていてトータルのバランスとるようになっていたので、ちょっとその精度までは、
1:32:02	ちょっとどうしてもできてなかったんじゃないかというようなそういうような、分析の流れで、はい。今の、
1:32:09	でございます。
1:32:11	で、一方でちょっと細かなんですけどさっきのアノシノさんがおっしゃった、ニシカワってちょっと谷があるじゃないかという
1:32:16	これは正直要因がわかりません。いろんな、
1:32:20	知見を持ってる方に聞いたりしたんですけどあと、
1:32:24	9年産の検討等をしていただいてもこれぐらいの山谷ってむしろなんか小さいぐらいな、よくある、よくあるというふうなところ並みのヤマダぐらいだということの話もありましたので、

1:32:37	あまりこう地質構造の何か特徴に結びつけて何かを説明するような、できるようなものではどうしてもなかったの、まずデータとして受け入れて、この谷も含めて、ここで、じゃあ、ちょっとこういうコウ谷コウ下がるどころ、
1:32:50	ていうのが、いわゆる周波数特性が立つ方向につまりいくわけなんです、そういうのをやったときに、いわゆる外挿したときに、どうしても100%を断つ分いっぱい超えてくるわけなんです、それはやっぱり不自然だろう。
1:33:00	やっぱりこの谷っていうのはいわゆる、
1:33:02	ゴーストみたいなデータとしてはゴーストみたいなもので、無視してあげた、寝かしてあげたその減衰定数がやっぱり、
1:33:10	それっぽいというか、不自然じゃない、余りにたち過ぎていないというものがありますし、それを使ってのシミュレーションというところ、弱ってるっていうようなところを確認できているので、この谷っていうのはやっぱりファントムで無視した方が、
1:33:21	コストで無視してあげた方が、as-isには近いであろうというようなそういう最終的なシミュレーションの確認までをもって、分析を行ったというちょっと口頭で長くなりましたが、この08全体で書いてるのはそういうことを書いております。はい。
1:33:35	一つのヒガシでございます。as-isとしてどちらかっていうご説明としては今の説明内容理解です。
1:33:42	私が西側地盤のう。
1:33:45	令和。
1:33:46	本当に
1:33:47	質問したから、西側の正当性を説明されて、
1:33:51	江藤なかったのは、西比嘉椎名町はちょっと違うんでしょうけど、において、
1:33:58	S波と地震観測との比較。
1:34:01	で、今、伊佐伴の方が信頼できるという結論になってる。
1:34:05	もうSISで地震観測と違って周波数領域とか、地震のレベルだとか、得意とする領域が違っているし、他にも出てるし外挿もしてるっていうことで、SRSはで、
1:34:18	不確かさがありますよね。そういったことを踏まえても新館作りでサノthe河津としては近いんですかっていうことなんですけど。
1:34:27	はい。それでは、今の説明。
1:34:29	どっち。はい。はい。おっしゃる通りですね。すいません。ちょっと。はい。わかりました。はい。そういう意味でいきますと鉄は幻想はおっしゃる通

	りばらつきを持ったデータになっております。その外挿とかっていう考え方
1:34:41	ただ一方で地震観測というものも、2変数に対してやっているものであることですか、どうしても地震観測記録自体も伝達関数って地震ごとに多少ばらついたりもしますし、短周期があつてコウをやつてなつていたりとかつていう
1:34:55	ところもあるので、かなり不確かさが当初持っている、どちらの手法もそれなりの不確かさばらつきみたいなものは持っているというふうに認識をさせていただきます。ですので、そういう
1:35:06	どちらかと、どちらも実態に対しての検討ですのでそういうばらつきをどうしても持っているものなんですが、その上で、ばらつきもばらつきというか不確かさを持った両手法の中でどちらがよろしいかつていう検討の位置付けだと思っております。はい。
1:35:20	はい。はい。
1:35:21	で、それどちらがよろしいと思った等はよろしいつてなつてるんですけど。はい。はい。そう。そこに至つたのはなぜですか。はい。そこがすみません、先ほど私が申し上げたところでございまして、いう地権者さんを含むところの、
1:35:35	これぐらいの速度構造だったら減衰の差が出るはずがないというところに対して、じゃど、
1:35:42	いう既往知見とかも含めての検討シミュレーションを踏まえての検討というところをやると。
1:35:48	ちょっと説明がさつき言つたことの繰返しんなつちやう
1:35:51	行きますけれどもエザワ検層方が入つたところである。
1:35:55	そこは先ほどのロジックというか、
1:35:58	シナリオだと。
1:35:59	変わらない。
1:36:03	そつちの方は、減衰は事業にヒガシつていう先ほど構造の若干の違いなんか、
1:36:09	そういうそれ、
1:36:10	大体このアプリ、
1:36:12	そういう意味では、何か、
1:36:15	地震観測的にはあまり、
1:36:18	そのまま
1:36:20	ということをおつしやつた、はい、はい、そう思つたんです。
1:36:25	もうそれに尽きる。
1:36:26	減衰定数つていうのはもう大体この辺りだろうというのは根拠。

1:36:32	そこに、そのポンプっていうのが、ちょっと私、本当の問題。
1:36:38	実は速度、
1:36:40	相関があまりなくて、
1:36:43	大体この辺り、
1:36:45	というのは、確かにうちの方で、既往論文と比較できて、既往論文だったら、
1:36:52	傾向が見られて、今回見られませんでした。5 って、
1:36:57	なのでもうそれをそのまま受け入れてだから、SR、少々変わろうがどの時点でも減衰定数は、もうこのあたり
1:37:06	というのが、見解としてあって、なので、それとちょっと外れる地震観測記録というのは、あんまり信頼できないというふうに、
1:37:18	日本ゲーム
1:37:21	今、先ほど岸野さんがおっしゃっていた既往知見との整合
1:37:26	と、あとそのいわゆる速度構造とか、
1:37:30	との相関性がどうやらデータの中にないようだというところがまさにその根拠に当たっているんですが、
1:37:38	はい。はい。はい。
1:37:40	それを規制庁吉井です。それを根拠として、はい。
1:37:45	主査と主査による減衰定数が大体もうあのあたり来てるんで、これが値としては多分、
1:37:52	それからそれ自身監査はちょっと信用が低いんだらうなっていう。
1:37:57	そういう説明をされて、
1:37:58	おっしゃる通りです。はい。うん。今、木島成長上手です。どれが確からしいかっていうのは会合資料で言うと 6 ポツにな。
1:38:09	きてそこで話があるんだと思うんですけど、
1:38:15	6 ポツの、
1:38:17	最後、結果としては多分、エスは一
1:38:23	を意識した一本性ありリニアの線、きっと出てくるんだらうなとは思ってるんですけど。
1:38:31	6 ポツの頭にどんなことを書くのかって言うと、今の話からすると、とにかく as-is
1:38:39	実態を、
1:38:43	目指して特定していくんだとそういうことですか。
1:38:49	はい。日本原燃オガセですそうすると、
1:38:54	はい、規制庁河津 まずはそこを明確にしてもらってくださいね。別、そうすると—0.1 秒ぐらいまではそうなんだらうなと思うんだけど。

1:39:05	もうガイソウしてる範囲が、何か本当にここas-isを目指しての線なのかっていう気もするんですけど、どうなんすかね。おっしゃる通りです
1:39:15	そこはもうガイソウで設定せざるをえないそこシマでしかデータがないからというところなんです、そこが、いわゆる地震観測記録と合うっていうのがいわゆるas-isの一つだと。
1:39:25	一つの根拠になると思いますので、そのシミュレーション的な分析とかそれが合うことを確認することによって、やっぱりこの方、長周期側までas-isズー保ったのがas-isとしていいんだというようなそういうような、
1:39:41	はい。
1:39:42	規制庁上津は具体はまたしっかり議論しなきゃとは思いますが考え方ちゃんと示してそれに沿ったようにまずは自分でしたかもしれないようなデータで出してもらえればと思いました。はい横川すいません。
1:40:00	ちょっと今のより
1:40:03	うん。
1:40:04	ふうん。
1:40:05	まず資料ですね。
1:40:07	90 ページ。
1:40:11	と、次のページ。
1:40:16	一般的な傾向との比較を載せて、
1:40:19	この2 ページ載せていることは、企業論文でやられた知見通り、傾向はやれませんでした。
1:40:26	日本原燃の岩瀬です。
1:40:30	えっとですね、既往論文に出てくるような知見はないではないですけどちょっとすみませんこれ一通は
1:40:39	前回の会合資料案の時にあったものなんです、既往知見では、
1:40:45	今アノ 801 ページで出ている。
1:40:49	図の横軸の範囲、Vs500 から 1000 ぐらいの範疇がうちの敷地内のVsの分布範囲にあるんですが、この辺りって既往知見によれば、減衰って、
1:41:00	ほとんど変わらないっていうところなんです。実際、VSやわらかいところから、2000 とかまでのところでいくと大体傾向として、硬いほど減衰っていうのは大きくなる傾向っていうのは一般的に見られている。
1:41:14	だけれども、うちの敷地のVsが位置すると、Vs500 から 1000 ぐらいの範疇っていうのは、いわゆる既往の経験式みたいなところから見てもほとんど減衰の傾向っていうのは変わらないようなところになっております。

1:41:26	で、実際にうちのデータを 801 ページにあるようにちょっと並べてみますと、まあ、やっぱりこの辺のVsってのは減衰がとれてるところは消防署で変わりがありませんねというような、
1:41:36	ご説明になるほどになっております。ですので、ちょっとごめんなさいこの 08 を作ったタイミングではまだ入れられてなかったところなんです、この 801 ページの上の図に、いわゆる経験式ですね、Vs等、
1:41:50	減衰定数の経験式ですね、ちょっと重ね書こう。
1:41:54	するとですね、ほとんどこの 0.05 人、ちょっとだけこう斜めに上がるんですがほとんど平行な線が出てきておりますので、それとよく対応しているというところ、Vsによって、減衰定数がそんなに変わらないエリアであるエリアというかVsであることと整合的だということが言えますので、ちょっとその資料の拡充が必要だという認識を持って、
1:42:13	明日、
1:42:14	協力します。ちょっと私の読み方が良くなかったのかもしれませんが、
1:42:20	99 ページからの説明で、BSが大きいほど減衰が小さくなるだろうと。そうしたところをやらなかったよという、
1:42:29	ことを書いてあるようなんだけど、そうならないこと織り込み済み。
1:42:34	はい。
1:42:36	はい、そうそういうことで織り込み済みっていうか別にそれはちゃんと知見でそうなってるからという意味での、わかりました。
1:42:43	ちょっとすいません説明と、図が足りてないのははい、すいませんちょっと欠如申し上げ
1:42:50	はい。
1:42:51	続きまして、あと 1 点だけ確認です。804 ページ。
1:43:04	なるほどね。
1:43:13	再度っていうことが書いてあるんですけど。
1:43:24	何本についてはこれでさあ件数、
1:43:27	減衰定数と、
1:43:29	地震観測点で同定した速度と組み合わせて、
1:43:37	に関する、
1:43:40	同定したVsじゃなくてこの時、S波検層地点のVsとしなかったのはなぜ
1:43:47	なんで、
1:43:49	ちょっと、
1:43:50	質問します。わかりました。はい。日本原燃の加瀬でございます。まず
1:43:55	これでやっているのっていうのは、地震観測。
1:43:58	シミュレーションですので、
1:44:01	やっぱり

1:44:02	地震観測地点、
1:44:04	やるのがまず筋だと思ってますんで、その前提としては、先ほどまでの検討にあった通り、おんなじぐらいのVsスウタイというか敷地内だったらそんなに減衰は変わらないであろう。
1:44:16	というような試験は獲られておりますので、それを踏まえると地震観測点において設定する岩盤部分の減衰も、そのエザワ件数をとったところを持ってきてもよかろう。それは前提として、アリマササキられた知見から、
1:44:28	地震観測点でさっき同定したときに、減衰定数と速度両方動かしてるからちょっと減衰定数はもしかしたら精度が悪いかもしれないという話があったんですが、今回S波検層という実測データにアンカーができましたので、
1:44:43	その地震観測点で、じゃあそのエザワ検層を獲られた減衰定数をはめたときに、それでもし地震観測記録を説明できますかっていうと、
1:44:51	なっております。
1:44:54	はい。はい。はい。諏訪係争に一応やってきたんです。その検層のVsと組み合わせるべき。
1:45:04	スマホ、
1:45:05	はい、そうしない理由。
1:45:10	はい。
1:45:13	違う場所のVsだと、地震観測記録。
1:45:18	実際、
1:45:19	二つと違うかもしれないからです。
1:45:22	端的に今これで立証しようとしてるとか示そうとしているのは、地震観測記録と引いて、何でだ取れてるものが私持っていて、
1:45:33	これが、
1:45:36	今、S波検層で、測定して、地盤として、これが本村Cとアノした減衰定数で、
1:45:46	この取れてるデータっていうのが、再現できるのかと、最近できる浩ものの、減衰要素はえられたんだけられたのかどうかということを、
1:45:58	今示そうとしてると、いうことなので、そういう意味でですね、この9オオヒガシのそれぞれの観測地点、
1:46:08	昆。
1:46:11	数中央にヒガシアサノ地盤での減衰定数がこうじゃないかと推定したもの、これが、この観測地点での記録を再現できると、見落としたから、この観測地点での

1:46:24	Vsに基づく、データ採用をやったってそういう位置付けになるかといいます。
1:46:31	あくまで元オガセですけども、感度として、この減衰定数のS検層とその地震観測の同定でやられたやつの差があるわけなんです、そこを感度とした時の、
1:46:42	観測記録からどれくらい外れちゃわない外れちゃうかの検討だと思っていて、結果外れなかったので、下水
1:46:49	ソネthe検層のやつをやっても、うちの敷地の岩盤としては問題がないんだというようなことを確認したというところであまりVsまで書いてしまうとまた感度がわからなくなってしまうと。
1:47:02	あとは、今野本さん。
1:47:08	アノ
1:47:10	ん。
1:47:12	シミュレーション目的からすると、そこは変えてそこわからないところがわかります。
1:47:18	はい。
1:47:19	理解しました。
1:47:20	そのあとちょっと、
1:47:25	すいませんさっき2パラグラフって言ったんだけど、やるパターンの2行目で表層と解放基盤表面以深の減衰については再度、
1:47:35	ここは速度構造を設定し、
1:47:38	原燃速度構造は一切変えないようにして、
1:47:43	監査中の
1:47:45	方としても、はい、そうですね、はい。
1:47:48	表現がいいですこれ、何かまるで合わせてるように同定しように見えてしまうかもしれないんですけど、そうじゃなくて、やっぱり減衰のを、その岩盤部分を入れ替えると、当然、上から下までも、
1:47:59	原則トータル量はどうしても崩れてしまいますので、そこはどうしてもやっぱ合わせ合わせするというか、バランスをとるためにサイトウてかけなきゃいけないというようなところは、認識を持っていますただ、先ほど申し上げた通り、Vsを変えてしまうと、その影響が入ってしまうところが、
1:48:14	今のシミュレーションの目的と合わなくなってしまうので、あくまでその減衰の上と下結果の物性のところの岩盤のところの減衰はちゃんと実際件数を入れるけども、上と下はちゃんと総量を合わせるように入りますというそれだけの話。
1:48:27	はい。町長木下。わかりました。理解しました。

1:48:30	藤先生がこうやって、
1:48:33	清原
1:48:35	野辺椎野さん、減衰定数、
1:48:38	大丈夫。
1:48:39	もし他の方、
1:48:44	はい、規制庁ハバサキです。
1:48:47	803 ページで、SR検層で、先ほどもちょっと話が出た、西側については下にコウと下がる場所ですねこれ会合でも指摘したところなんですけども、原因はよくわからないと。
1:49:02	ただ、対象としては、この部分を棄却しますという扱いなんですけども、
1:49:08	基本的に既往の結果ですね、西もヒガシもそうなんですけど、これは今、対象外に、
1:49:19	する、日本原燃オガセで対象にしています対象に通じています。はい。そうすると、例えば東側の企業もかなり0.6 ぐらいでこう下がってるじゃないですか。
1:49:30	小コウは、
1:49:33	なぜ棄却しないんですかというか、ここはどう、何か理由が説明できるんでしょうか。日本原燃のオガセ。
1:49:40	ます。ちょっと、ちゃんと順番を変えた方がいいのかでも順番ファクトなんか微妙な気もするんですけども、まず西側を起用をさすというのは、やっぱり1 個だけでちょっと議論しにくいですよ。やっぱり複数行。
1:49:53	健康抑えるべきでしょうということがあったので、西側について脇洋行も加えることにしました。じゃあ、中央と東出清コウをはじく理由があるかと。
1:50:03	言いますと、先ほど申し上げたように、西側の谷みたいなものは見えるんですけども、それはそれで受け入れて、ちゃんとデータとして扱います。だけど谷を入れると、ガイソウ範囲がもうおかしいな、めちゃくちゃにコウ1 秒。
1:50:16	1 を超えちゃうところが大きくなってしまいますので、早く、
1:50:20	一応、下水場を超えてしまうようなところが出てくるので、さすがにこれはおかしいだろうということで、棄却をしたんですけども、中オオヒガシ脇をデータを入れても、これってつまり重みなんですけれども、基本的に、追加データでもって、大体こうまとまった値がえられている
1:50:36	データちょっとおかしい傾向上げられている中をダテてしまっていますし、ヒガシはばらついていきますし、という傾向があった上で、

1:50:45	それを受け入れたとしてもそんなに不自然な、うん。外挿にならなかった外挿範囲も含めて 1000 にならなかったですので、これはデータとして受けてもよからうというようなある意味、データを受け入れた時に、
1:50:56	あからさまにおかしくなる場合にはきちんとそういう企画範囲も含めて検討しようというような、そういうちょっとアイデアでやっている。
1:51:03	実態です。ちなみになんですが、これ社内で、この既往データを抜いた場合と浮かない場合で、ちょっとこの線重ねて書いてみたんですけど正直重なっているほとんど聞いてない。
1:51:15	うん。ですのでこれはもう、横並びとして既往データも含めて受け入れましょうというようなところの考えでやって、
1:51:23	はい規制庁ヤマザキです
1:51:27	そそういう考え方もないとは言えないんですけども、さっき言ったそのヒガシ、ごめんなさい西に関してはその下に凸の谷なるところの理由がわからない。
1:51:37	で、
1:51:38	結果も、やはりそれが悪影響って学校減衰になってしまうから、比較します。
1:51:43	東側の原因はわかんないけど下に谷ができます。でもこれは、最終結果にあまり影響しないからこれは生かしますと、何か何かおかしくないですね。
1:51:57	位置付け上、横並びで気をここは入れるという考えを優先しましたが、シナリオでいくと今ハバサキさんがおっしゃった通り、
1:52:05	思います。で、その上で、
1:52:07	線の実は傾きも 806 ページに示している、最終的に信頼性の話で紙も 1 桁までしか、正直取ってないんですが、
1:52:15	実はここ変わらないんで、
1:52:18	気をコピーした方がシナリオ上は綺麗かなと思いました。はい、規制庁浜崎です。そこはしっかりと説明ができるかっていうところ、要は、
1:52:27	その時になぜ強行棄却するかというと、かなり傾向が新しいものと違うのと、この谷の傾向ですね、その原因もよくわからない。
1:52:39	ということで、今回は新しいものを優先にしたところなのかなと思いますんで、肩を使って片づかないとちょっとどうかという
1:52:49	検討はしてください。はい。
1:52:51	石井西は使うのは、やはりタダニシウチ圧がミシマツカベ谷カネコ脱却してるんですね。ヒガシも谷のところだけ棄却するっていうことは、これもいられるなんか補足です。ごめんなさい。
1:53:07	ヒガシはアベだけじゃなくて、うん。

1:53:10	高くて、他は高く出てるわけですよ。これ本当っていうのがあって、谷も含めて全体としてたまたまぼかーに影響しなかっただけなんじゃないのっていう気がしてですね。
1:53:24	てするとどちらかっていうとヒガシの方が棄却した方がいい、ないようなデータのようにも見えるわけですよ。
1:53:31	そうするとそのデータの信頼性っていうお話した場合は、どちらも入れずっていう方が、どうなんじゃないかなっていうふうには思います。
1:53:40	戸高ヒガシ委員はもう、これ、こういうふうに会われてる形になって、うん。ある意味この集団には入れるような、ちょっとユリはちょっとふさわしくないという判断した上で、はい。
1:53:52	ヒガシは、浅利技師は仁多傾向でありつつも、周波数ニツタによっては、
1:54:02	これ谷が出てると思う。だからこの領域は外すと、旧については、レイモ一また戻って変な傾向なんですけれども、
1:54:15	そうですね。だから今日これ変な系統だからちょっとここは棄却っていうのもあり得るって言えますね。ただその規格の根拠は他と違うからなんですよね。他が正しいこと。
1:54:28	また、今回とった表記取得の方法が、
1:54:37	中オオニシヒガシで一緒なのか違うのかって言う所なんです。一緒です。基本は基本一緒でして、新規追加っていうことは
1:54:47	総じて見た時に説明のつかないことを示していて、調査方法が適切だと言えば全部棄却するしっていうことになるんじゃない。
1:54:56	すごいよく云々って言うんじゃない。ただ、ニシダ家は1個しかないので客もちゃんと見に行ってる。
1:55:05	ああ、なるほど、国会で決めるってのは、西来はミキオダしたいということから始めちゃったんですね。
1:55:13	データとしては使わないけど傾向分析として何らかっていうのもありだと思います。
1:55:20	うん。
1:55:26	データとしてそういう、
1:55:29	そうですねあの本棄却する他で棄却するっていう、うん。
1:55:34	いるときに、うん。
1:55:37	健康一緒だからっていうことすらも、その遺書っていうのは正しいのっていう、
1:55:44	ことだってあるんじゃないですか。
1:55:49	そうすると、
1:55:50	この新規だ。

1:55:52	減ってる、下に飛び出している。
1:55:56	のが、周期体変わってくるわけですね。地盤によっては、その変わってるのが地盤の特性だっていうわけでもないわけ。
1:56:03	ないですねそうその部分だけ抜けばいいっていう理屈も立たないんですそれは、ごめんなさい。お言葉、日本原電の言葉を返しますけど、追加データでもそうです。
1:56:13	ないそうです。はい。
1:56:18	と、あと、これはごめんなさい計算上の話ごめん、仮にそれをやったとしてというところで、実は社内ではやっているところなんです。ただ、それをやったところで、この追加データのこの 0.03 から 0.1 だけのところで線引くと、これまた、
1:56:33	もっとたつんですよね。これ変だったんです。変だったんです。で、一番それっぽいのはどこだろうという線を考えたら、この範囲で金新旧を平均したやつで、それがしかったというのが、
1:56:46	もうそういう、もうあの有識者さんとまさにここをトライアンドエラーをいっぱいしまして、
1:56:51	説明せいとしてというかas-isとして、常識的なのはここでしょう、いうところになったというのは実は経緯でして、
1:57:00	ごめんなさい、実はいたしますが、食べる場所はやっぱり規模データは入れない、ごめんなさいこれはもう近似の数字の合わせだけなので。はい。はい。補足です。それで言うかね。はい。
1:57:11	このへこみを出している理由は、やっぱり何かわからない。うん。いや、そう。何らかね、説明を。
1:57:21	推論でもう、
1:57:24	何かけ。すごい結果論じゃないですか。はいそうです。そうなんです。はい。
1:57:29	だからあまり書いてないんです。
1:57:32	気持ちはすごいわかりましたけど、
1:57:37	この領域使えるんだというのを、
1:57:40	なったかいう穴井となってきましたで、
1:57:45	けこれも結構あるんですよ。
1:57:50	データが下がっていくよりも右側、
1:57:53	はい。
1:57:54	右側はまだ使えるんだと、いうことであれば、
1:58:00	東側がそもそもデータがもう限られちゃう。うん。
1:58:04	いうことで、それ採用する意味がない。うん。
1:58:07	はい。

1:58:08	伊佐さん。
1:58:12	ここから先があつて、やはり規約、それはそれはいえると思います。中央の方は幾らか乗っかってくる。
1:58:30	言う。
1:58:33	はい。
1:58:34	ふうにも見えなくもないけどそれが真っ当な考えなのかってのはちょっとよく、
1:58:44	その上で
1:58:47	それもうロジカルじゃないので、はい。
1:58:53	なるべく使わない。
1:58:55	けど、西は、うん。それだけだと、
1:58:59	データ数も少なく、判別を適切に把握できないからといって、
1:59:06	条件つき宮永データノズキを入れる、やむを得ずみたいな形で、はい。ちょっとそういう大井のお話を聞ければそういう何らかの説明は、それでございます。そうすると基本的にタカキオオノアノイソダ検層って、これ
1:59:24	ちょっとホソノに入れるにはしないセイノ点で、
1:59:28	ちょっと疑問符がつくところがなくもない。
1:59:31	んだけれども、
1:59:33	なので基本母数には入れないということで、検討するんだけれども、西側の2番を検討しようとしたときに、やはり一行だけでこれはこれで信頼を、
1:59:45	取れないところがあるので、その両てんびんにかけたときに、西側だけは、その機能を足した方が、トータル的に信頼を上げる手段であろうということで我々判断して、この
2:00:00	データが使いそうなところは使うことにしたと、なんかそんな感じで、ちょっと我々もちょっと考え方まとめていくのかなというふうに思いました。
2:00:09	コサクです。一応
2:00:13	話を聞く限りはそういうことなのかなと思って聞いてましたけどそれが本当かっていうのは、それが他本当にas-isとして適切ってことなのかっていうのは、よく整理をしといて欲しくて、っていうのも、
2:00:28	西側のそのガイソウを見たときの判断なわけですよ。おっしゃる通りでこれ本当に直線なのかっていうことだってあるわけですよ。
2:00:37	うん。
2:00:37	てする等、0.1 から短周期側っていうことを、
2:00:45	適切に合わせてるかっていうとそ、
2:00:48	それは外装側に引っ張られている。

2:00:51	の評価になっちゃうので。うん。はい。必ずしも、物理的に必ず直線なんだっていうのがあればね。
2:00:58	そうかもしれないけど、
2:01:00	それも仮定なわけですよ。はい。なので、これも将来的な話になりますけど、こここのところの絶対値っていうのは、どれだけの意味を持つの。はい。ということもセットで、最終的なジャッジになると思うんですね。
2:01:17	なので口銭を引く直接引くのであれば、
2:01:21	こういうようなところで、はい。ということだったと思うんですよ。
2:01:25	そこら辺明確にしといてってください。じゃないとそのあとの処理で間違った結論だそうなので、うん。ここはあくまでそのまずいあげんおかしいんですけど、この外挿領域はあくまで外挿領域データに基づくアズイズかつつとそうじゃないわけ。はい。
2:01:42	ずれないようにしなきゃいけないのは、資料上はそこすごく注意してつくってるつもりなんでそれは崩さないようにしたいと思います。一方でちょっとシナリオを考えつつの一応情報としてだけ。
2:01:52	なんですけれども、
2:01:53	応答解析をするときに、
2:01:56	バイリニア。
2:01:57	みたいなところ、どっかのミニマムで一定値にするみたいなのは、プログラム上実は可能なんですけど、どこかで傾きが変わるっていうふうにするので、実はプログラムって言ってごめんなさい。はい、小崎です。そういう解析をして欲しいわけでは全くなくてはい。実際の、
2:02:13	物性、
2:02:14	としてどうなのといったときに、まっすぐなわけじゃないよねと。はい。いうことだけで、それは実証も必要もないし、
2:02:25	逆に言うと、ものが積み上がってるのが違う。
2:02:29	下水だけこんなまっすぐこう全体の調整が来るわけもなく、
2:02:36	実際のばらつき得る実際にエザワ検層のデータも上に凸だったり車一つだったり、多少の条件があったりとするわけで、
2:02:44	これ測定によってばらついてるだけなわけでもないと思います。はい。
2:02:49	なので、あまりこだわりはしないんですけど、そういうところの特徴をよく認識した上で話をしていけばいいんだろうと思ってます。
2:03:01	将来的にはっていうと結局 1 定値で入れるってやられる時にじゃあどこの、
2:03:08	周期体の数字を使うんですかっていうことになるわけじゃないですか。はい。
2:03:14	そんな時に結局ここら辺の違いでく吸収されちゃう。

2:03:18	はい。と思うので、
2:03:20	その時に認識ずれがないように、
2:03:24	話をしてあればいいのかなというふうに思ってます。原燃合わせですかしこまりました。ちょっと具体的にどうこうってのはちょっとまだ言えないところですが、はい。意識すべきポイントはよくわかりましたので、はい。今後の
2:03:36	6 ポツとか、基本モデル作る時の提示とか、はい。その辺は意識受注いたします。はい。
2:03:46	ちょっとナカの話ですねあの会合資料で開放のご説明で、今回、5 ポツの、
2:03:56	検討のところ、はい。この減衰についても、類似性でまとめる話をしていくんだけど、
2:04:07	その時に、はい。出口っちゃいけないんだけどに非が必要で類似性が見られるよねっていうまとめようと、まとめるんだろうなと思ってるところだけど、それに基づくシミュレーションをお示してるんでしょう。
2:04:19	それは、今この基本のデータを基にしたものでお示してる。
2:04:24	その通りです。そうですね。今のお話で、基本のデータを抜くんだとすると若干数字が変わってくれて、シミズがファイナルアンサーじゃないって形になるのかしら。ごめんなさい。ここ。
2:04:37	されてる間でいうとあれかもしれない。実は小数点 1 桁では数字全く変わらないので、同じ結果を使いますという、
2:04:44	うん、うんですよね。はい。
2:04:48	はい。同じ数字の結果を使います。だから、結果的にあるポイントは変わんないっていう。そうです。そうです。そういうことができそうだったことで、
2:04:58	失礼いたしました。はい。しており、
2:05:06	切り換えたんです。はい。
2:05:10	あと、
2:05:11	今こそです。今の話はどこ、この後整理をした上で話し、正式に聞くとしてですね。
2:05:19	現状このページだけで言うと、中オオニシはアノニシカワサンゴなかなか悩ましいながらも線を引いているというところではあるので、
2:05:29	多少のばらつきを持ってみるとして、
2:05:33	もうある程度中央地盤と傾向としては見て、角度長としての高さとしても見ている。
2:05:40	いうところであります。
2:05:42	東側地盤は少し寝ているかな。

2:05:45	短周期側、
2:05:48	ていうと少し、
2:05:51	上に上がってるのかな。はい。
2:05:53	軸としては、0.08 なりあたりのところが同じぐらい。そうですね。で、
2:06:02	固めてるって言った方が、
2:06:05	はい。そうです。はい。
2:06:07	ていような結果にはなってます。うん。
2:06:11	その上でどうしますかっていう話。
2:06:14	なのかなと認識をしました。現在同じです。すいませんこういう話なのかもしれないんですがそのあとどうするかって言いますと例えばちゆ、今先ほど敷地のどこでも一緒だっていう
2:06:25	ことを私言いました。ただ、一方でここ中央にヒガシ単位で、やっぱりやろうとしたんですがそこは
2:06:32	何でしょうか地震観測、これちょっとごめんなさい説明難しいんですけど、観測記録のシミュレーションでやっぱり最後は確認すべきか、その観測記録の中オオニシヒガシでられているんだっていうことを考えると、
2:06:44	くっつけてその単位かなと思ってますから敷地全体例えば中央と西と東はくっつけようっていうのは何かそのあとのシミュレーションのシナリオがちょっと、
2:06:53	美しくないなという話なので、ちょっとそういうことも、正直、
2:06:58	あります。はい。はい、今福です。わかりました。それで言うとそのヒガシがやっぱりいろんなデータ入ってるのかなというふうに思っちゃうんですよ。
2:07:09	前半部分で、ヒガシ、それぞれ傾斜もあったりだねという話もあったのと一緒なんですけど、
2:07:18	ぱっと見ると、周オオニシと同じような傾きを持つてるデータもあるんですよ。はい、おっしゃる通りです。一方で7ゆるい、弊社のデータもあってというばらつきがあるので、それって何なのかなっていうのが、
2:07:31	突き詰めようと思うときには思うんですけど。はい、剣持です。まさしくそこが 801 ページとかで分析していたところだと思ってまして、
2:07:41	今、古作さんがおっしゃってた通りここになんかしら岩盤の速度構造しかり構造揺らいさってもないんですよ減衰の世界だと。
2:07:52	中央ニシノヒガシアノ 801 ページの色の緑と青と赤が中国人ヒガシさんなんですが、
2:07:58	BSは見かけ上横軸でちょっと違うかもしれないんですけども、減衰として差が出てるものではない。やっぱりあと基本の知見を見ても、さっきあの、後で重ねますっていう、言ったやつなんですけども、

2:08:08	この辺のVSアイテムと変わるはずがないっていうのも、既往知見も入れていますので、うちの地下構造のこの差に対して、減衰っていうのは実はそんなに変わんないんじゃないか。
2:08:19	ところっていうのは、ある。
2:08:22	有識者さんの力を借りて分析してきたと。
2:08:27	えっとです。今言われたの後、
2:08:30	ちょっと100801 ページのところ、読み方図の、
2:08:35	ゆっくり理解できてないんですけど、
2:08:38	803 ページ側で言うとその傾きのばらつきっていうのは、あくまでバラ月井、はい、はい。
2:08:46	なんだということで、そのばらつきの中でデータが出てるのが、傾きがゆるいものを多く、
2:08:55	取れちゃいましたっていう言い方なんですか。はい。そういうことです。掘れば、これほどいろんなものが出ますがだんだん収束してくるでしょうねということです。
2:09:08	補足です。それでいうと西側はたまたまデータ少ないけど、中央あいましたっていうだけの、はい。おっしゃる通りで、データが少ないからちょっと違いは見える。見える時はちょっと経ってるように見えるんですが、おそらく、
2:09:22	何かあるもの。
2:09:23	ないでしょう。
2:09:24	ただ、やっぱりデータが少ないなりにやっては、データで引いたものはやっぱり出しましたので、これはまあ、これで受け入れますと。
2:09:33	コサクです現状の認識は、理解をします。
2:09:38	スタート。
2:09:39	よく見て。はい。話しました。ありがとうございます。
2:09:45	ない。
2:09:49	わかんない。
2:09:51	通帳の基準です。
2:09:54	私は、別紙2-4で、軽微なもの。
2:09:59	最後にそれやっちゃって大丈夫
2:10:03	磯規制庁協です。別紙によって減衰定数帳票そうですか。いや競争ですよね。
2:10:11	競争に関しては、岩石コアが今回初めてじゃないすか。
2:10:17	減衰あれ減衰かは、
2:10:21	そうそうじゃない。ごめんなさい。要は含水コウの説明って、まだ1回も受けてないんで、ここの08の中にカナイ。

2:10:28	ちょっとアウトラインといいますか、結果だけ、要点だけ説明いただけな いかなと思ってました。今回出してるやつ。はい。
2:10:37	はい。はいどうぞ。はい。江藤。はい。別紙 2-3 なので、
2:10:43	もう 6 時から第 101。
2:10:47	530、
2:10:50	1 ページ。
2:10:53	見込みを、何を書いています。
2:10:56	いかない。
2:10:58	238 ページの目次の 1、4 ポツに、
2:11:02	門馬津川のいわゆるデータを取得したりとかあと信頼性どうなってます かっていうところの章になっておましてこれの 4 ポツ 2 で岩石公式に よる評価結果と、いわゆる信頼性向上に担当します。
2:11:13	ことを書いています。で、そのデータを使っての分析っていうところを、甲 骨えとめくってもらって 539 ページのところの、
2:11:23	5 ポツに、材料減衰に係る
2:11:26	というところで、5 ポツ 2-1、材料減衰に係るデータの評価手法間の関 係性というところの章の中で、さっき午前中も確かお話しまして浅沼圧 縮試験と比較して、どっちがいいかというようなところの話の分析に使っ ていない。
2:11:41	ここの今の二つのところで使っているところでございます。実際データ取 った結果どうなってますかっていうのが 4 ポツ 2 該当すると。
2:11:51	後はふうんで結果はもうあれですねえと 580 ページのところでは。
2:12:01	すいませんー応頭からいきます。571 ページ。
2:12:07	はい。571 ページから、どの岩種を対象にしましたが、そのとり方はどう やっていますか。
2:12:13	と、その実際取った結果というのが 580 ページなので、はい。グラフで 出ています。はい。
2:12:21	ここで二つのやり方実はこの岩石コアの中でも、スペクトル比法という ところでパルスライズタイム法という二つやっていますという名前の方でやり 方のところを説明しておりますが、
2:12:31	その上で、どちらが信頼性高いかというところを含めての、評価結果の 信頼性というところを 587 ページ。
2:12:39	のところで書いているところでございます。
2:12:42	これ概要を通知の中身をご説明させていただきますが、まず、実際は系 処理とかのやり方っていうのは、

2:12:51	書いてる通りですけど、ある意味結構ベストエフォートな感じで信頼性を高める努力というのは有識者というか実際に経験を有する方々のご助言をいただきながらやっているところですし、
2:13:02	測定とか、波がちゃんとした取れてるとかっていうところも含めてちゃんと信頼性はとっているところなんですけど、実際にとれた結果を見てみると、ちょっと
2:13:12	頑張ってるけど修繕性が微妙だよなというところが実はあつたりもするというのがありました。それが特に、
2:13:19	189 ページなんかちょっと、
2:13:21	できれば、
2:13:24	ここで二つ方法並べてます。左側がスペクトル比法で右側パイプスライズタイムコウなんですけども、
2:13:31	これのうち、スペクトル比法の方をちょっと見ていただければなんですけど、
2:13:35	下水を見る上でほぼ減衰がないとみなせるアルミキョウシタイっていう標準キョウシタイみたいな試験体みたいなものを基準にしてやるわけなんですけどそれがこのアノスペクトル比法の下の方のところ、黒い山野線なんですわね。
2:13:51	ただ一方で、実際に今回は取って振った結果が、この緑と青と赤の線なんですけど、ちょっと周期外れすぎているっていうところがあります。
2:14:00	はい。はい。昆海田ですか。はい。はい。本当だったらですけども、減衰定数っていうのはこのヤマト、山野会田をコウセンミョウ結んで、その傾きが減衰になるんですけども、
2:14:14	そうやって不落だったら、同じ山が大体こう相似形上にこうなってるようなところが普通は調査上前提でなってるんで、やっているんですけどちょっと違うところにヤマベちゃってるんですよ。そうすると、これちょっと、
2:14:26	果たしてこの傾きとつたら微妙ですよなっていうところがありまして、一応数字は出しているんですけど、やっぱりこれちょっと信頼性としては使うのはちょっと微妙じゃないかというところはちょっと
2:14:36	結論として書かせていただいて、ですので、このスペクトル比法というのはあくまでちょっと参考扱いにさせていただいて、ある程度やり方が単純な話主周期ごとに細かく見る方法ではない。うん。結構単純なやり方なんですけど、
2:14:49	右側のパルスライズタイムというものが、どちらかといえば信頼性を有しているデータとしてちょっと今後、先ほどの後の 39 度の比較分析を行うものとしては、パルスライズタイム法を使おうと。

2:15:01	というようなところを書いていると、これがこの調査結果の結論になっております。
2:15:06	分析はというところは、
2:15:09	さっき午前中の会合資料でもお示した通りのところなんです、890、
2:15:16	4 ページですかね。はい。のところ、
2:15:25	126 ページから水がよろしいですかね。はい、各岩種ごとに 3 軸圧縮試験と比較して、大体整合している上回っている、もしくは仮に一部ちょっと下回っていても、生データのばらつきの範囲内。
2:15:37	おかしなことにはなっていないというようなところの考察をさせていただいて、やはりデータ数としてはどのブロックが多くて、さらにひずみ候補
2:15:46	傾向が見えたりするというようなところの 3 軸圧縮を材料試験として用いることには問題なかったというようなところの結論で結んでいるということになっておりますコガ試験を追加したネタは、
2:15:56	これですべてありますね。はい。
2:15:59	はい。わかりました規制庁浜崎です。わかりました。
2:16:02	ちなみにこれ、
2:16:04	岩石コアで、
2:16:06	測定する。
2:16:07	減衰っていうのは、
2:16:09	3 段建水か内部減衰かって言ったと。
2:16:12	もちろん履歴減衰ですね、材料検査、検査、
2:16:16	うん。
2:16:18	材料減衰履歴ケース。
2:16:21	当然設計のものでございますが、実際の繰り返し 3 軸見たく、振動を与えて、大きな振動を変形を与えてるもんじゃないですから、材料減衰という
2:16:32	言い方の方が適切かもしれません。はい。
2:16:35	はいわかりました。
2:16:37	規制庁浜崎です十分理解しました。はい。ありがとう。
2:16:42	新宅です。
2:16:44	今のページで言うと、
2:16:48	826 ページで下側にあるけどみたいな話は十分聞いたところなんですけど。
2:16:55	逆に次のページの上に出てるところの説明ってどうなんですか。これにつきましては、先ほどのベストエフォートで信頼性を厚くしていると思うんですけども、やはり

2:17:06	これスペクトル比法信頼性がちょっと微妙は盛田スペクトル比法も、今回この
2:17:11	それよりは精度が良いであろうライズタイムの方も、こちらの、ある程度こうなんですかね、並み、測定した波を見てみると、ちょっとやはり高次成分みたいなものが入っているっていうのは、
2:17:25	わかっておりますそれは、スペクトル比から泉の比だとか、同じことで、そのエラーというかノイズというかそういう傾向が出やすいのがスペクトル比コウなんですけれども、
2:17:36	やっぱりライズタイム表でも、ライズタイム方でもそういうその影響ってのはやっぱりあったと思われまして。その影響によって、3軸圧縮試験よりも、ある意味、
2:17:46	誤差と言ってしまうと、なんですけれども、ちょっと大きく出てしまうっていう傾向はどうしても拭いきれなかったっていうところがこちらの考察になっておりますはい。だからやっぱり、
2:17:57	データがいっぱいあって結構統計的に明らかにこう線が引けるような三次詳しくっていう方が、
2:18:03	制度っていうんでしょうかね。はい。としては、材料減衰として扱う上では適切というか、最もらしいだろうというような結論でですね。
2:18:12	はい。
2:18:16	はい。
2:18:18	規制庁の植木です。減水までで、他になければ、八尋層の方は、
2:18:25	はい。違うっすです。
2:18:28	ふうん。
2:18:30	ベツショ。
2:18:34	通しページ、979 ページ。
2:18:38	だったら、4、
2:18:40	うん。
2:18:41	うん。
2:18:43	の方に下線で追記していただいて、なお以下の文章が、これ
2:18:50	今回、PS検層を地下水観測を使ったデータを追加したんだ。
2:18:56	あそこの地下水観測
2:18:58	のための、
2:18:59	塩ビ管、
2:19:00	なのでそこでわかっていることについても、問題がないことを説明し、
2:19:07	そして、
2:19:11	えっと説明が、
2:19:14	ほかでやられた結果と同等であるから、影響がない。

2:19:19	ていう、
2:19:20	説明になった。
2:19:22	ですけど、
2:19:25	今後、
2:19:29	うーん。
2:19:35	飛ばして、何か企画に問題ないですよというような、
2:19:41	はい。当然設計のものでございます。
2:19:43	前回ちょっとこの辺の質問でですね、私の方で、
2:19:47	P波は取れないみたいな話をですね、ちょっとしてしまったんですけども、実際にこれ塩ビ管がですね、無交換であれば、取れなかったらしいんですけども、実際には有効管、
2:20:00	この前の確認という交換で、
2:20:03	の場合はですね、P波もS波も取れるっていうことをですね、一応観測業者さんの方と再確認しました。で、これにつきましては
2:20:12	同等であるっていうやつはですね、このナンバー8とですね、W1の方が、大体もう、6メートル離れてるんですが、ほぼ同様の大池
2:20:23	層準になってると。で、そこで大体同じ速度構造になってるということで、ちょっとここですね同等であるというふうに書かせていただいております。実際にこの塩ビ管があったとしてもですね、観測ができるというのは先ほども言いましたように観測業者さんの方で、
2:20:41	確認しておりますので、あまり細かい話をしないでこういうふうな簡単な程度でさせていただいたというところでございます。
2:20:49	室長の千野です。端的にいえるのであればまずそれを明確にする。
2:20:54	やっちゃいけないところでやったわけではないんですよ。
2:20:59	そのまま。
2:21:00	それ
2:21:02	までちょっと、
2:21:04	通常だったら、公益を持ったね。
2:21:07	維持看護師にPS検査、
2:21:09	統合され、
2:21:11	ん。
2:21:12	通常向こう管理やってるところ今回地下水観測流行管横尾鉛管でやってるので、その影響どうかなっていったところだと。
2:21:20	最後ないんで、
2:21:21	できないことを確認してそういう説明なのかなと。だからどっちが抜けてんじゃないのかなと私はそうかて解釈したんですけども、いずれにしろ、その

2:21:31	おそらく共有されているであろう時間内に、
2:21:35	やることは問題ないんですよっていうのを最初に、
2:21:38	まず基本としてあるんじゃない
2:21:41	思いました。
2:21:43	ですね当然セキのウノでございますが、通常この塩ビ管を入れてやるのかっていう話をしたらば普通はここでやりますと。ただ、塩ビ管の場合でもですね有効管の場合には、
2:21:55	影響ありませんという話があったものですから、こういう書き方をしております。多分岸野さんおっしゃってるのは、その有効。
2:22:03	の塩ビ管で、これ、取るのは問題ないというのは、これですね単にそのを使えるんだということを、
2:22:13	簡単に言うとともに、ちゃんと説明した上で、これ使えますといったような説明が要るんじゃないかっておっしゃってるんだと思うんですけど。はい。当然関野でございますがそこまで細かい話をですね私観測業者の方から聞いてませんので、ちょっとその辺のことが書けるかどうかちょっとわかりません。
2:22:30	中学生です。
2:22:32	既存のPSとか今回縦断点追加したんですこれは全部学校で、
2:22:38	当然設計のものでございます全部学校でやってるんです。ゴコウというのは保護管を入れない、入れないで、50万に直接、
2:22:49	有孔塩ビ管だったら取れるよっていうのを確認するやつ。
2:22:54	野瀬の説明がある。
2:22:57	オクエミ間で測定する
2:23:00	ナツメが、
2:23:06	ですがという鋼管の場合ですと、P波が取れないって言いましたのですね、有孔管のエンピを通してP波が伝わる場所なんですけど実際には有孔管の水を伝わってですね、P波が伝わるということで、
2:23:18	P波がとれるということでございます。機能が取れる取れない。
2:23:22	で、有孔塩ビ管に測定して問題がないかという説明。
2:23:28	当然設計のものでございます。塩ビ管に穴が開いてそこから水の圧力が入るんで関係ございません。
2:23:41	で、えさに関しましては、塩ビ管を振動が伝わります。外からの振動が伝わりますので、塩ビ管があってもとれるということだと思います。
2:23:53	うん。
2:23:56	うん。
2:23:56	調査法なりJISで規定されている。
2:24:00	方法である。

2:24:01	菅佳里奈氏の規定。
2:24:03	うん。
2:24:06	当然設計のものでございますが、ラコウでですね崩れるようなものについてはですね塩ビ管なり放管を入れて取るということはあり得ると思います。
2:24:16	それが、この調査法
2:24:18	規定さ
2:24:20	当然設計の方でございますがちょっとそれは確認しておりません。
2:24:26	成長期ですかね、そのあたりです。要は、実は一応外れた方法をとつてないということを明確にしていただければという趣旨で聞いておりますので、調査法とか、
2:24:38	そこら辺の規定を書く。
2:24:39	これは、
2:24:41	明確なものがなくてもですね調査実績としてそういったやり方って普通にやられるんですよっていうことであればそういう説明に変えられると。
2:24:50	そういったことがまず前提としてあって今回その地下水パソコン、
2:24:55	方向になったんだと思います。
2:24:57	その際も、
2:24:59	でも、
2:24:59	書き出していただければ、今回、やり方ってのは
2:25:03	何ていうか、
2:25:10	安全でございますちょっとそこを確認してですねちょっとここを説明になるように、ここを記載したいと思います。はい。
2:25:23	いえ、当然設計のものでございますが今自分で確認してないもんですから、何ともし申せないんで、
2:25:29	確認書です。
2:25:32	いえる言えないっていうので、明確な答えをしないと別に構わないんですけど、
2:25:39	じゃあどうすんのっていうのを何も言わないで止められちゃうと、ヒアリングにならないので、もし、そこは自分では言えないので野本さん言ってくださったらそれはそれでいいんですけど、
2:25:52	じゃあどうするのは、簡潔に何か、原燃としてするように、
2:25:57	プランチェックのものでございますが、この辺のところきちんと観測業者なり、基準を確認した上でですね、書かせていただきたいと思います。
2:26:06	はい。
2:26:18	はい、規制庁神戸です。
2:26:20	一応これで一通りですかね。オカ規制庁は、ネガか何かありますか。

2:26:28	疑念がまだございません。
2:26:33	はい、鏡です。じゃあ、振り返りはどうしますか。メモとか移します。
2:26:41	ちょっと。
2:26:44	吉井。そしたら、すいません。今メモを確認する時間をいただきたいと思 います。十分いただいた方がいいですよ、これは少しね。
2:26:54	%
2:26:56	一応すいません、10分いただけますでしょうか。
2:26:59	はい、規制庁上津岡山とりあえず17時かイシイのつもりで、状況に応じ てということをお願いしますか。
2:27:10	はい、じゃあ一旦の高温停止してください。
0:00:00	はい。録音再開しました。
0:00:03	はい、規制庁カミデスズエそれでは再開しますでは振り返りをお願いし ます。はい、新野でございます振り返りでございます。あと全体ですけれ ども資料3になって参りましたんでpdfアノ扱いやすいように、修理フナ ノ工夫ということで開いております。
0:00:19	訪問ですけれども資料構成検討ステップについては介護説明チェックと またこれを進めてるところは、またフォローアップしていくということかと いうふうに認識でございます。
0:00:30	別紙2の喜田ババ船戸市長のところですか。これは当OV式と平均数回 平均化するにあたって、検討してる内容につきましてデータを見る観点 やその方法についての説明をしっかりと、
0:00:44	次4番、学校の外部火災や速度構造の分析を、この度でいたイセVsが 求められていても、データを企画、していない、
0:00:57	そうですね、事実が異なっても、データを企画していないことにつ いては、そのコウのその平面的な分布等を、を踏まえた特異なデータであ ると、いうことを述べつつデータを増加させることで信頼性を向上させ る。
0:01:11	の、各グループ間の考え方等を、考え方と整合させた江藤、説明を、を 加えると、すいませんちょっとニワがちょっと弓田にとって申し訳ない。
0:01:21	で、それから設計判断をする上での、する前のステップも踏まえてそれ を念頭に置いて、ここのところですねばらつきはないですけれども、この データのあり方というのは説明するということかというふうに思ってお ります。
0:01:36	で、5番目、参考4の中で、トガシが異なるそういう速度を適用すること の考え方これあれですね、許可の断層があるところの、

0:01:47	インスの営業権等のところですけどもここを、考え方を整理して説明することで異なる岩種であっても、その境界とはなっていないことを踏まえて、同様の速度で、
0:01:59	要件を入れていると、そういうところについて、これ、説明をちゃんと入れることというふうになっていると思っております。
0:02:06	6 番目。
0:02:07	加古グループのデータ整理結果にて、獲られた危険につきまして、この各グループごとにまとめますけれども、それを踏まえた上で、各店舗になるほどと。
0:02:20	あれですすみません、ちょっと変わりました、これについては日本語訳ないかもしれないけど、
0:02:27	ここで言いたかったのはいわゆるピンク色のがんとオレンジのがあって、速度境界として出てこないとか、そういうようなところの知見を、いわゆる各グループ内での検討の中で、いろいろ結論が出てきますが、それらを踏まえてそのあとに断層による影響の評価とか、そういったところでは、
0:02:43	それらの知見とずれた知見をちゃんと引用して、そういうところを前提にした上で断層の検討等をやっていることがちゃんとわかるような繋がりがよく説明することという意味でございます。
0:02:54	すいませんそれと、それとちょっとこれ会津さん、どこの検討とか検討っていうのが、そう、アノ断層の断層、うん。
0:03:07	断層による影響検討、検討が、
0:03:11	箇所であることがわかります。はい。はい。失礼いたしました。
0:03:16	はい。
0:03:17	次に、次 14 名待機の大株主凝灰岩中の速度境界深津さん、これR594 コウ烏丸を深さに考慮していること野瀬タテ季節について説明する事故、
0:03:31	上の意見と同じで、この考え方を企画課ということが 1 年かというふうに思っております。
0:03:37	衛藤参考 4 のと同じ評価ですね、これも一連のもんですけどもソウノ、途中で速度境界がある場合の評価条件で仮定条件を入れる場合、どのような仮定をしてるかってちょっと、仮に違いますけれども、考え方整理と、
0:03:52	いうことでございます。次 2 次元FEMにおいて、表現的な要素を、
0:03:59	とか、当座水揚げられていない点速度層が潜り込んでる部分の詳細な速度分布といたしまして、ドラスティックな評価を、仮定条件として入れた検討と。

0:04:10	<p>いう考え方である場合にはその考え方を、それ説明した上でこの評価のですね、位置付けといいますか、役割というのを説明することということかというふうに思っております。</p>
0:04:23	<p>次 327 ページの分析結果のまとめにおきまして、4BとPAも比較対象とした上で扱いについて整理、これは宿題になってるというふうに思っております。</p>
0:04:34	<p>327、7 ページのこの層厚重み付け平均した、そこで速度比を指標とした確認結果の扱いにつきまして岩間大戸による検討を実施する前の段階での必要値について、</p>
0:04:47	<p>債権としまして不要であれば削除ということで、これ影響いたします。</p>
0:04:53	<p>次に次元断面を考慮した検討におきまして、これ基準 4 を代表として、この説明していると、いうことなんですけど、この考え方についてこれは主施設の日本のトップホールでいただいた話なんですけども、</p>
0:05:06	<p>これ示すことと、いうふうに考えてございます。</p>
0:05:10	<p>次に、</p>
0:05:12	<p>皆さん、岩盤部門の減衰定数のところでございます日野さんところなんですけども、諏訪警察地震観測所。</p>
0:05:20	<p>地震観測記録に基づく検討とともに、両方にですね、不確かさがあると、それぞれの脅威は、ヨシザキがあると。</p>
0:05:32	<p>その中で、さあ検層が適切であるというふうに我々が考えた考え方について、そこは説明をこれ、きちんと述べコストということでございます。</p>
0:05:44	<p>804 ページ検層結果に基づく減衰定数の再同定につきまして、サー検層の 1 の文章適用しなかった理由が、これ、何でかと、いうことが、これわかるような説明を追加すること、これ勝グループの小塚使ったのはなぜかという位置付けを、</p>
0:06:01	<p>踏まえてと記載するところでございます。</p>
0:06:04	<p>203 ページ、TOKIOデータについて、そのSRSそうですね、TOKIOD たについて、ニシカワでは一部のデータをオオキ 100 日中を、</p>
0:06:15	<p>ヒガシが記憶していないということなんですけども、このですね生産企画の考え方これもう一度これ我々再検討することになりましたので、これ再検討した結果で、もう一度、説明はこれ書き換えますし、データの整理もやり直したというふうに、</p>
0:06:30	<p>考えているところでございます。</p>
0:06:32	<p>で、16 番目、外挿範囲と、下水のですね、外挿範囲については、これ仮定として、引いてるという位置付けであることを念頭に置いてセキコ線で岩相した場合の、</p>

0:06:45	下水道総当たりにすることについて、そこを意識した説明を行うことと、いうことでございます。これ、のちのちまず設計に入ったときに、そういうものであるということ、リマインドしつつ検討するということも教えていただいたというふうに思っております。
0:07:03	で、表層地盤の部窃盗でございますけれどもこれ追加調査の方法として、その孔の調査坑の特徴を踏まえて適切に行われていることについての説明を行うこととということでございます。
0:07:16	はい。以上でございます。
0:07:23	藤規制庁カミデです。今映ってるところの 13 番ですけど、
0:07:30	S波が適切だというところを、2-3 で述べるんですけど。
0:07:38	原燃の方でございます。えっとですねえ。まさしくその 456 のうちの 6 で述べるところの話なんですけども。
0:07:49	2 のす。
0:07:50	3 の中で、
0:07:53	6 に行き着いたとき 2、これが投票する話。
0:08:00	なのかなというふうに思っているところです。
0:08:04	規制庁カミデですフォン、一番上に本文を会合資料 2 っていうこと、介護支援のと並びがとれるようにっていうことなんですけどそれに、
0:08:14	付随して別紙の関係もなんですけど、
0:08:19	特に会合で言ってる 5 ポツっていうのが、割とひょっこり出てきていることによって大分ギャップができていますんですけど、一つあるのは、
0:08:29	今の別紙 2-1 から 2-4 というのは介護でいうと 4 ポツなわけですね、4 ポツの ABCD と。
0:08:37	いうことであるであると、じゃあ、別紙 2-5 で、コンポツを対応します。2-6 で、6 ポツを対応しますというやり方もあるしですね、その辺は
0:08:49	どちらでもって感じなんですけどあまりその別紙 2-1 の中にあれもこれもとやるよりはまだそっちの方が整理しやすいかなっていう
0:08:58	単純なイメージですけどそんな感じを持ちました。
0:09:02	元の方でございますそうですね。はい。ちょっと構成がここまで太ると 2-1 から 2 のように振り分けてしまうとわからないっていうのもありますし、
0:09:12	そうですねその方がわかりやすく、ちょっと検討させてください構成はわかりやすいやつを、ちょっととらえたいと思います。
0:09:20	規制庁亀井ですよろしく申し上げます。
0:09:23	オカナカカミデなかったら後、スケジュールですけど、規制庁ハバサキですちょっとナガミネ 2。アノ、さっきの 13 番、
0:09:32	ですね。

0:09:33	ええ。
0:09:35	藤。
0:09:36	数は検層は適切。
0:09:40	まずずーしかこれ、先ほど、先ほど来、或いは現場も言ってるように、各4社或いは保証はそれぞれ一長一短あるわけじゃないですか。
0:09:53	で、
0:09:55	それが合い補い合って、最終的に六法として減衰を決めますと、はい。いうときに、S-検層を中心として決めますというような今こういう読めるんですけども。
0:10:09	ちょっと、
0:10:10	とらえ方が違うかなと思うんですけども、はい。
0:10:13	だからさっきも話ありましたけど、今の段階ではまず客観的事実としていろんな手法で、はい。一長一短、その適用範囲も含めて、
0:10:23	各減衰はこういう評価になりましたということを整理するだけなんすよねわかります。
0:10:28	今のは、4ポツではそうですよね。6ポツの段階で、或いは5ポツなり6ポツ、6になるともう設計っていうのも入ってくるんですけども、
0:10:39	その
0:10:40	量は、
0:10:42	得意とする部位、周波数領域だとか、ひずみレベルだとかを含めて、エザワが本当に、はい。主としていいものなのかどうかとかですね。
0:10:53	そこら辺はまだ十分検討されて、検討といいますか我々と認識合わせできてないという、私は思ってるんですけどね。はい。
0:11:03	今。はい。神野でございます。ですね。確かに呉ゴコウ通でデータのニツタものを集めるというのがあって6ポツ、
0:11:12	as-isとして、開いておくんだったらどれだろうかという検討することになるんだと思います。その時にはやはり人に対する人五つを表並べた上で、
0:11:24	あえてas-isを何か決めなければならぬとしたら、これだよねって言った時に、我々、これちょっと見通しとしてはS波検層に基づくものがこれだよねっていうことに、
0:11:36	なるだろうなとモンマの検討では、はい。いうところを少し先走って書いてるところがございます。はい。記者は、まさにその先走ったはい。名前何でも座ったんですよ。
0:11:47	そこは1回立ちどまってということで。うん。
0:11:51	こういった何だ、ここの話に関してはですね、きちんとそこは線を引いてもらいたいなと思います。はい。はい。

0:12:01	さっき冒頭も言いましたけど本文にももう予算に基づく儲かっちゃってるようなところありませんのはい。はい。これありきじゃないという認識をしてもらいたい。それと、
0:12:12	すいません 4 番、若菜 3 番 4 番。
0:12:17	はい。はい。
0:12:21	4 番。
0:12:22	はい。
0:12:23	ありますねこれですね、
0:12:30	例えば
0:12:33	地盤構造を決める上で、複数行あって、一つだけがコウベースの部分はずれているようなところがあった使えなかったんですけど、平面的な広がりだとか、総合的に判断してた、はい。
0:12:45	なります。はい。それはあくまでも客観的に、コウがどうなのかと。
0:12:52	いうことをここで分析してくださいとかいう話ですね。で、この最後の方に書いてある、また設計的判断をするまでのステップを踏まえてってところがですね、
0:13:02	ここも注意してくださいってところです。はい。客観的な判断をするところと、設計的っていうのは分けてくださいねということです。だから、今もここで書くべきではないという理解ですね。
0:13:19	消すというのもありますし、後段の設計的判断をするにおいてはどうかですね。はい。現段階で設計的判断というものを取り込まないようにしてくださいっていうんですかね、これはセキ的判断をいずれすることということをイマダしながらやるってことはあるんだけれども、そこがちょっとそのものではない。はい。
0:13:37	書き方だと思いますが、いいと思います。はい。
0:13:40	はい。
0:13:42	施設浜崎伊井からは以上です。
0:13:47	はい、規制庁上津でそれで、
0:13:51	スケジュールはどうでしょうか、今、先ほどの今後の進め方ヒラノ資料だと。
0:13:59	2 月の
0:14:02	ちょっとこの今の現行のカーっていう定義をさせていただいてるところなんですけれども、ちょっと今日いただいたコメントも踏まえて、
0:14:12	ちょっとどこでご提示できるか社内で、すいません、作業物量も踏まえて、調整させてください。
0:14:20	はい。規制庁川満カミデです。今、この場ですね
0:14:26	結構、作業量がありそうだなと思いつつ、

0:14:33	ちよつとこの説明ぶりとかで、細かいところもありと。
0:14:37	いう呉ところ等、あとはその会合次の会合では、じゃあ何するかっていうと、6 ポツっていうかね
0:14:47	これがas-isであろうというところを意識を合わせたいということなので、
0:14:55	その大事なポイント等をちゃんと
0:15:00	何だろう、クリティカルに確認できるスケジュールを組んでくださいなので、あまりその会合マターではないところに足を引っ張られて、
0:15:11	08 全体が遅れるんではなくて、はい。効率的に進められるような方法は何かという形で検討していただいてまた来週でも説明いただければと思います。
0:15:24	はい。辨野でございますはい。承知いたしましたありがとうございます。ちよつと検討したいと思います。
0:15:31	はい。
0:15:32	他、規制庁がまた原燃側から含めて何かありますか。
0:15:38	関係人側から特にございません。
0:15:41	はい、じゃあ特になければ
0:15:43	1 日なかったですけどこれで終わりにしたいと思います。どこを停止してください。